

消 防 年 報

令和2年（2020年）版



宇部・山陽小野田消防局

令和3年刊行

は し が き

この消防年報は、宇部・山陽小野田消防局の消防現勢及び令和２年（１月から１２月まで）中における消防業務に関する諸般の事項を収録し、今後の消防行政の参考に資するとともに、消防事情を広く一般に紹介するために編集したものです。

なお、編集資料について、組織・予算・予防・施設に関するものは令和３年４月１日、火災・救急・救助等に関するものは令和２年１２月末日をもって編集しました。

この年報が消防関係者はもとより、広くあらゆる方面で御活用いただいて、本消防局に対する御理解を深めていただければ幸いです。

令和３年８月

宇 部 ・ 山 陽 小 野 田 消 防 局

目 次

管 内 概 況

1	管内の概要	3
2	構成市の位置図	3
3	第一次宇部・山陽小野田消防組合基本計画及び実行計画	4
4	消防の沿革	5
	（1）宇部・山陽小野田消防組合の沿革	5
	（2）宇部市消防の沿革	7
	（3）小野田市消防の沿革	10
	（4）山陽町消防の沿革	12
	（5）山陽小野田市消防の沿革	13
5	歴代消防長	14
6	過去の主な災害等	16
	（1）宇部・山陽小野田消防組合発足以降の主な火災記録	16
	（2）宇部市の主な火災記録	16
	（3）旧小野田市の主な火災記録	17
	（4）旧山陽町の主な火災記録	17
	（5）山陽小野田市の主な火災記録	18
	（6）宇部・山陽小野田地区における自然災害	18
7	応援協定等締結状況	19

総務・情報財政

1	宇部・山陽小野田消防組合組織図及び主な分掌事務	23
2	消防局・消防署職員配置表	25
3	消防職員階級別年齢	28
4	消防職員階級別勤続年数	28
5	職員研修状況	29
6	特殊技能・技術資格者	30
7	消防予算	31
8	消防庁舎	33

予 防

1	防火対象物	37
	（1）棟数及び立入検査	37
	（2）防火対象物の定期点検・防災管理対象物状況	38
2	建築確認同意処理件数	39
3	防火管理者選任状況	40
4	危険物施設設置状況	41
5	危険物許認可状況	42
6	危険物施設の現況及び立入検査状況	43
7	宇部・小野田地区特別防災区域	44

(1) 宇部市	44
(2) 山陽小野田市	45
8 火薬類取締法関係処理状況	47
9 消防協力団体の現況	48

警 防

1 消防配置図	53
2 消防車両	54
3 消防水利	57
(1) 消火栓	57
(2) 防火水槽	57
(3) その他	57
4 化学消火剤備蓄状況	57
5 火災	58
(1) 月別火災発生状況	58
(2) 火災種別ごとの件数	59
(3) 火災種別ごとの死者及び負傷者	59
(4) 火災種別ごとの損害額	60
(5) 焼損面積	60
(6) 曜日別火災発生状況	61
(7) 時間帯別火災発生状況	62
(8) 過去5年間の火災発生状況	63
(9) 過去5年間の火災種別件数	64
(10) 過去5年間の火災原因別件数	65
(11) 過去5年間の焼損程度別件数（爆発損害を除く）	66
6 救急	67
(1) 過去5年間の救急状況	67
(2) 事故種別ごとの出場・搬送状況	68
(3) 事故種別・傷病程度別搬送人員	69
(4) 救急車医師同乗システム（ドクターカー）出場件数及び搬送人員	70
(5) 事故種別・月別出場件数・搬送人員	71
(6) 事故種別・曜日別出場状況及び搬送人員	72
(7) 事故種別・時間帯別出場件数及び搬送人員	73
(8) 事故種別・年齢区分別搬送人員	74
7 救助	75
8 火災以外の出動	76
9 救急講習	77

通 信 指 令

1 消防通信施設	81
(1) 消防指令センター	81
(2) 電話回線	81
(3) システム構成図	82

（４）自家用発電機	83
（５）無線局	84
2 119回線着信件数	85

消 防 団

1 消防団組織図	89
（１）宇部市消防団	89
（２）山陽小野田市消防団	90
2 消防団配置図	91
（１）宇部市消防団	91
（２）山陽小野田市消防団	92
3 消防団員階級別年齢	93
4 消防団員階級別勤続年数	94
5 消防団員年報酬及び費用弁償	95
6 消防団災害出動状況	96
7 消防団車両及び機械器具	97
（１）配備管理状況	97
（２）消防ポンプ自動車	99
（３）小型動力ポンプ積載車	100
（４）小型動力ポンプ	101
（５）その他の車両	102
8 消防団機庫	103
9 消防団協力事業所	106

管内概況



ときわ公園

宇部市のときわ公園は面積約100ヘクタールに及ぶ常盤湖を中心に広がる緑と花と彫刻に彩られた総合公園で、山口県初の「登録記念物（名勝地関係）」に登録されています。

約百点の彫刻作品を常設展示している園内では、豊かな自然とアートが調和した美しい景観を堪能できます。

江汐公園

山陽小野田市の江汐公園は、江汐湖を中心に、豊かな植生と多くの野鳥や昆虫に恵まれた公園です。春には5万本のコバノミツバツツジがみごとに咲き誇り、あじさい園やばら園など四季折々の花が見られます。

フィールドアスレチック、キャンプ、テニスなど、子供からお年寄りまで楽しみ、また、管理棟には研修室もあり、団体での学習会にも利用できます。



一目でわかる消防統計

令和3年4月1日現在

※令和2年12月末日現在



管轄面積

419.74km²



構成市

宇部市
山陽小野田市



人口と世帯数

人口 223,795 人
世帯数 108,771 世帯



職員数

定員 315 人
実員 301 人



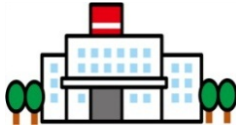
常備消防費予算

2,935,259 千円



署所

消防署 4 署
出張所 4 所



防火対象物

9,234 施設



危険物施設

1,522 施設



防火クラブ

幼年消防クラブ 18
少年消防クラブ 8
婦人防火クラブ 1



消防車

ポンプ車 21 台
その他車両 37 台



救急車

高規格救急自動車 11 台



消防水利

消火栓 3,615 基
防火水槽 373 基



火災件数※

火災件数 95 件
死者 2 人
負傷者 10 人



救急件数※

出動件数 9,146 件
搬送人員 7,206 人



救助件数※

出動件数 79 件
救助人員 54 人



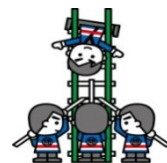
119 回線着信件数※

合計 14,908 件



宇部市消防団

分団数 15 分団
団員数 639 人
消防防災サポーター 38 人



山陽小野田市消防団

分団数 13 分団
団員数 404 人

管内概況

1 管内の概要

宇部・山陽小野田消防組合は、宇部市及び山陽小野田市をもって組織され、本州西端にある山口県の南西部に位置し、西は下関市、北は美祢市、東は山口市、南は瀬戸内海に面しています。

交通環境を見ると、鉄道は JR 山陽新幹線をはじめ、山陽本線、宇部線、小野田線及び美祢線が東西南北に走り、高速道路は山陽自動車道が管内の中央部を横断し、海浜部には重要港湾である宇部港、小野田港があり、市街地に近い位置に山口宇部空港もあるなど、陸海空それぞれの交通環境が整っています。

気候は、年間を通じて温暖で雨が比較的少ない典型的な瀬戸内海式気候で、丘陵地や干拓地には豊かな自然があふれ、様々な動植物が生息しています。

また、南は瀬戸内海に面していることから、山と海の幸に恵まれ、市街地には厚東川、有帆川、厚狭川が流れ、貴重な水辺環境を有しています。

両市は、いずれも明治期以降、石炭産業の振興により、近代的な工業都市として発展し、現在でも瀬戸内有数の臨界工業地帯を形成しています。

2 構成市の位置図



令和3年4月1日現在

	人口（人）	世帯数（世帯）	面積（km ² ）	市の木	市の花
宇 部 市	162,615	79,853	286.65	クスノキ	サルビア ツツジ
山陽小野田市	61,180	28,918	133.09	クロガネモチ	ツツジ
計	223,795	108,771	419.74	—	—

3 第一次宇部・山陽小野田消防組合基本計画及び実行計画

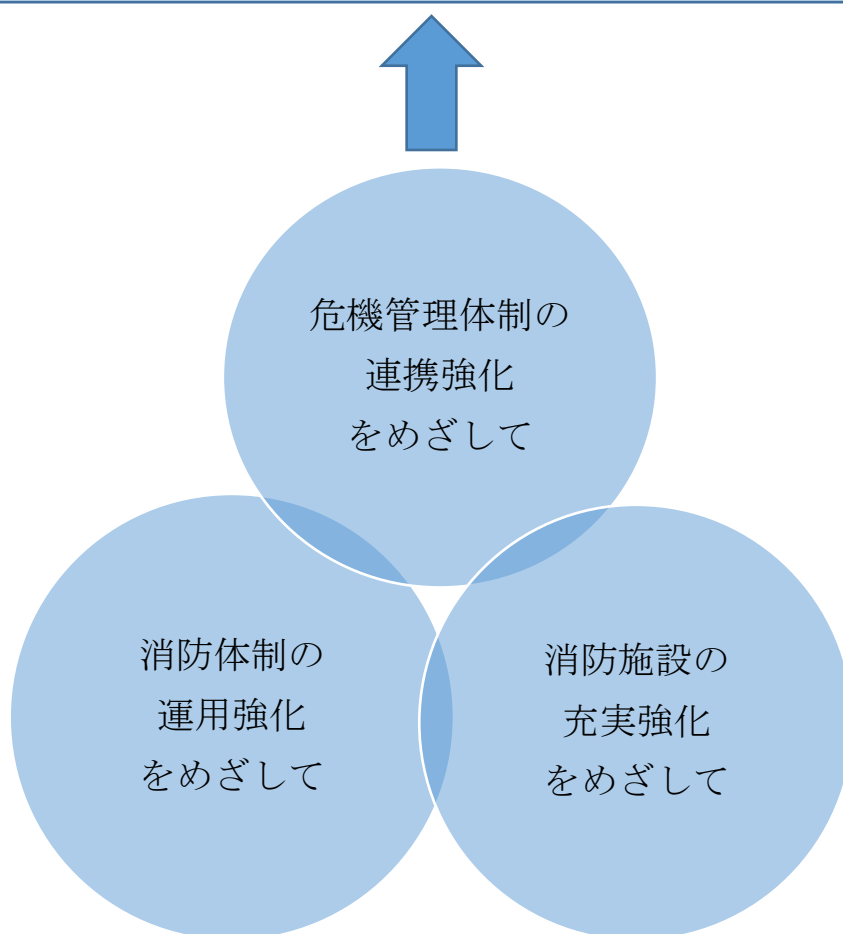
宇部・山陽小野田消防組合は、平成24年4月1日から消防業務の共同処理を開始するにあたり、宇部・山陽小野田消防局実行計画を策定し、業務を推進してきました。

この宇部・山陽小野田消防局実行計画が平成26年度で終了したことから、各種災害への対応や社会情勢及び多様化する住民ニーズに的確に応えるための指針として、第一次宇部・山陽小野田消防組合基本計画を策定しました。

基本計画は、基本構想と実行計画で構成され、基本構想は平成27年度から令和5年度までの9年間の消防組合の施策を体系的に定めたもので、基本構想で示した基本方針、大綱に基づく施策を実施するために、具体的な事務事業を明示したものが、実行計画となります。これらに基づき、消防組合の目指すべき姿を具体化するとともに、各種施策に積極的かつ献身的に取り組み、強力に推進していきます。

[基本方針]

住民とともに歩む安心して暮らせる安全な都市（まち）をめざして



4 消防の沿革

(1) 宇部・山陽小野田消防組合の沿革

(西暦) 年 月 日	沿 革
2008 年 平成 20 年 5 月	山口県は、消防組織法の一部を改正する法律（平成 18 年法律第 64 号）及び市町村の消防の広域化に関する基本指針（平成 18 年 7 月 12 日消防庁告示第 33 号）を受け「山口県消防広域化推進計画」を策定
2009 年 平成 21 年 11 月 20 日	宇部市と山陽小野田市は、市街地や石油コンビナートが一体化しさらに都市形態も類似しているため、効果的かつ効率的な消防体制の構築が図られると考え、「宇部市・山陽小野田市消防広域化検討委員会」を設置し、消防の広域化について検討を開始
2009 年 平成 21 年 11 月 20 日	第 1 回宇部市・山陽小野田市消防広域化検討委員会開催
2010 年 平成 22 年 2 月 13 日	第 2 回宇部市・山陽小野田市消防広域化検討委員会開催
2010 年 平成 22 年 5 月 20 日	第 3 回宇部市・山陽小野田市消防広域化検討委員会開催
2010 年 平成 22 年 8 月 11 日	第 4 回宇部市・山陽小野田市消防広域化検討委員会開催
2010 年 平成 22 年 10 月 15 日	第 5 回宇部市・山陽小野田市消防広域化検討委員会開催
2010 年 平成 22 年 11 月 15 日	第 6 回宇部市・山陽小野田市消防広域化検討委員会開催
2011 年 平成 23 年 1 月 4 日	宇部市と山陽小野田市は、両市の消防広域化に係る広域消防運営計画の作成及びこれに附随する事務を共同して行うため、「宇部市・山陽小野田市消防広域化協議会」を設置
2011 年 平成 23 年 2 月 16 日	第 1 回宇部市・山陽小野田市消防広域化協議会開催
2011 年 平成 23 年 3 月 29 日	第 2 回宇部市・山陽小野田市消防広域化協議会開催
2011 年 平成 23 年 5 月 31 日	第 3 回宇部市・山陽小野田市消防広域化協議会開催
2011 年 平成 23 年 6 月 29 日	第 4 回宇部市・山陽小野田市消防広域化協議会開催
2011 年 平成 23 年 7 月 20 日	第 5 回宇部市・山陽小野田市消防広域化協議会開催
2011 年 平成 23 年 8 月 1 日	第 6 回宇部市・山陽小野田市消防広域化協議会開催
2011 年 平成 23 年 10 月 20 日	第 7 回宇部市・山陽小野田市消防広域化協議会開催
2011 年 平成 23 年 10 月 20 日	宇部市・山陽小野田市広域消防運営計画を策定

(西暦) 年 月 日	沿 革
2011 年 平成 23 年 1 月 30 日	山口県知事から、宇部市及び山陽小野田市の両市長に「宇部・山陽小野田消防組合」の設置許可書が交付される。 ※宇部・山陽小野田消防組合発足（平成 18 年の消防組織法改正後に消防が広域化されるのは、全国で 7 番目、県内では初の取り組み）
2012 年 平成 24 年 2 月 20 日	第 1 回宇部・山陽小野田消防組合議会 定例会開催
2012 年 平成 24 年 3 月 30 日	宇部市・山陽小野田市消防広域化協議会 廃止
2012 年 平成 24 年 4 月 1 日	「宇部・山陽小野田消防局」が発足し、1 本部 4 署 4 出張所、職員定数 298 人で消防業務を開始
2013 年 平成 25 年 3 月 28 日	山陽小野田市大字厚狭 4 8 7 番地 9 へ山陽消防署を新築移転し、竣工式を挙行
2014 年 平成 26 年 3 月 2 日	高機能消防指令センター及び消防救急デジタル無線の運用開始
2014 年 平成 26 年 8 月 22 日	緊急消防援助隊（延べ 13 隊、52 人）を広島市土砂災害（広島県広島市安佐南区）の被災地へ 9 日間派遣
2015 年 平成 27 年 1 月 28 日	第一次宇部・山陽小野田消防組合基本計画を策定
2016 年 平成 28 年 4 月 16 日	緊急消防援助隊（延べ 12 隊、44 人）を熊本地震（熊本県南阿蘇村河陽地区ほか）の被災地へ 6 日間派遣
2017 年 平成 29 年 7 月 6 日	緊急消防援助隊（延べ 27 隊、108 人）を平成 29 年 7 月九州北部豪雨災害（福岡県朝倉郡東峰村ほか）の被災地へ 20 日間派遣
2018 年 平成 30 年 3 月 25 日	宇部市大字船木 4 6 1 番地 1 へ宇部西消防署楠出張所を新築移転し、開所式を挙行
2018 年 平成 30 年 4 月 1 日	宇部市消防団事務を宇部・山陽小野田消防組合から宇部市へ移管
2018 年 平成 30 年 7 月 6 日	緊急消防援助隊（延べ 12 隊、34 人）を平成 30 年 7 月豪雨災害（広島県安芸区矢野東付近ほか）の被災地へ 13 日間派遣
2020 年 令和 2 年 4 月 1 日	消防の充実強化を図るため、職員定数を 315 人に増員

(2) 宇部市消防の沿革

(西暦) 年 月 日	沿 革
1921 年 大正 10 年 11 月 11 日	村から一躍市政を施行。消防組織は消防組と称し、市域を 4 部に分け、各部 32 人をもって組織し、腕用ポンプを配備
1931 年 昭和 6 年	藤山村と合併し、消防組の組織が拡充強化
1939 年 昭和 14 年 4 月 1 日	消防組を警防団に改名し、市域を 11 分団、各 250 人程度に編成
1941 年 昭和 16 年	厚南村と合併し、消防組の組織が拡充強化
1943 年 昭和 18 年	西岐波村と合併し、消防組の組織が拡充強化
1944 年 昭和 19 年 3 月 24 日	宇部市小串通り渡辺翁記念会館内に山口県宇部消防署が設置(勅令第 137 号特設消防規定に基づく)され、防府市と山口市にその出張所を設置
1947 年 昭和 22 年 9 月	終戦による警防団の解散に伴い、新たに 11 分団定員 419 人の消防団が結成
1947 年 昭和 22 年 12 月 23 日	消防組織法が公布され、従来の官設消防は、警察から分離して民主的な自治体消防として発足
1948 年 昭和 23 年 3 月 7 日	消防組織法の施行に伴い、宇部市消防本部を宇部市常盤通り一丁目宇部市役所内に設置し、宇部市消防署は従前どおり渡辺翁記念会館内に存置して、自治体消防として新発足 また、防府、山口両市の出張所は宇部消防署の管轄を離れ、人員機材をそのままに両市自治体消防として発足
1948 年 昭和 23 年 7 月 24 日	消防法が公布され、消防業務は従来の水火災の防御鎮圧分野から大きく進展し、火災予防、原因の調査、建築許可等の同意、危険物の取締等の消防行政に画期的な職権が付与
1950 年 昭和 25 年 9 月 16 日	宇部市消防本部を渡辺翁記念会館内(宇部市消防署と同一箇所)に移転
1954 年 昭和 29 年 10 月 1 日	厚東、二俣瀬、小野、東岐波の 4 村が合併
1956 年 昭和 31 年 11 月	消防団の機構改革を行い、11 分団、定員 600 人に統合
1960 年 昭和 35 年 9 月 1 日	宇部市消防本部及び宇部市消防署を常盤町二丁目、郵便局庁舎北隣の新庁舎に移転

(西暦) 年 月 日	沿 革
1963 年 昭和 38 年 9 月 10 日	消防法の一部改正により、救急業務が制度化され、救急車 1 台を配備して、救急隊を編成
1970 年 昭和 45 年 11 月	宇部市消防団の事務局を市長部局から消防本部総務課へ移管
1975 年 昭和 50 年 9 月	山口県消防操法大会応急操法ポンプ車の部において初優勝
1977 年 昭和 52 年 4 月 1 日	吉敷郡阿知須町から同町の救急業務に関する事務を受託
1977 年 昭和 52 年 4 月 1 日	宇部市消防本部消防職員共済会設立
1978 年 昭和 53 年 4 月 18 日	厚南中野に厚南消防出張所を建築、消防業務を開始し職員定数を 97 人に増員
1980 年 昭和 55 年 4 月 1 日	西岐波西大道に東部消防出張所を建築、業務を開始し、職員定数を 124 人に増員
1982 年 昭和 57 年 12 月 6 日	山口宇部空港内に空港分遣所を設置
1988 年 昭和 63 年 3 月 31 日	山口宇部空港内の空港分遣所を廃止
1989 年 平成 元年 1 月 19 日	宇部市消防本部及び宇部市消防署を港町二丁目の新庁舎に移転し、消防緊急情報システムを導入
1990 年 平成 2 年 5 月 23 日	山口県消防大会を開催
1990 年 平成 2 年 11 月 30 日	高齢化社会に伴い、緊急時の通報として宇部市緊急通報システムを構築し、集中管理センターを消防本部通信指令室に設置
1991 年 平成 3 年 9 月	山口県消防操法大会応急操法小型ポンプの部において初優勝
1992 年 平成 4 年 11 月 6 日	救急救命士及び高規格救急自動車による高度処置救急隊の運用開始
1995 年 平成 7 年 4 月 1 日	二俣瀬に北部消防出張所を建築、業務を開始し、職員定数を 161 人に増員
1995 年 平成 7 年 8 月 1 日	宇部地区地震連絡協議会を設立（同年 7 月 31 日）し地震発生情報伝達システムの運用を開始
1995 年 平成 7 年 10 月 24 日	山口県幼年消防大会を開催
1996 年 平成 8 年 4 月 1 日	消防の充実強化を図るため、職員定数を 164 人に増員
1997 年 平成 9 年 4 月 1 日	消防の充実強化を図るため、職員定数を 170 人に増員

(西暦) 年 月 日	沿 革
1998 年 平成 10 年 4 月 1 日	西部消防出張所を西消防署に昇格し、職員定数を 176 人に増員
1999 年 平成 11 年 10 月 1 日	消防緊急通信指令施設更新
2000 年 平成 12 年 4 月 1 日	消防の充実強化及び拡充を図るため、職員定数を 184 人に増員し通信指令部門を通信指令課として独立
2000 年 平成 12 年 6 月 8 日	山口県危険物安全大会を開催
2000 年 平成 12 年 8 月	山口県総合防災訓練を実施
2000 年 平成 12 年 10 月 1 日	吉敷郡阿知須町から同町の消防業務に関する事務を受託
2002 年 平成 14 年 4 月 1 日	中央消防署に救助係を設置
2002 年 平成 14 年 10 月 16 日	中国・四国ブロック緊急消防援助隊合同訓練を阿知須町きらら浜で実施
2003 年 平成 15 年 8 月 1 日	救命率向上を図るため、山口大学医学部附属病院と相互協力し、救急車医師同乗システム（通称：ドクターカー）を運用開始
2004 年 平成 16 年 5 月	山口県消防大会を開催
2004 年 平成 16 年 11 月 1 日	楠町との合併により楠消防出張所を開設し、1 本部、2 署、3 出張所、職員定数 194 人で運用開始 また宇部市消防団の定員を宇部消防団 560 人、楠消防団 180 人で運用開始
2007 年 平成 19 年 3 月 1 日	高規格救急自動車 1 台を導入し、保有する 7 台全ての救急車の高規格化が完了
2007 年 平成 19 年 4 月 1 日	宇部消防団に方面隊を組織し、定員 520 人に改正
2008 年 平成 20 年 5 月 30 日	宇部市危険物安全協会と宇部市防火協会を統合し、宇部市防災協会を設立
2008 年 平成 20 年 9 月	山口県消防操法大会基本操法小型ポンプの部において初優勝
2009 年 平成 21 年 10 月 31 日	山口市阿知須区域の事務受託を廃止
2011 年 平成 23 年 3 月 14 日	緊急消防援助隊（4 隊、13 人、車両 4 台）を東日本大震災（宮城県石巻市）の被災地へ 4 日間派遣
2013 年 平成 25 年 4 月 1 日	宇部市消防団（宇部消防団、楠消防団）が統合

(3) 小野田市消防の沿革

(西暦) 年 月 日	沿 革
1898 年 明治 31 年 2 月	須恵村に公設消防組を設置
1908 年 明治 41 年 9 月	高千帆村に公設消防組を設置
1939 年 昭和 14 年 4 月 15 日	小野田・高千帆両町の消防組を警防団に改名
1940 年 昭和 15 年 11 月 3 日	小野田町と高千帆町が合併して小野田市となり、両町の警防団は小野田市警防団と再編
1947 年 昭和 22 年 6 月 27 日	小野田市消防団を結成し、団本部と 8 個分団を編成、450 人の組織を設置
1948 年 昭和 23 年 12 月 1 日	市役所社会課内に小野田市消防本部を設置
1949 年 昭和 24 年 5 月 1 日	小野田市大字小野田 5993 番地へ消防本部を設置し、当市消防行政は市の一般行政から独立、消防職員の定数は消防長以下 5 人で、消防業務を開始
1950 年 昭和 25 年 4 月 1 日	小野田市消防団員の定員を 450 人から 275 人に改正
1951 年 昭和 26 年 1 月 18 日	消防団第 2 分団の水上部を独立させ、水上分団を設置
1951 年 昭和 26 年 8 月 3 日	市長、消防長、団長、市議会議員 4 人、一般有識者 10 人により小野田市消防委員会を設置
1955 年 昭和 30 年 5 月 30 日	高松宮殿下を迎え、消防自動車 80 台、消防職団員 3,000 人による山口県消防機関連合訓練大会を挙行
1963 年 昭和 38 年 3 月 9 日	小野田市大字小野田 5896 番地の 1 に消防本部・署庁舎を新築移転
1963 年 昭和 38 年 4 月 1 日	小野田市危険物安全協会を設立 (10 事業所)
1964 年 昭和 39 年 12 月 11 日	非常災害連絡用として消防無線局を開局 ・基地局 (10W 1 基) ・陸上移動局 (10W 3 基) ・携帯陸上移動局 (1W 2 基)
1965 年 昭和 40 年 10 月 1 日	救急業務を開始
1970 年 昭和 45 年 12 月 1 日	小野田市化学消火剤共同備蓄会を設立 (34 事業所)
1977 年 昭和 52 年 10 月 17 日	大型化学消防自動車、大型高所放水車、泡原液搬送車を配置
1978 年 昭和 53 年 12 月 5 日	一斉指令装置を設置

(西暦) 年 月 日	沿 革
1983 年 昭和 58 年 7 月 1 日	機構改革により、新たに予防課を設置、総務課に消防団係を設置
1985 年 昭和 60 年 6 月 1 日	石井手保育園に幼年消防クラブを結成、以後 6 保育園がクラブを結成
1985 年 昭和 60 年 7 月 19 日	刈屋婦人防火クラブを結成
1985 年 昭和 60 年 9 月 1 日	小野田市防火委員会を結成
1987 年 昭和 62 年 11 月 11 日	全国消防長会危険物委員会を開催
1990 年 平成 2 年 5 月 23 日	山口県消防大会を開催
1992 年 平成 4 年 4 月 1 日	女性消防団員 10 人を採用
1993 年 平成 5 年 4 月 1 日	職員定数を 54 人から 57 人に増員
1995 年 平成 7 年 9 月 1 日	県下初の地震を想定した山口県総合防災訓練を実施
1995 年 平成 7 年 10 月 24 日	山口県幼年消防大会を開催
1996 年 平成 8 年 4 月 1 日	高規格救急自動車を新規配備し高度救急業務を開始
1997 年 平成 9 年 3 月 26 日	耐震性貯水槽（100 t）新設、以後市街地に 9 基設置
1999 年 平成 11 年 3 月 25 日	消防緊急通信指令施設（I 型）が完成
1999 年 平成 11 年 4 月 1 日	小野田市高栄一丁目 6 番 1 号へ消防本部・消防署庁舎を新築移転し、供用開始（本庁舎：鉄筋コンクリート一部鉄骨造 2 階建）
1999 年 平成 11 年 7 月 1 日	きららビーチ完成に伴い、消防署に水難救助隊を設置
2000 年 平成 12 年 1 月 20 日	消防訓練塔完成（主塔：5 階建、補助塔：3 階建）
2000 年 平成 12 年 3 月 29 日	化学消火薬剤備蓄タンク（20 k l）及び消火薬剤倉庫が完成
2000 年 平成 12 年 6 月 8 日	山口県危険物安全大会を開催
2002 年 平成 14 年 3 月 27 日	小野田市消防団が地域活動功労による消防庁長官表彰を山口県で初受賞
2002 年 平成 14 年 10 月 17 日	全国消防長会予防委員会を開催
2005 年 平成 17 年 3 月 21 日	小野田市消防委員会を廃止

(4) 山陽町消防の沿革

(西暦) 年 月 日	沿 革
1948 年 昭和 23 年 8 月	厚狭町消防本部を設置
1956 年 昭和 31 年 9 月	厚狭町と埴生町が合併し山陽町となり、山陽町消防本部を設置
1963 年 昭和 38 年 1 月	山陽町危険物安全協会を設立
1971 年 昭和 46 年 4 月	楠町と救急業務に関する事務委託協定を締結
1973 年 昭和 48 年 6 月	山陽地区消防組合を設立（許可番号：指令地方第 327 号） 山陽町と楠町で消防に関する事務を共同処理
1974 年 昭和 49 年 10 月	楠出張所開設、職員 6 人、消防ポンプ車、救急車、連絡車の 3 台配備し業務開始 埴生出張所（旧埴生消防事務室）開設、職員 5 人、消防団消防ポンプ自動車を管理
1981 年 昭和 56 年 4 月	埴生出張所完成、職員 7 人、水槽付消防ポンプ車、救急車、連絡車の 3 台を配備
1993 年 平成 5 年 3 月	消防緊急通信指令施設（I 型）を設置
1993 年 平成 5 年 7 月	消防組合発足 20 周年記念式典を開催
1994 年 平成 6 年 3 月	消防用無線中継局を松岳山に開局
1994 年 平成 6 年 11 月	山陽署事務室等増築
2000 年 平成 12 年 8 月	山口県総合防災訓練を実施
2002 年 平成 14 年 4 月	高規格救急自動車を山陽消防署に配備し高度救急業務開始
2003 年 平成 15 年 6 月	山口県危険物安全大会を開催
2004 年 平成 16 年 4 月	職員 8 人（内 3 人救急救命士）を採用し実員 64 人に増員
2004 年 平成 16 年 5 月	山口県消防大会を開催
2004 年 平成 16 年 10 月 31 日	組合構成団体の楠町が宇部市と合併、山陽地区消防組合を解散
2004 年 平成 16 年 11 月 1 日	山陽町消防本部を設立 1 本部 1 署 1 出張所、職員定数 54 人で消防業務開始

(5) 山陽小野田市消防の沿革

(西暦)	年	月	日	沿 革
2005 年	平成 17 年	3 月	22 日	小野田市と山陽町の合併により、山陽小野田市が誕生したことに伴い、常備消防は、2 消防本部が統合して山陽小野田市消防本部（山陽小野田市高栄一丁目 6 番 1 号）が発足、1 本部 2 署 1 出張所、職員定数 110 人の消防体制で消防業務を開始 一方、非常備消防も 2 市町の消防団が統合し、1 団本部、22 分団、定員 503 人による消防団組織を編成
2005 年	平成 17 年	9 月	17 日	山口県消防操法大会応急操法小型ポンプの部において初優勝
2006 年	平成 18 年	3 月	20 日	消防緊急通信指令システム（I 型）を更新
2006 年	平成 18 年	5 月	28 日	消防学校フェスタで従来の幼年消防クラブ大会に替えて、山陽小野田市引受けによるちびっ子防火フェアを開催
2007 年	平成 19 年	4 月	1 日	山陽小野田市消防団は合併協定事項に基づき、小学校区を基本に統合、合併当時の 22 個分団を 13 個分団に再編し、定員も 503 人から 485 人に改正、業務開始
2007 年	平成 19 年	4 月	12 日	出合分団及び厚陽分団の車庫完成に伴い、分団車庫引渡披露式を実施
2008 年	平成 20 年	3 月	18 日	厚狭北分団の車庫完成に伴い、分団車庫引渡披露式を実施
2011 年	平成 23 年	3 月	14 日	緊急消防援助隊（2 隊、5 人、車両 2 台）を東日本大震災（宮城県石巻市）の被災地へ 4 日間派遣

5 歴代消防長

(1) 宇部・山陽小野田消防局

代	氏 名	期 間	備 考
初	杉 野 嘉 裕	平成 24 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日	
2	江 本 祥 三	平成 27 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日	
3	山 本 晃	平成 29 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日	
4	石 部 隆	平成 31 年 4 月 1 日～現在	

(2) 宇部市

代	氏 名	期 間	備 考
初	星 出 寿 雄	昭和 23 年 3 月 7 日 ～昭和 25 年 9 月 15 日	助役
2	中 間 義 雄	昭和 25 年 9 月 16 日～昭和 42 年 3 月 31 日	
3	西 田 竹 一	昭和 42 年 4 月 1 日 ～昭和 42 年 5 月 31 日	助役
4	三 井 太兵衛	昭和 42 年 6 月 1 日 ～昭和 48 年 1 月 10 日	
5	西 田 一 美	昭和 48 年 1 月 11 日～昭和 52 年 11 月 30 日	
6	穂 村 馨	昭和 52 年 12 月 1 日～昭和 55 年 3 月 31 日	
7	佐 野 慶 一	昭和 55 年 4 月 1 日 ～昭和 58 年 3 月 3 日	
8	石 土 吾 市	昭和 58 年 3 月 4 日 ～昭和 61 年 3 月 31 日	
9	中 川 典 義	昭和 61 年 4 月 1 日 ～平成元年 3 月 31 日	
10	河 野 積 善	平成元年 4 月 1 日 ～平成 2 年 3 月 31 日	
11	片 岡 信 行	平成 2 年 4 月 1 日 ～平成 4 年 3 月 31 日	
12	山 縣 熙	平成 4 年 4 月 1 日 ～平成 8 年 3 月 31 日	
13	若 杉 清 美	平成 8 年 4 月 1 日 ～平成 11 年 3 月 31 日	
14	神 田 義 正	平成 11 年 4 月 1 日 ～平成 13 年 3 月 31 日	
15	原 谷 恒 雄	平成 13 年 4 月 1 日 ～平成 15 年 3 月 31 日	
16	中 山 武 久	平成 15 年 4 月 1 日 ～平成 17 年 3 月 31 日	
17	矢 野 洋 司	平成 17 年 4 月 1 日 ～平成 19 年 3 月 31 日	
18	利 重 和 彦	平成 19 年 4 月 1 日 ～平成 22 年 3 月 31 日	
19	芥 川 貴久爾	平成 22 年 4 月 1 日 ～平成 24 年 3 月 31 日	

(3) 小野田市

代	氏 名	期 間	備 考
初	森 本 品 一	昭和 23 年 5 月 1 日 ～昭和 32 年 7 月 10 日	
2	豊 田 重 康	昭和 32 年 7 月 11 日～昭和 39 年 3 月 31 日	
3	近 間 武 久	昭和 39 年 4 月 1 日 ～昭和 43 年 3 月 31 日	
4	岡 義 雄	昭和 43 年 4 月 1 日 ～昭和 47 年 3 月 31 日	
5	大 中 誠	昭和 47 年 4 月 1 日 ～昭和 48 年 3 月 30 日	
6	濱 崎 清 治	昭和 48 年 10 月 1 日～昭和 59 年 3 月 31 日	

7	金 澤 俊 雄	昭和 59 年 4 月 1 日 ～昭和 62 年 3 月 31 日	
8	西 田 一	昭和 62 年 4 月 1 日 ～平成元年 3 月 31 日	
9	尾 山 克 己	平成元年 4 月 1 日 ～平成 3 年 6 月 20 日	
10	西 村 信 二	平成 3 年 6 月 21 日 ～平成 8 年 3 月 31 日	
11	平 田 武	平成 8 年 4 月 1 日 ～平成 10 年 3 月 31 日	
12	高 橋 茂	平成 10 年 4 月 1 日 ～平成 16 年 3 月 31 日	
13	中 里 裕 典	平成 16 年 4 月 1 日 ～平成 17 年 3 月 21 日	

(4) 山陽町

代	氏 名	期 間	備 考
初	真 鍋 亨 造	昭和 23 年 8 月 1 日 ～昭和 25 年 4 月 1 日	助役
2	八 木 正 一	昭和 25 年 5 月 4 日 ～昭和 27 年 5 月 31 日	助役
3	中 村 貞 雄	昭和 27 年 10 月 11 日～昭和 31 年 11 月 5 日	助役
4	細 迫 左文太	昭和 31 年 11 月 17 日～昭和 33 年 4 月 9 日	町長
5	縄 田 定 人	昭和 33 年 6 月 15 日 ～昭和 39 年 12 月 31 日	助役
6	田 中 文	昭和 40 年 4 月 5 日 ～昭和 43 年 11 月 20 日	助役
7	小 玉 礦	昭和 44 年 2 月 1 日 ～昭和 45 年 4 月 30 日	職務代理
8	福 永 内 匠	昭和 45 年 5 月 1 日 ～昭和 46 年 6 月 15 日	
9	小 玉 礦	昭和 46 年 7 月 1 日 ～昭和 48 年 5 月 31 日	
10	安 部 學	平成 16 年 10 月 1 日 ～平成 17 年 3 月 21 日	

(5) 山陽地区消防組合

初	小 玉 礦	昭和 48 年 6 月 1 日 ～昭和 58 年 1 月 10 日	
2	庄 野 義 章	昭和 58 年 1 月 11 日 ～昭和 60 年 3 月 31 日	
3	金 重 成 昭	昭和 60 年 4 月 1 日 ～昭和 63 年 3 月 31 日	
4	尾 田 勝	昭和 63 年 4 月 1 日 ～平成 7 年 3 月 31 日	
5	野 村 隆 之	平成 7 年 4 月 1 日 ～平成 13 年 3 月 31 日	
6	笹 木 慶 之	平成 13 年 4 月 1 日 ～平成 14 年 3 月 31 日	
7	安 部 學	平成 14 年 4 月 1 日 ～平成 16 年 9 月 30 日	

(6) 山陽小野田市

代	氏 名	期 間	備 考
初	中 里 裕 典	平成 17 年 3 月 22 日 ～平成 20 年 3 月 31 日	
2	山 根 雅 敏	平成 20 年 4 月 1 日 ～平成 22 年 3 月 31 日	
3	松 野 清 和	平成 22 年 4 月 1 日 ～平成 24 年 3 月 31 日	

6 過去の主な災害等

(1) 宇部・山陽小野田消防組合発足以降の主な火災記録

発生日	住 所	原因・焼損程度・損害額等
H25. 9. 8	宇部市 大字沖宇部	工場内の中間製品貯蔵タンクより出火 損害額 7, 440千円 軽症2人
H26. 4. 27	宇部市 大字今富	倉庫から出火し、山林に延焼 建物9棟全焼、1棟部分焼 (836㎡) 損害額 7, 849千円 山林61a焼失
H26. 8. 18	山陽小野田市 新沖二丁目	発電所のベルトコンベアーから出火 損害額 122, 409千円
H27. 5. 1	山陽小野田市 大字小野田	工場内のベルトコンベアーから出火 損害額 9, 428千円
H27. 8. 5	山陽小野田市 港町	ガス充てん工場作業場から出火 損害額 84, 040千円 負傷者1人

(2) 宇部市の主な火災記録

発生日	住 所	原因・焼損程度・損害額等
S20. 7. 2	市内	B29爆撃機による空襲 4, 953戸全焼 り災世帯23, 413世帯 死者336人 負傷者591人
S25. 2. 18	常盤町二丁目	百貨店から出火 建物7棟焼損 (1, 404㎡) 損害額 21, 989千円
S28. 3. 2	梶返	中学校から出火 建物4棟焼損 (5, 690㎡) 負傷者 6人 損害額 70, 000千円
S30. 11. 20	小串	病院から出火 建物1棟全焼 (2, 507㎡) 損害額 24, 717千円
S34. 7. 11	大字藤曲	化学工場が爆発 建物1棟 (560㎡) 死者11人 負傷者38人 損害額 250, 000千円
S36. 4. 1	川上(男山)	山林から出火 3日間延焼 462ha焼失 損害額 37, 582千円
S37. 10. 29	大字上宇部	高等学校から出火 建物4棟焼損 (999㎡) 損害額 2, 704千円
S40. 3. 19	東海岸通り二丁目	木工所から出火 建物12棟焼損 (1, 788㎡) り災世帯19世帯 負傷者2人 損害額 30, 506千円
S43. 6. 12	中央町三丁目	家具百貨店から出火 建物18棟焼損 (2, 658㎡) り災世帯26世帯 負傷者2人 損害額 93, 458千円
H元. 12. 7	新天町二丁目	物品販売店舗から出火 建物1棟全焼 (4, 068㎡) り災世帯3世帯 負傷者3人 損害額 510, 776千円

(3) 旧小野田市の主な火災記録

発生日	住 所	原因・焼損程度・損害額等
S26. 6. 6	くし山中	小学校から出火 校舎2棟全焼(919㎡) 損害額 7,048千円
S30. 3. 7	北栄町	映画館から出火 建物1棟全焼(659㎡) 損害額 5,050千円
S33. 4. 8	くし山東	高等学校から出火 校舎1棟全焼(347㎡) 損害額 1,700千円
S34. 11. 13	第一日の出町	パチンコ店から出火 建物3棟全焼(292㎡) り災世帯12世帯 り災人員41人 損害額 168,298千円
S53. 4. 9	北真土郷	林野から出火 焼損面積27ha 損害額 24,003千円
S56. 7. 7	西沖	石油精製工場(動力管理室から出火)建物1棟部分焼 損害額 17,130千円(原因は落雷) 負傷者1人
S59. 2. 28	丸河内一区	電気製品の倉庫から出火 建物1棟全焼(869㎡) 損害額 134,410千円
S60. 6. 23	南真土郷	樹脂工場から出火 建物1棟全焼(660㎡) 損害額 151,675千円
S63. 4. 26	平和町	専用住宅から出火 建物20棟を全半焼(1,486㎡) り災世帯25世帯 り災人員63人 損害額 347,974千円
H11. 9. 7	小野田港	製鋼工場から水蒸気爆発が発生 出火建物は爆発により損壊したが、 火災による損害はスクラップのみ

(4) 旧山陽町の主な火災記録

発生日	住 所	原因・焼損程度・損害額等
S25. 5. 15	火薬町	化学工場内の廃酸分解から出火 建物3戸全焼(298㎡) 損害額 100,000千円 半焼1戸 死者3人
S26. 6. 7	本町1	映画館から出火 映画館(200㎡)を全焼 半焼5戸 損害額 8,750千円 り災世帯6世帯
S35. 2. 20	山陽本線	山陽本線厚狭埴生駅間「さくら」の電源車から出火 損害額 31,320千円
S40. 3. 21	保戸	山林から出火 山林13.8ha焼失 損害額 2,202千円
S42. 6. 4	大持	山林から出火 再燃で延べ4日間にわたり延焼 損害額 6,291千円、山林18.4ha焼失
S43. 4. 30	大持	山林から出火 山林10.3ha焼失 損害額 458千円
S45. 1. 16	殿町3	小学校(木造2階建)から出火 校舎半焼(542㎡) 損害額 2,634千円
H15. 11. 8	浜崎	「まつり山陽」前夜祭花火大会において花火の爆発事故 損害額 94千円 死者2人 重症1人 軽症1人

(5) 山陽小野田市の主な火災記録

発生日	住 所	原因・焼損程度・損害額等
H17. 10. 24	新沖二丁目	発電所のベルトコンベアーから出火 損害額 47,806千円

(6) 宇部・山陽小野田地区における自然災害

年 月 日	内 容	被 害 概 要	
		宇 部 市	山陽小野田市
S17. 8. 27	周防灘台風により高潮が発生、市内堤防が相次いで決壊し市街地及び低地に海水が浸水し、甚大な被害をもたらした。	死者 232 人、行方不明 65 人、負傷者 118 人、家屋全壊 71 戸、家屋流出 472 戸、家屋半壊 643 戸、浸水 5,082 戸	(小野田市)死者 141 人、行方不明 3 人、負傷者 27 人、家屋全壊 195 戸、家屋流出 96 戸、家屋半壊 985 戸、床上浸水 509 戸、船舶流失 350 艘
S28. 6. 25 ～6. 29	九州山口を豪雨が襲い、約 5 日間にわたる記録的な大雨となり、大きな被害をもたらした。	死者 1 人、家屋全半壊 29 戸、浸水 3,707 戸、真締川堤防 3 か所決壊、13 鉱完全水没、	(小野田市)死者 2 人、重傷者 1 人、家屋全半壊 44 戸、家屋流出 1 戸、床上浸水 179 戸、道路決壊 30 ヶ所、橋梁流出 4 箇所(山陽町)厚狭川決壊、死者 6 人、負傷者 5 人、家屋全半壊 19 戸、床上浸水 1,503 戸
H3. 9. 27	台風第 19 号は、中心気圧 945hpa、最大風速 45m/s の大型台風で、大きな被害をもたらした。	死者 1 人(太陽熱温水器落下による)、重傷者 3 人、軽傷者 8 人、家屋半壊 41 戸	(小野田市)負傷者 7 人、家屋全壊 1 戸、家屋半壊 10 戸、床上浸水 1 戸 (山陽町)家屋全壊 2 戸、家屋半壊 1 戸、床上浸水 11 戸、床下浸水 23 戸
H11. 9. 24	台風第 18 号は、中心気圧 950hpa、最大風速 45m/s の大型台風で竜巻、高潮による大きな被害をもたらした。	重傷者 4 人、軽傷者 7 人、家屋全壊 13 戸、家屋半壊 536 戸、床上浸水 241 戸、床下浸水 3,408 戸	(小野田市)重傷者 12 人、軽傷者 70 人、家屋全壊 17 戸、家屋半壊 118 戸、西部石油沖護岸決壊、床上浸水 83 戸 (山陽町)負傷者 5 人、住宅全壊 32 世帯、半壊 421 世帯、非住居の被害 215 戸、救出者 21 人
H21. 7. 21 ～7. 26	梅雨前線に伴う集中豪雨(平成 21 年 7 月中国・九州北部豪雨)のため、河川の氾濫等により多くの水害をもたらした。	家屋半壊 4 戸、床上浸水 42 戸、床下浸水 20 戸	床上浸水 44 戸、床下浸水 221 戸、救助出動 9 件、救助人員 49 人
H22. 7. 15	梅雨前線の停滞に伴う集中豪雨による厚狭川等の氾濫のため、山陽地区において多くの水害をもたらした。	家屋半壊 1 戸、家屋一部損壊 8 戸、床上浸水 2 戸、床下浸水 60 戸	家屋半壊 8 戸、床上浸水 446 戸、床下浸水 351 戸、救助人員 92 人(宇部・光・岩国消防応援隊救出を含む)

7 応援協定等締結状況

協定の名称		締結先機関	締結年月日
1	山口県内広域消防相互応援協定	山口県内全域の市町及び消防組合	H24. 4. 1
2	中国自動車及び山陽自動車道における消防相互応援協定	下関市・美祢市・山陽小野田市・宇部市 山口市・防府市・周南市・下松市・光市 光地区消防組合・岩国市・岩国地区消防組合	H24. 4. 1
3	県道山口宇部線における消防相互応援協定	山口市・宇部市	H24. 3. 28
4	石油コンビナート等特別防災区域に係る消防相互応援協定	岩国地区消防組合・下松市・周南市・下関市	H24. 4. 1
5	「母体・新生児救急搬送マニュアル」に係る救急業務相互応援協定	下関市・山口市・萩市・防府市・下松市・長門市 周南市・柳井地区広域消防組合・美祢市 光地区消防組合・岩国地区消防組合	H24. 4. 1
6	山口県消防防災ヘリコプター応援協定	山口県・山口県内全域の市町及び消防組合	H24. 4. 1
7	船舶消火に関する業務協定	宇部海上保安署	H24. 4. 1
8	山口県宇部空港及びその周辺における消火救援活動に関する協定	山口宇部空港	H24. 4. 1
9	ガス漏れ及び爆発事故等の防止対策に関する申し合わせ	都市ガス 山口合同ガス(株)宇部支店	H26. 4. 1
		L P ガス 山口県L P ガス協会宇部小野田支部	H24. 4. 1
		山口県L P ガス協会厚狭支部	H24. 4. 1
10	救急車医師同乗システムに関する協定	山口大学医学部附属病院	H24. 4. 1
11	気管挿管実習に係る協定	山口大学医学部附属病院	H24. 4. 1
12	宇部・山陽小野田消防局地域における医療救護活動に関する協定	山口大学医学部附属病院	H24. 4. 1
		医療法人社団宇部興産中央病院	
		山口労災病院	
13	エボラ出血熱患者の移送に関する協定	山口県宇部環境保健所	H27. 6. 5
14	宇部・山陽小野田消防局地域における医療救護活動に関する協定	山陽小野田市民病院	H30. 2. 9

総務・情報財政

消防局・宇部中央消防署



宇部中央消防署東部出張所



宇部西消防署



宇部西消防署北部出張所



宇部西消防署楠出張所



小野田消防署



山陽消防署



山陽消防署埴生出張所

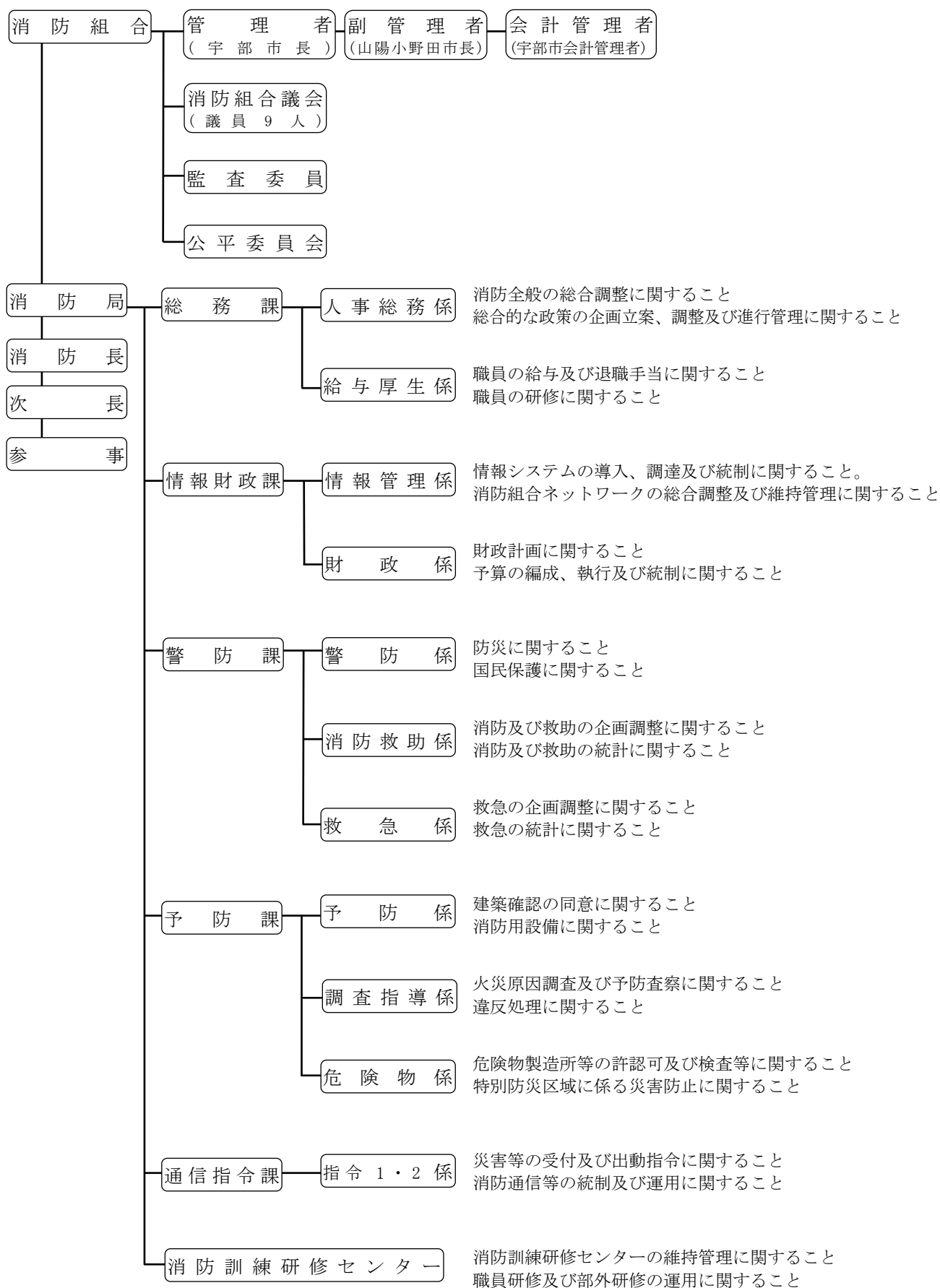


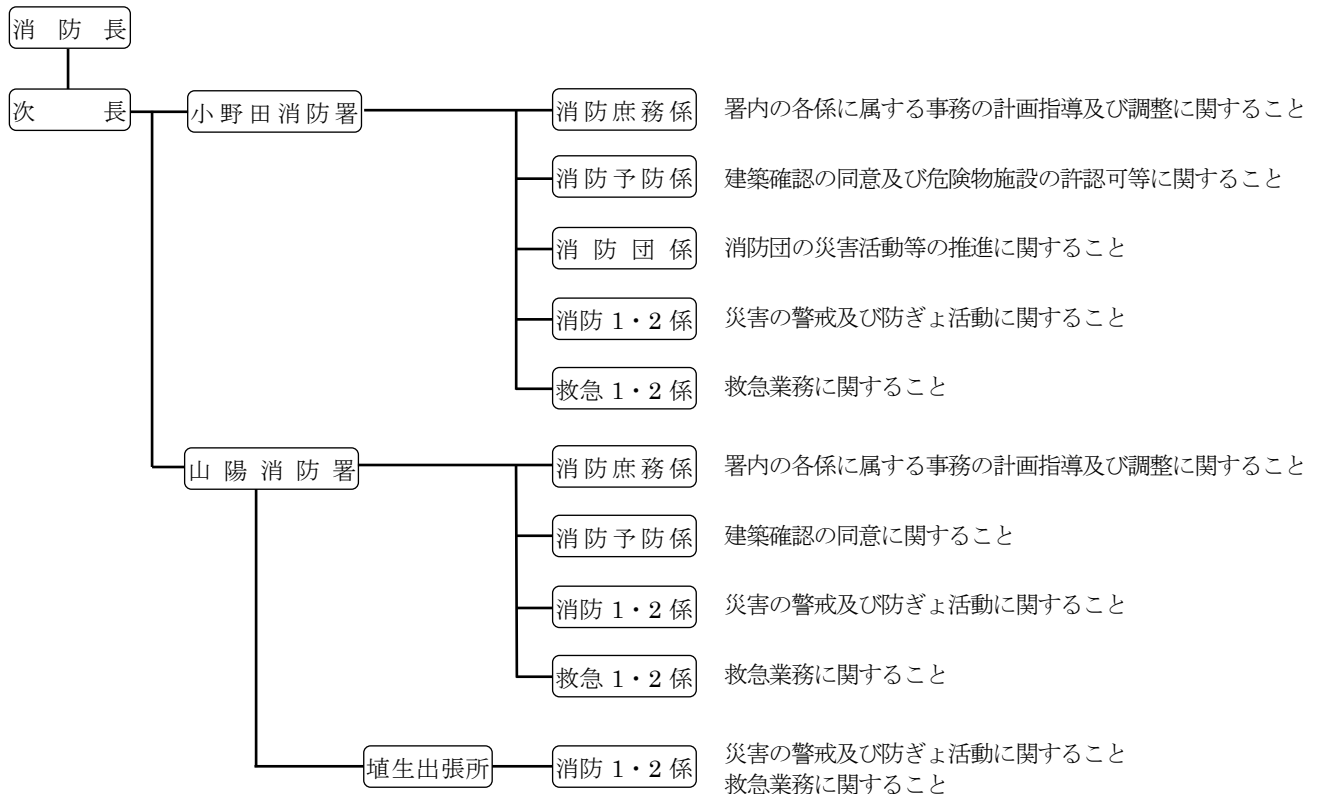
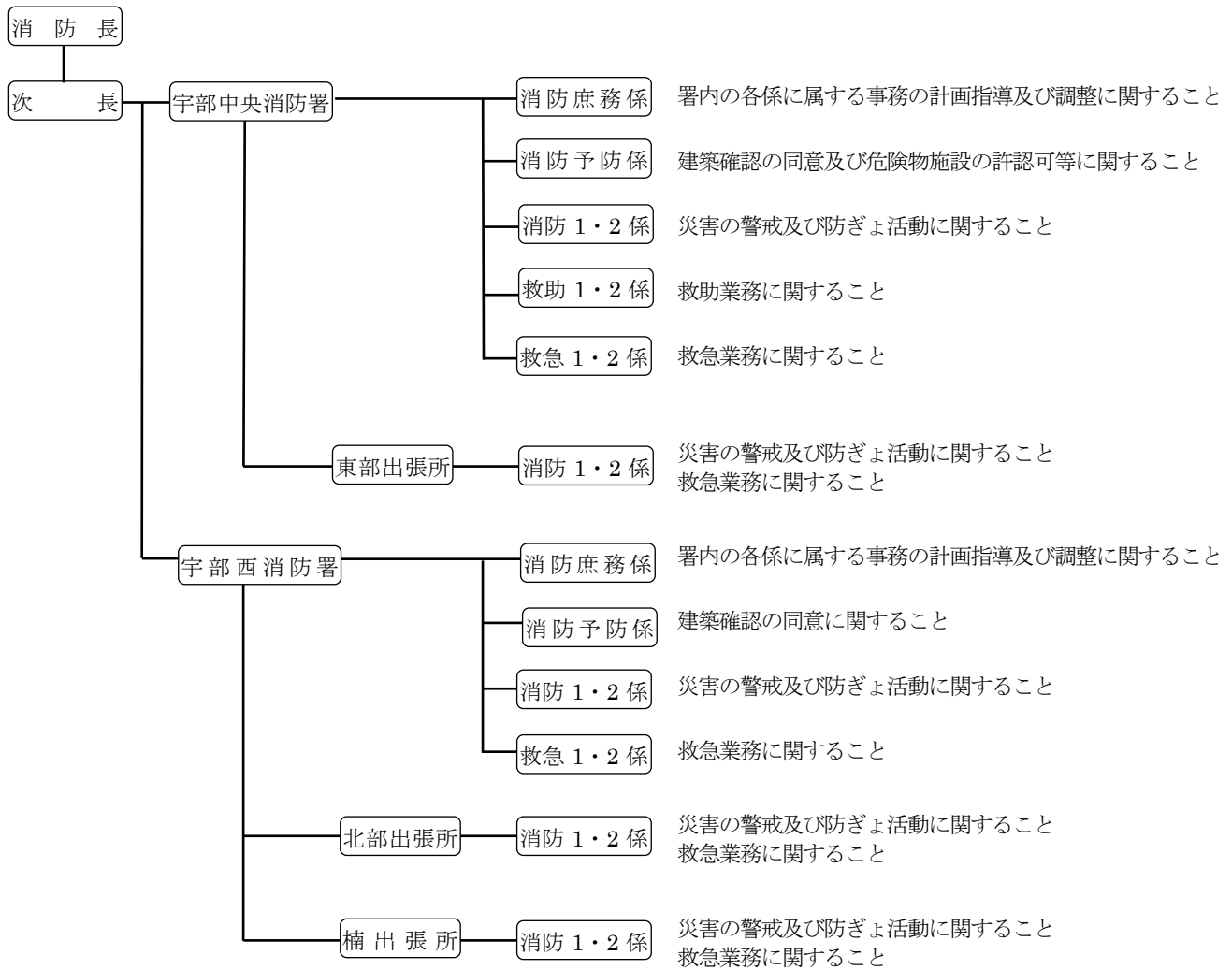
1 年間の主な行事

- 6 月第 2 週……………危険物安全週間
- 8 月 3 0 日 ～ 9 月 5 日……………防災週間
- 9 月 1 日……………防災の日
- 9 月 9 日……………救急の日
- 1 1 月 9 日……………1 1 9 番の日
- 1 1 月 9 日 ～ 1 1 月 1 5 日……………秋季火災予防運動
- 1 月 1 5 日 ～ 1 月 2 1 日……………防災とボランティア週間
- 1 月 1 7 日……………防災とボランティアの日
- 1 月 2 6 日……………文化財防火デー
- 3 月 1 日 ～ 3 月 7 日……………春季火災予防運動
- 3 月 7 日……………消防記念日

1 宇部・山陽小野田消防組合組織図及び主な分掌事務

令和3年4月1日現在





2 消防局・消防署職員配置表

令和3年4月1日現在

[単位：人]

勤務別 \ 階級		計	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	再任用職員	人事交流職員等
定 員		315										
実 員		301(7)		3	6	26	79(2)	93(1)	32(1)	57(3)	2	3
消防局	消 防 長		【1】									1
	次 長	1		1								
	参 事	2		2【1】								1
	総務課	課 長	1		1							
		副 課 長	1			1						
		人事総務係	2(1)				2(1)					
		給与厚生係	2				1	1				
		派遣職員他	19(1)				3	1		15(1)		
	情報財政課	課 長	1		1							
		副 課 長	1			1						
		情報管理係	2				1	1				
		財 政 係	2				1	1				
	警防課	課 長	1		1							
		副 課 長	1			1						
		警 防 係	2				1	1				
		消防救助係	2				2					
		救 急 係	2				2					
	予防課	課 長	1		1							
		副 課 長	1			1						
		予 防 係	2				1	1				
		調査指導係	2				1	1				
		危険物係	3				2	1				
	通信指令課	課 長	1		1							
		主 幹	1		1							
		副 課 長	2			2						
		指令1係	6(1)				3	1	1(1)	1		
		指令2係	6				2	3	1			
	小 計	67(3)	【1】	3【1】	6	6	22(1)	12	2(1)	16(1)		2

() ～女性職員数

【 】 ～消防吏員以外

[] ～事務取扱（人数に含まない）

勤務別 \ 階級		計	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	再任用職員	人事交流職員等
宇部中央消防署	署 長	[1]		[1]								
	副 署 長	1				1						
	副 主 幹	1				1						
	消 防 庶 務 係	1					1					
	消 防 予 防 係	4					2	1	1			
	警 備 司 令	2				2						
	消 防 1 係	12(1)					4	3(1)	3	2		
	救 助 1 係	5					2	2	1			
	救 急 1 係	9					2	3	2	2		
	消 防 2 係	13					3	4	2	4		
	救 助 2 係	5					2	1	2			
	救 急 2 係	9(1)					2	4		3(1)		
	東部出張所長	1				1						
	東部消防 1 係	9[1]				[1]	2	2	2	3		
	東部消防 2 係	10					3	3	2	2		
	小 計	82(2)				5	23	23(1)	15	16(1)		
宇部西消防署	署 長	1			1							
	副 署 長	1				1						
	消 防 庶 務 係	1[1]				[1]		1				
	消 防 予 防 係	2					2				1	
	警 備 司 令	2				2						
	消 防 1 係	10					2	4	2	2		
	救 急 1 係	4					2	1		1		
	消 防 2 係	10					3	5		2		
	救 急 2 係	4					1	2	1			
	北部出張所長	1				1						
	北部消防 1 係	8					3	6	4	1		
	北部消防 2 係	7[1]				[1]	1	5	2			
	楠出張所長	1				1						
	楠消防 1 係	8					2	4	1	1		
	楠消防 2 係	7[1]				[1]	2	2	1	2		
	小 計	67			1	5	18	30	11	9		

() ～女性職員数 【 】 ～消防吏員以外 [] ～事務取扱 (人数に含まない)

勤務別 \ 階級		計	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	再任用職員	人事交流職員等
小野田消防署	署 長	[1]		[1]								
	副 署 長	1			1							
	消 防 庶 務 係	1					【1】	1				1
	消 防 予 防 係	4					2	2				
	消 防 団 係	2					1	1				
	警 備 司 令	2				2						
	消 防 1 係	12(1)					4	5		3(1)		
	救 急 1 係	5					2	1	1	1		
	消 防 2 係	12					2	4	4	2		
	救 急 2 係	5(1)					2(1)	1	1	1		
	小 計	44(2)			1	2	13(1) 【1】	15	6	7(1)		1
山陽消防署	署 長	1			1							
	副 署 長	1				1						
	消 防 庶 務 係	1[1]				[1]	1					
	消 防 予 防 係	2				1		1			1	
	警 備 司 令	2				2						
	消 防 1 係	6					2	2		2		
	救 急 1 係	5					2	1	1	1		
	消 防 2 係	6					2	1	1	2		
	救 急 2 係	5					2	1	2			
	埴生出張所長	1				1						
	埴生消防 1 係	5[1]				[1]		3		2		
	埴生消防 2 係	6					1	2	2	1		
	小 計	41			1	5	10	11	6	8	1	

() ～女性職員数 【 】 ～消防吏員以外 [] ～事務取扱（人数に含まない）

3 消防職員階級別年齢

令和3年4月1日現在 [単位：人]

年 齢	消 防 正 監	消防監	消 防 司令長	消 防 司 令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副士長	消防士	合計
20 歳未満								5	5
20 歳以上 25 歳未満								35(2)	35(2)
25 歳以上 30 歳未満						7	25(1)	14(1)	46(2)
30 歳以上 35 歳未満						28(1)	12	2	42(1)
35 歳以上 40 歳未満					3	25	1		29
40 歳以上 45 歳未満					20(2)	4			24(2)
45 歳以上 50 歳未満					41	12			53
50 歳以上 55 歳未満			3	11	19	4			37
55 歳以上		3	6	12	3	6			30
合計		3	9	23	86(2)	86(1)	38(1)	56(3)	301(7)
平均（歳）		56.7	54.7	54.4	47.1	38.3	28.5	23.3	38.7
再任用職員						2			2
人事交流職員等	1	1			1				3

() ～うち女性職員数

4 消防職員階級別勤続年数

令和3年4月1日現在 [単位：人]

勤 続 年 数	消 防 正 監	消防監	消 防 司令長	消 防 司 令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副士長	消防士	合計
5 年未満						2	9	45(2)	56(2)
5 年以上 10 年未満						23(1)	27(1)	11(1)	61(3)
10 年以上 15 年未満						22	2		24
15 年以上 20 年未満					9	15			24
20 年以上 25 年未満					25(2)	4			29(2)
25 年以上 30 年未満		1	3	7	38	12			61
30 年以上 35 年未満		1	1	7	12	1			22
35 年以上		1	5	9	2	7			24
合計		3	9	23	86(2)	86(1)	38(1)	56(3)	301(7)
平均（年）		33.3	33.4	33.0	25.4	16.8	6.3	2.2	17.1
再任用職員						2			2
人事交流職員等	1	1			1				3

() ～うち女性職員数

5 職員研修状況

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

[単位：人]

研修学科等			受講者数
消防大学校	専科教育	指揮隊長コース	1
		新任消防長科	0
山口県消防学校	初任総合教育		12
	専科教育	予防査察科	0
		火災調査科	2
		救助科	4
	特別教育	水難救助科	0
		消防団指導科	0
	その他の教育	大規模災害対策科	0
救急救命士養成研修所	救急救命士研修課程・指導救命士養成研修		2
山口県ひとづくり財団	コーチング講座		1
	窓口応接講座		0
	職場のメンタルヘルス講座（ラインケア）		1
	危機管理実務講座		1
	災害対応講座		0
	プレゼンテーションセミナー		1
	女性職員キャリアアップ講座		1
	契約事務講座		0
	クレーム対応力向上講座		0
	アサーティブ・コミュニケーション講座		1
	議会对応実務講座		0
その他	KHK 屋外タンク実務担当者研修		1
	予防技術講習		1
	整備管理者選任前研修		1
	健康管理者研修		0
	消防職員安全衛生研修		0
	火薬類取締法研修		1
	違反処理業務研修		0
	非常時における外国人とのコミュニケーション（消防コース）		0
	衛生推進者養成講習		0
	安全運転管理課程		0

6 特殊技能・技術資格者

令和3年4月1日現在

[単位：人]

[単位：人]

種別			人数
自動車免許	大型	11t以上	189
	中型	8t未満	16
		11t未満	56
	準中型	5t未満	14
		7.5t未満	3
	普通	3.5t未満	23
予防	予防技術検定（消防用設備）		38
	予防技術検定（危険物）		31
	予防技術検定（防火査察）		114
通信指令	特殊無線技士（2級）		165
	特殊無線技士（3級）		118
警防・救助	小型船舶操縦士		47
	潜水土		134
	小型移動式クレーン運転技能講習		131
	玉掛技能講習修		122
	足場組立等作業主任者講習		24
	足場の組立て作業等特別教育		4
	酸素欠乏技能講習		15
	酸素欠乏・硫化水素技能講習		37
	ガス溶接技能講習		65
	フルハーネス型安全帯使用作業特別教育		265
	チェーンソーによる伐木等特別教育		4

種別		人数
救急	救急救命士	59
	指導救命士	5
	救急科（標準課程・Ⅱ課程）	240
その他	整備管理者	6
	衛生管理者	10

7 消防予算(令和3年度当初予算)

(1) 歳入

[単位：千円]

款	令和3年度予算額	令和2年度予算額	比較
分担金及び負担金	2,844,309	2,820,786	23,523
使用料及び手数料	29,218	29,461	△243
県支出金	13,340	100,555	△87,215
繰越金	1,000	1,000	0
諸収入	4,692	4,959	△267
組合債	42,700	397,100	△354,400
歳入合計	2,935,259	3,353,861	△418,602

(2) 歳出

[単位：千円]

款	令和3年度 予算額	令和2年度 予算額	比較	令和3年度予算額の財源内訳			
				特定財源			一般財源
				国県支出金	地方債	その他	
議会費	354	354	0				354
総務費	15,980	18,890	△2,910			840	15,140
消防費	2,793,240	3,204,456	△411,216	13,340	42,700	46,609	2,690,591
公債費	121,685	126,161	△4,476				126,685
予備費	4,000	4,000	0				4,000
歳出合計	2,935,259	3,353,861	△418,602	13,340	42,700	47,449	2,831,770

(3) 分担金の内訳

[単位：千円]

区分 構成市	構成市 当初予算額(A)	構成市 分担金(B)	比率(%) $B/A \times 100$	分担金の内訳	
				分担金	特別分担金
宇部市	71,520,000	1,898,153	2.65	1,778,147	120,006
山陽小野田市	29,200,000	929,447	3.18	879,391	50,056
合計	100,720,000	2,827,600	2.81	2,657,538	170,062

(4) 消防組合予算と管内人口・世帯数との割合

令和3年4月1日現在

消防組合予算	1人当たりの 消防組合予算	1世帯当たりの 消防組合予算	人口／世帯数
2,935,259,000円	13,116円	26,986円	223,795人
			108,771世帯

(5) 現有消防力と面積・世帯・人口の割合

令和3年4月1日現在

消防吏員1人に対して			消防署数に対して			常備消防ポンプ自動車 1台に対して			救急自動車1台に対して		
面積 (km ²)	世帯数 (戸)	人口 (人)	面積	世帯数	人口	面積	世帯数	人口	面積	世帯数	人口
1.4	359.0	738.6	104.9	27,192.8	55,948.8	24.7	6,398.3	13,164.4	38.2	9,888.3	20,345.0
303人			4署			17台			11台		

8 消防庁舎

令和 3 年 4 月 1 日現在

(1) 宇部・山陽小野田消防局，宇部中央消防署

所在地：宇部市港町二丁目 3 番 3 0 号 敷地面積：3,297.84 m²

建物等名称	構 造	延面積	完成年月
庁舎棟	鉄筋コンクリート造 3 階建	2,720.68 m ²	H1 年 1 月
訓練塔	鉄筋コンクリート造 6 階建	264.00 m ²	H1 年 1 月
車庫・点検場	鉄骨造平屋建（泡原液貯蔵タンク 6 kl）	231.00 m ²	H1 年 1 月
自転車置場	鉄骨造平屋建	25.60 m ²	H1 年 1 月

(2) 小野田消防署（消防訓練研修センター）

所在地：山陽小野田市高栄一丁目 6 番 1 号 敷地面積：11,415.85 m²

建物等名称	構 造	延面積	完成年月
庁舎棟	鉄筋コンクリート造及び鉄骨造 2 階建	2,397.30 m ²	H11 年 3 月
電気室棟	コンクリートブロック造平屋建	64.48 m ²	H11 年 3 月
車庫倉庫棟	コンクリートブロック造平屋建	286.83 m ²	H11 年 3 月
駐輪場	鉄骨造平屋建	21.72 m ²	H11 年 3 月
訓練塔	鉄筋コンクリート造 5 階建（補助塔 3 階）	342.13 m ²	H12 年 1 月
消火薬剤タンク	鉄骨造（タンク SUS 製 20 kl）	58.36 m ²	H12 年 3 月
消火薬剤倉庫	鉄骨造平屋建	63.90 m ²	H12 年 3 月

(3) 宇部西消防署

所在地：宇部市厚南中央五丁目 6 番 2 2 号 敷地面積：1,974.44 m²

建物等名称	構 造	延面積	完成年月
庁舎棟	鉄筋コンクリート造 2 階建	684.57 m ²	S53 年 4 月
倉庫棟	ブロック造平屋建	54.92 m ²	S53 年 4 月
自転車置場	鉄骨造平屋建	6.00 m ²	S53 年 4 月
車庫棟	鉄骨造平屋建	102.13 m ²	H16 年 3 月

(4) 山陽消防署

所在地：山陽小野田市大字厚狭 4 8 7 番地 9 敷地面積：4,542.94 m²

建物等名称	構 造	延面積	完成年月
庁舎棟	鉄筋コンクリート造 2 階建	1,290.71 m ²	H25 年 3 月
訓練塔	鉄筋コンクリート造 3 階建	105.00 m ²	H25 年 3 月
倉庫棟	鉄筋コンクリート造 3 階建	90.00 m ²	H25 年 3 月
自転車置場	鉄骨造平屋建	15.00 m ²	H25 年 3 月

(5) 宇部中央消防署東部出張所

所在地：宇部市大字西岐波 7 6 1 番地 1 敷地面積：1,187.03 m²

建物等名称	構 造	延面積	完成年月
庁舎棟	鉄筋コンクリート造 2 階建	430.86 m ²	S55 年 4 月
倉庫・自転車置場棟	ブロック造平屋建	30.00 m ²	S55 年 4 月

(6) 宇部西消防署北部出張所

所在地：宇部市大字荒瀬 1 1 0 5 1 番地 敷地面積：1,500.00 m²

建物等名称	構 造	延面積	完成年月
庁舎棟	鉄筋コンクリート造 2 階建	520.65 m ²	H7 年 4 月

(7) 宇部西消防署楠出張所

所在地：宇部市大字船木 4 6 1 番地 1 敷地面積：3,215.19 m²

建物等名称	構 造	延面積	完成年月
庁舎棟	鉄筋コンクリート造 2 階建	635.24 m ²	H30 年 3 月
訓練棟	鉄筋コンクリート造 2 階建	26.15 m ²	H30 年 3 月
駐輪場	鉄骨造平屋建	14.70 m ²	H30 年 3 月

(8) 山陽消防署埴生出張所

所在地：山陽小野田市大字埴生 3 2 2 9 番地 1 2 敷地面積：853.00 m²

建物等名称	構 造	延面積	完成年月
庁舎棟	鉄筋コンクリート造平屋建	243.55 m ²	S56 年 4 月

予 防



幼年消防交流会

山陽小野田市の幼年消防クラブ員が消防訓練研修センターに集い消防の仕事や火災予防を学びました。庁舎見学、消防車両見学、乗車体験、煙体験を通して、火災予防などについて楽しく学習することができました。

第 34 回消防展の開催

「火災予防運動期間中に多くの買い物客が集まる大型商業施設で、火災予防広報及び火災予防作品の展示などを行うことにより、地域住民の防火意識の高揚、火災予防思想の普及、啓発を図ること」を目的として、3月3日(水曜日)～3月7日(日曜日)におのだサンパークで「第34回消防展」を開催しました。



全 国 統 一 防 火 標 語

(過去 10 年間)

2021年度	おうち時間 家族で点検 火の始末
2020年度	その火事を 防ぐあなたに 金メダル
2019年度	ひとつずつ いいね！で確認 火の用心
平成30年度	忘れてない？ サイフにスマホに火の確認
平成29年度	火の用心 ことばを形に 習慣に
平成28年度	消しましょう その火その時 その場所で
平成27年度	無防備な 心に火災が かくれんぼ
平成26年度	もういいかい 火を消すまでは まあただよ
平成25年度	消すまでは 心の警報 ONのまま
平成24年度	消すまでは 出ない行かない 離れない

危険物安全週間（毎年6月の第2週）推進標語

(過去 10 年間)

令和3年度	事故ゼロへ トライ重ねる ワンチーム
令和2年度	訓練で 確かな信頼 積み重ね
平成31年度	無事故への 構え一分の 隙も無く
平成30年度	この一球届け無事故へみんなの願い
平成29年度	あなたなら 無事故の着地 決められる！
平成28年度	危険物 決めろ無事故の ストライク
平成27年度	無事故へと 気持ち集中 はっけよい
平成26年度	危険物 読みはまっすぐ ゼロ災害
平成25年度	あなたこそ 無事故を担う 司令塔
平成24年度	危険物 めざせ完封 ゼロ災害

1 防火対象物

(1) 棟数及び立入検査

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

防火対象物用途区分			防火対象物数 [単位：棟] 令和3年4月1日現在			立入検査回数 [単位：件]
			宇 部 市	山陽小野田市	合 計	
1	イ	劇場・映画館	3	6	9	6
	ロ	公会堂・集会場	57	25	82	46
2	イ	キャバレー・カフェー				
	ロ	遊技場・ダンスホール	22	4	26	17
	ハ	性風俗施設等				
	ニ	カラオケボックス等	7		7	1
3	イ	待合・料理店	2	5	7	3
	ロ	飲食店	151	35	186	94
4		百貨店・マーケット	276	95	371	135
5	イ	旅館・ホテル	34	16	50	71
	ロ	寄宿舍・共同住宅	2,129	573	2,702	196
6	イ	病院・診療所等	184	55	239	43
	ロ	老人短期入所施設等	91	34	125	37
	ハ	老人デイサービスセンター等	169	53	222	43
	ニ	幼稚園・特別支援学校	35	8	43	18
7		小中高大学及び各種学校	282	102	384	77
8		図書館・博物館	5	2	7	
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場	1		1	
	ロ	公衆浴場	4	1	5	2
10		駅舎・空港	3	4	7	2
11		神社・寺院・教会	122	50	172	37
12	イ	工場・作業場	1,047	419	1,466	322
	ロ	映画スタジオ	1		1	
13	イ	自動車車庫	90	31	121	43
	ロ	飛行機等の格納庫	2		2	
14		倉庫	862	308	1,170	266
15		前各号に該当しない事業所	734	335	1,069	232
16	イ	特定用途を含む複合対象物	350	93	443	88
	ロ	特定用途を含まない複合対象物	260	51	311	45
16の2		地下街				
16の3		準地下街				
17		文化財保護法にいう建物	1	1	2	1
18		延長50m以上のアーケード	4		4	
19		市長村長の指定する山林				
20		総務省令で定める舟車				
合 計			6,928	2,306	9,234	1,825

(2) 防火対象物の定期点検・防災管理対象物状況

令和3年4月1日現在

[単位：箇所]

防火対象物用途区分			定期点検対象物				防災管理対象物			
			対象物数		特例認定適合対象物数		対象物数		特例認定適合対象物数	
			宇部市	山陽小野田市	宇部市	山陽小野田市	宇部市	山陽小野田市	宇部市	山陽小野田市
1	イ	劇場・映画館	1	5						
	ロ	公会堂・集会場	27	15	2					
2	イ	キャバレー・カフェー								
	ロ	遊技場・ダンスホール	9	3	2	1				
	ハ	性風俗施設等								
	ニ	カラオケボックス等								
3	イ	待合・料理店								
	ロ	飲食店	4							
4		百貨店・マーケット	52	17	2					
5	イ	旅館・ホテル	3	4		1				
	ロ	寄宿舎・共同住宅								
6	イ	病院・診療所等	8	3			1	1		
	ロ	老人短期入所施設等	3							
	ハ	老人デイサービスセンター等								
	ニ	幼稚園・特別支援学校	3		1					
7		小中高大学及び各種学校					1	1		
8		図書館・博物館								
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場								
	ロ	公衆浴場								
10		駅舎・空港								
11		神社・寺院・教会								
12	イ	工場・作業場					3	1		
	ロ	映画スタジオ								
13	イ	自動車車庫								
	ロ	飛行機等の格納庫								
14		倉庫								
15		前各号に該当しない事業所								
16	イ	特定用途を含む複合対象物	43	11	9	2	5	1	2	
	ロ	特定用途を含まない複合対象物					7	7		
16の2		地下街								
17		文化財保護法にいう建物								
合 計			153	58	16	4	17	11	2	0

2 建築確認同意処理件数

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

[単位：件]

防火対象物別 区分			宇 部 市				山陽小野田市				総 計
			新 築	増 築	その他	合 計	新 築	増 築	その他	合 計	
1	イ	劇場・映画館									
	ロ	公会堂・集会場	2			2	1			1	3
2	イ	キャバレー・カフェー									
	ロ	遊技場・ダンスホール									
	ハ	性風俗施設等									
	ニ	カラオケボックス等									
3	イ	待合・料理店									
	ロ	飲食店	4			4	2			2	6
4		百貨店・マーケット	6			6	5	3		8	14
5	イ	旅館・ホテル									
	ロ	寄宿舎・共同住宅	15		1	16	8			8	24
6	イ	病院・診療所等	8	1	1	10	1	2	1	4	14
	ロ	老人短期入所施設等	1			1	1			1	2
	ハ	老人デイサービスセンター等	3	1		4	2			2	6
	ニ	幼稚園・特別支援学校	1			1					1
7		小中高大学及び各種学校	2	1	1	4					4
8		図書館・博物館									
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場									
	ロ	公衆浴場									
10		駅舎・空港									
11		神社・寺院・教会	4	1		5	1			1	6
12	イ	工場・作業場	8		2	10	5	2		7	17
	ロ	映画スタジオ									
13	イ	自動車車庫	3			3	4			4	7
	ロ	飛行機等の格納庫									
14		倉庫	21	2		23	18			18	41
15		前各号に該当しない事業所	48	3	2	53	21	1		22	75
16	イ	特定用途を含む複合対象物	1		1	2					2
	ロ	特定用途を含まない複合対象物	2			2	2			2	4
16の2		地下街									
16の3		準地下街									
17		文化財保護法にいう建物									
18		延長50m以上のアーケード									
19		市町村長の指定する山林									
20		総務省令で定める舟車									
住 宅			58	2	6	66	23			23	89
危 険 物 施 設			3			3	2			2	5
そ の 他			6			6	2		4	6	12
合 計			196	11	14	221	98	8	5	111	332

3 防火管理者選任状況

令和3年4月1日現在
[単位：箇所]

防火対象物区分			法第8条該当防火対象物数			防火管理者届出済対象物数		
			宇部市	山陽小野田市	合 計	宇部市	山陽小野田市	合 計
1	イ	劇場・映画館	1	5	6	1	5	6
	ロ	公会堂・集会場	51	19	70	45	19	64
2	イ	キャバレー・カフェー						
	ロ	遊技場・ダンスホール	11	3	14	11	3	14
	ハ	性風俗施設等						
	ニ	カラオケボックス等	7		7	7		7
3	イ	待合・料理店		3	3		3	3
	ロ	飲食店	152	32	184	143	32	175
4		百貨店・マーケット	212	74	286	204	74	278
5	イ	旅館・ホテル	23	13	36	23	13	36
	ロ	寄宿舎・共同住宅	133	52	185	119	46	165
6	イ	病院・診療所等	40	18	58	39	18	57
	ロ	老人短期入所施設等	59	30	89	57	30	87
	ハ	老人デイサービスセンター等	71	32	103	71	32	103
	ニ	幼稚園・特別支援学校	16	7	23	16	7	23
7		小中高大学及び各種学校	27	26	53	26	25	51
8		図書館・博物館	4	2	6	4	2	6
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場						
	ロ	公衆浴場	1	1	2	1	1	2
10		駅舎・空港						
11		神社・寺院・教会	73	29	102	71	29	100
12	イ	工場・作業場	17	41	58	15	40	55
	ロ	映画スタジオ						
13	イ	自動車車庫	2		2	2		2
	ロ	飛行機等の格納庫						
14		倉庫	3		3	2		2
15		前各号に該当しない事業所	95	44	139	92	44	136
16	イ	特定用途を含む複合対象物	251	53	304	234	53	287
	ロ	特定用途を含まない複合対象物	172	16	188	165	15	180
16の2		地下街						
17		文化財保護法にいう建物		1	1		1	1
合 計			1,421	501	1,922	1,348	492	1,840

4 危険物施設設置状況

令和3年4月1日現在

[単位：箇所]

区 分		宇 部 市	山陽小野田市	施設別合計
製 造 所		30	37	67
貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所	102	95	197
	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	228	285	513
	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	4	1	5
	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	65	33	98
	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所			
	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	100	89	189
	屋 外 貯 蔵 所	20	23	43
取 扱 所	給 油 取 扱 所	68	36	104
	第 1 種 販 売 取 扱 所	3		3
	第 2 種 販 売 取 扱 所	1		1
	一 般 取 扱 所	198	100	298
	移 送 取 扱 所	2	2	4
構 成 市 別 合 計		821	701	1,522

5 危険物許認可状況

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

[単位：件]

区 分		設置許可	変更許可	仮使用	設置完成	変更完成	廃 止
製 造 所			56	37		48	2
貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所	1	1	1	1	2	4
	屋外タンク貯蔵所	3	69	31	3	57	4
	屋内タンク貯蔵所						1
	地下タンク貯蔵所	4	1		1	1	4
	簡易タンク貯蔵所						
	移動タンク貯蔵所	10	11		9	11	2
	屋 外 貯 蔵 所	1	2	2			
小 計		19	84	34	14	71	15
取 扱 所	給 油 取 扱 所	1	14	12		11	5
	第1種販売取扱所						
	第2種販売取扱所						
	一 般 取 扱 所	3	94	87	1	81	1
	移 送 取 扱 所		1	1		1	
小 計		4	109	100	1	93	6
合 計		23	249	171	15	212	23

[単位：件]

完成検査前検査	水 張 水 圧 検 査	43
	基 礎 地 盤 検 査	
	溶 接 部 検 査	3
仮 貯 蔵 ・ 仮 取 扱		21
水 張 水 圧 検 査 (条 例)		5

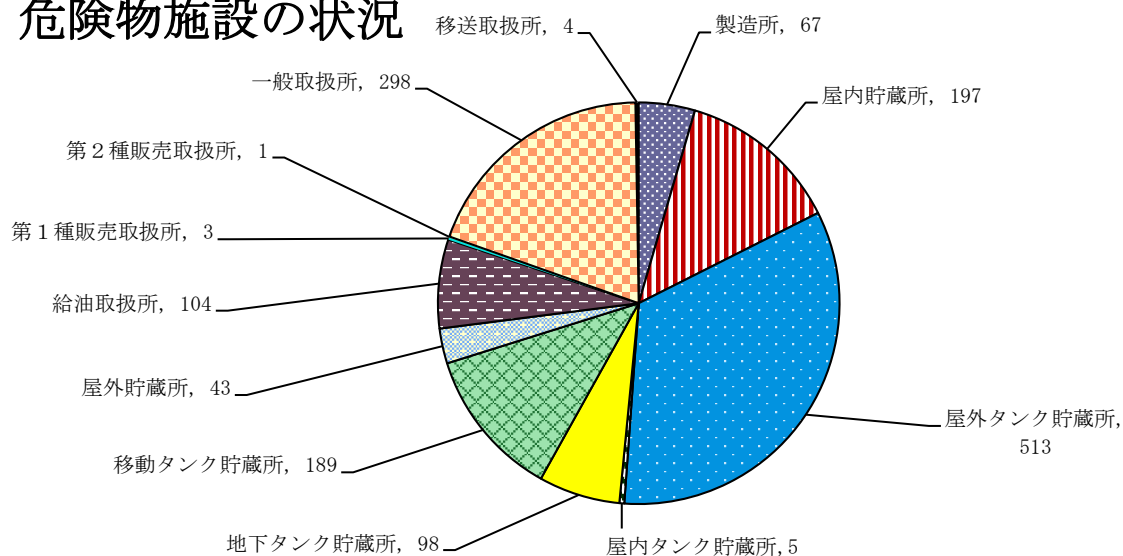
6 危険物施設の現況及び立入検査状況

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

[単位：件]

区 分		類別 (令和3年4月1日現在)								立 入 検 査 数
		1 類	2 類	3 類	4 類	5 類	6 類	混類	計	
製 造 所		2	2		28		1	34	67	21
貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所	11	1	6	146	8	1	24	197	48
	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所		6		488	2	17		513	40
	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所				5				5	1
	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所				98				98	19
	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所									
	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所				176		13		189	147
	屋 外 貯 蔵 所		1		42				43	6
取 扱 所	給 油 取 扱 所				104				104	79
	第 1 種 販 売 取 扱 所				3				3	3
	第 2 種 販 売 取 扱 所				1				1	1
	一 般 取 扱 所	1	3		272		5	17	298	40
	移 送 取 扱 所				2		2		4	1
合 計		14	13	6	1,365	10	39	75	1,522	406

危険物施設の状況



7 宇部・小野田地区特別防災区域

令和3年4月1日現在

(1) 宇部市

東側は、宇部市大字沖宇部字沖ノ山、テクノUMG(株)宇部工場敷地から、西側は厚東川河口の大字西沖ノ山字西沖、宇部市と山陽小野田市の市境までの埋立臨海工業地帯で周防灘に面し、指定区域の総面積は6,659,769平方メートルで、その状況は別図のとおりである。

区 域 の 名 称	宇部・小野田地区石油コンビナート等特別防災区域			
市 名	宇部市			
市 の 面 積	286.65 km ²			
市 の 人 口	162,615 人 (世帯数：79,853 世帯)			
様 態	化学工場、火力発電、その他			
地 区	面 積 m ²	種別及び事業所名		
		第1種事業所	第2種事業所	その他の事業所
東見初町及び大字沖宇部字沖ノ山	1,153,795	◇セントラル硝子(株) 宇部工場 (セントラル化成(株) 宇部工場)	◇テクノUMG(株) 宇部工場	◇宇部吉野石膏(株) ◇(株)東商セントラル ◇セントラル硝子(株) 化学研究所 ◇セントラルエンジニア リング(株) ◇セントラル硝子(株)化成 品生産技術センター ◇宇部市上下水道局 東部浄化センター ◇宇部市環境保全センター
大字小串字沖ノ山	2,422,225	◇宇部興産(株) 宇部ケミカル工場 (宇部興産(株)建設資 材カンパニー 生産・技 術本部 電力部) (宇部エムス(有)) (宇部マクセル(株))	◇宇部興産(株) 宇部セメント工場 ◇日興石油(株) 沖の山油槽所 ◇チタン工業(株) 宇部工場 ◇宇部マテリアルズ(株) 宇部工場第一工場	◇宇部興産(株)建設資材カン パニー 技術開発研究所 ◇宇部興産(株)研究開発本 部 基盤技術研究所 ◇宇部興産(株)ナイロン・ファイン事 業部 ケミカル開発部 ◇宇部興産(株)コールセンター ◇(株)宇部スチール ◇宇部興産機械(株) ◇明和化成(株) ◇エムシー・ファーターイコ ム(株)宇部工場 ◇宇部マテリアルズ(株) 宇部工場第二工場
大字藤曲字昭和開作	776,986	◇宇部興産(株) 宇部藤曲工場	◇E J ホールディングス (株)宇部事業所 ◇宇部MC過酸化水素(株) 宇部工場	◇協和キリン(株) 宇部工場
大字西沖ノ山 字西沖	2,306,763	◇太陽石油(株)山口事業所 (宇部興産(株)西沖の山 石灰石センター) (宇部興産(株)西沖倉庫)		◇宇部興産(株) 特大車西沖給油所
合計	6,659,769	4	7	18

(2) 山陽小野田市

宇部・小野田地区における山陽小野田市に係る部分は山陽小野田市南東端に位置し、本山岬の東岸沿いの丘状地と海面を埋立てた干拓地からなる。東側は宇部市との境界上に位置する、太陽石油(株)山口事業所から西側は、西部石油(株)山口製油所の本山岬丘状地頂上までとなり、北側は県道妻崎開作小野田線に接し、南側は防潮堤を境に瀬戸内海（宇部港）に面している。総面積は2,615,443平方メートルでその状況は別図のとおりである。

区 域 の 名 称	宇部・小野田地区石油コンビナート等特別防災区域			
市 名	山陽小野田市			
市 の 面 積	133.09 km ²			
市 の 人 口	61,180 人 （世帯数：28,918 世帯）			
様 態	石油精製、石油化学			
地 区	面 積 m ²	種別及び事業所名		
		第 1 種事業所	第 2 種事業所	その他の事業所
大字西沖字西沖 〃 字西沖の 2 〃 字西沖の 3 大字小野田 〃 字一の北山 〃 字二の北山 〃 字東一の大泊 〃 字東二の大泊 〃 字東田の尻 〃 字東高尾 〃 字焼山 〃 字向ヶ原 〃 字松山 〃 字泉ヶ浴 〃 字狐崎 〃 字高尾 〃 字西高尾 〃 字石干見 〃 字一の石干見 〃 字二の石干見 〃 字繁開作 〃 字長沢二宮開作 〃 字赤崎 〃 字北山	1,930,019 685,424	◇西部石油(株)山口製油所 (エア・ウォーター炭酸(株) 山陽小野田工場) ◇太陽石油(株) 山口事業所 〔 宇部興産(株)西沖倉庫 宇部興産(株)西沖の山 石灰石センター 〕		
合計	2,615,443	2		

宇部・小野田地区特別防災区域(概要図)

令和3年4月1日現在



8 火薬類取締法関係処理状況

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

[単位：件]

区 分 市 別	許 可						
	製造営業	販売営業	譲渡	譲受	消費	廃棄	火薬庫 設置・変更
宇 部 市			1	6	6	1	
山陽小野田市				7	7	2	1
合 計			1	13	13	3	1

9 消防協力団体の現況

(1) 宇部・山陽小野田防災協会

ア 目 的

この協会は、消防法に定める危険物関係施設及び一般防火対象物の火災予防に関する法令等の周知徹底と防火思想の普及高揚に努めるとともに、会員相互の連絡と親睦を図り、もって各種災害の未然防止及び災害が発生した場合の被害の軽減に寄与することを目的とする。

イ 事 業

- (ア) 消防関係法令の周知徹底並びに消防機関との連絡協調に関すること。
- (イ) 消防関係法令に基づいて消防機関へ提出する申請書、届出書等の斡旋、配布に関すること。
- (ウ) 防火管理者、危険物取扱者並びに消防設備士の研修及び講習会の開催に関すること。
- (エ) 火災予防のために必要な対策の研究及び調査に関すること。
- (オ) 火災予防の広報及び刊行物の発行、斡旋に関すること。
- (カ) 危険物に起因する災害が発生した場合の化学消火薬剤の共同備蓄に関すること。
- (キ) この協会の目的達成に功績のあった団体及び個人の表彰に関すること。
- (ク) 少年消防クラブ等の自主防災活動の助成に関すること。
- (ケ) 救急思想の普及及び啓発活動に関すること。
- (コ) その他、この協会の目的を達成するために必要な事項に関すること。

ウ 会 員（令和3年4月1日現在）

543 事業所

エ 事 務 局

宇部・山陽小野田消防局（予防課）

(2) 宇部・山陽小野田防火委員会

ア 目 的

本会は、宇部市及び山陽小野田市における幼年消防クラブ、少年消防クラブ、女性防火クラブの運営指導について研究し、助言し、育成発展に寄与することを目的とする。

イ 事 業

- (ア) クラブの情報の収集及び交換に関すること。
- (イ) クラブの運営指導の研究に関すること。
- (ウ) クラブの育成指導に関すること。
- (エ) 教養資料の編さん及び頒布に関すること。
- (オ) クラブ、クラブ員及びクラブ指導者の表彰に関すること。
- (カ) その他、本会の目的達成のため必要な事項に関すること。

ウ クラブ数

令和3年4月1日現在

区分	クラブ名称	結成年月	人数（人）
幼年消防クラブ	恩田幼稚園幼年消防クラブ	昭和59年10月	70
	聖和幼稚園幼年消防クラブ	昭和59年10月	73
	命信寺保育園幼年消防クラブ	昭和59年10月	27
	桃山保育園幼年消防クラブ	昭和59年10月	17
	若蔦幼稚園幼年消防クラブ	昭和60年4月	0
	原中央幼稚園幼年消防クラブ	昭和61年2月	60
	小羽山幼稚園幼年消防クラブ	昭和61年5月	13
	明光幼稚園幼年消防クラブ	昭和63年3月	112
	船木幼稚園幼年消防クラブ	昭和59年9月	5
	宇部さゆり幼稚園幼年消防クラブ	平成28年4月	15
	真珠幼稚園幼年消防クラブ	昭和58年9月	35
	石井手保育園幼年消防クラブ	昭和60年6月	27
	焼野保育園幼年消防クラブ	平成2年7月	24
	伸宏保育園幼年消防クラブ	平成5年8月	20
	西福寺保育園幼年消防クラブ	平成5年10月	16
	さくら保育園幼年消防クラブ	平成6年8月	21
	須恵保育園幼年消防クラブ	平成6年10月	25
	日の出保育園幼年消防クラブ	平成8年9月	26
少年消防クラブ	厚南地区少年消防クラブ	昭和55年4月	43
	恩田地区少年消防クラブ	昭和55年5月	10
	高千帆中学校少年消防クラブ	昭和26年9月	490
	小野田中学校少年消防クラブ	昭和26年9月	343
	竜王中学校少年消防クラブ	昭和26年9月	216
	厚狭中学校少年消防クラブ	昭和45年3月	340
	埴生中学校少年消防クラブ	昭和46年3月	96
	厚陽中学校少年消防クラブ	昭和47年6月	29
女性防火クラブ	新川女性防火クラブ	昭和55年6月	25
総計	27 団体		2,178

警 防

消防装備の充実強化

近年の災害の多種多様化に備え住民の安心・安全を守るために、各種の災害に対応した車両や資機材等の消防装備を充実させることを目的として、指揮車、救助工作車、はしご付消防自動車、水槽付消防ポンプ自動車等車両7台と資機材の更新を図りました。



救助工作車（Ⅲ型）



30m級先端屈折式はしご付消防自動車

救急シミュレーション訓練

全国的に増加傾向にある新型コロナウイルス感染症患者に対応するシミュレーション訓練及び感染防護衣着脱訓練を実施しました。



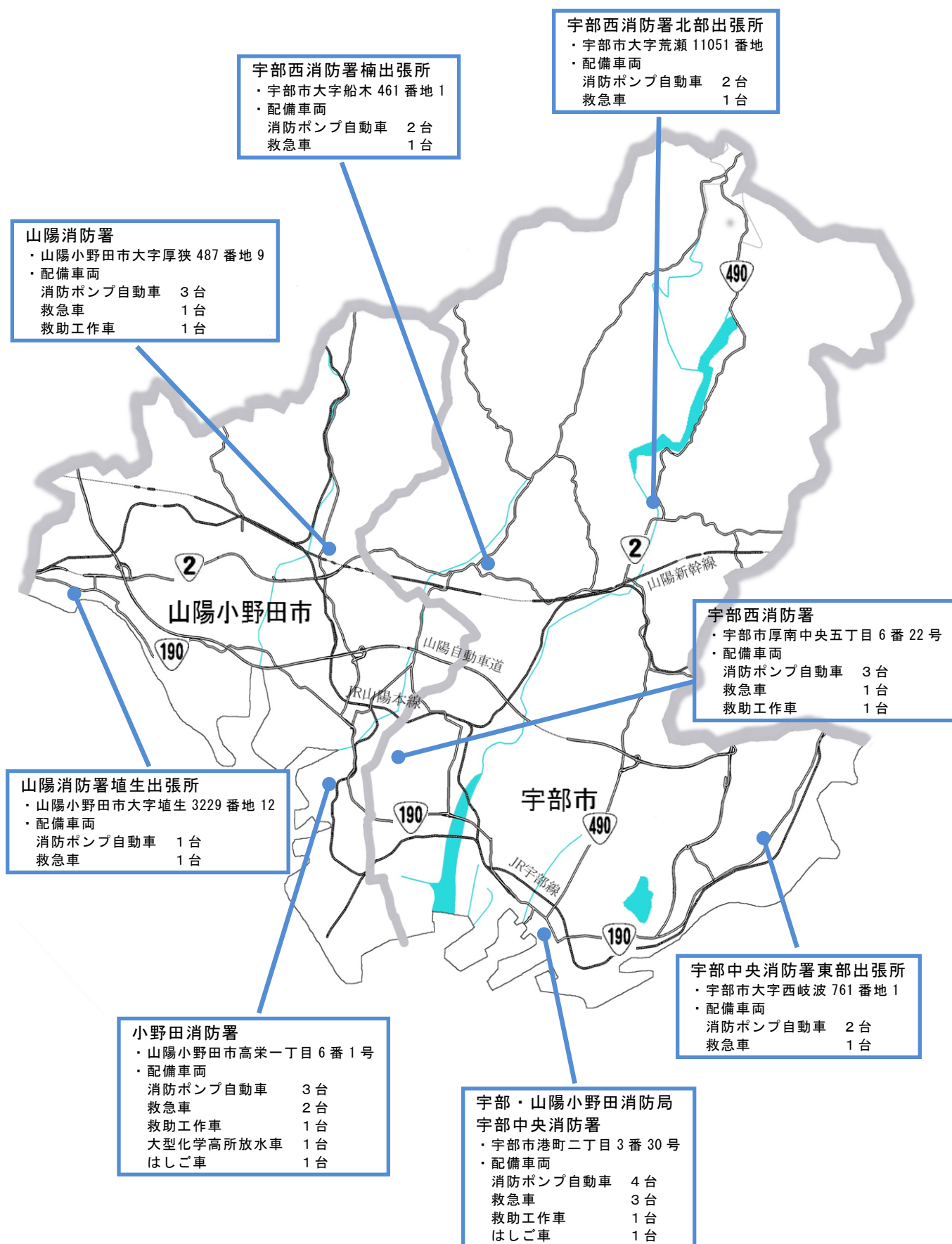
緊急消防援助隊

令和3年4月1日現在

		登録隊数	
		山口県全体	宇部・山陽小野田消防局
山口県大隊	県大隊指揮隊	3	1
	消火小隊	3 5	6
	救助小隊	8	2
	救急小隊	2 4	2
	後方支援小隊	1 7	2
	特殊災害小隊	5	0
	特殊装備小隊	9	1
合計		1 0 1	1 4

1 消防配置図

令和3年4月1日現在



2 消防車両

令和3年4月1日現在

所属	車両名称	種別	車両 メーカー	導入年月	ポンプ級別等
消防局	本部1	人員輸送車	トヨタ	H25年3月	
	本部2	支援車	マツダ	H20年2月	
	本部3	連絡車	トヨタ	H28年12月	
	本部4	支援車	三菱	R2年1月	
	本部5	連絡車	ダイハツ	R2年7月	
	本部6	連絡車	ダイハツ	R2年9月	
	本部7	支援車	トヨタ	H17年2月	
	本部9	支援車	トヨタ	H30年12月	
宇部中央消防署	中央指揮1	指揮車	トヨタ	R3年3月	
	中央はしご1	はしご付消防自動車	日野	H22年11月	35m・先端屈折
	中央タンク1	水槽付消防ポンプ自動車	日野	H26年12月	A-2・II型
	中央ポンプ1	消防ポンプ自動車	日野	H20年12月	A-2・CD-II型
	中央ポンプ2	消防ポンプ自動車	日野	H30年2月	A-2・CD-II型
	中央資材1	資機材搬送車	三菱	H12年2月	
	中央資材2	資機材搬送車	いすゞ	R2年2月	2.6t クレーン付
	中央化学1	化学消防ポンプ自動車	日野	H24年3月	A-2
	中央救助1	救助工作車	日野	R3年3月	III型
	中央充填1	空気充填車	日野	H15年2月	
	中央救急1	救急車	トヨタ	H28年1月	高規格
	中央救急2	救急車	トヨタ	H31年2月	高規格
	中央救急3	救急車	トヨタ	H27年3月	高規格
	中央1	広報車	ダイハツ	H27年12月	
	中央2	支援車	トヨタ	H31年1月	
宇部中央消防署 東部出張所	東タンク1	水槽付消防ポンプ自動車	日野	R2年2月	A-2・II型
	東ポンプ1	消防ポンプ自動車	日野	H28年3月	A-2・CD-II型
	東救急1	救急車	トヨタ	H24年2月	高規格
	東1	広報車	ダイハツ	R3年2月	

所属	車両名称	種別	車 両 メー カー	導入年月	ポンプ級別等
宇部西消防署	西指揮 1	指 揮 車	三 菱	H22 年 3 月	
	西タンク 1	水槽付消防ポンプ自動車	日 野	H29 年 3 月	A－2・Ⅱ型
	西ポンプ 1	消 防 ポ ン プ 自 動 車	日 野	H27 年 3 月	A－2・C D・Ⅱ型
	西化学 1	化学消防ポンプ自動車	日 野	H20 年 2 月	A－2・Ⅱ型
	西救助 1	救 助 工 作 車	日 野	H20 年 11 月	Ⅱ型
	西救急 1	救 急 車	ト ヨ タ	H29 年 3 月	高規格
	西資材 1	資 機 材 搬 送 車	三 菱	H29 年 12 月	
宇部西消防署 北部出張所	北タンク 1	水槽付消防ポンプ自動車	日 野	H25 年 2 月	A－2・Ⅱ型
	北ポンプ 1	消 防 ポ ン プ 自 動 車	日 野	H28 年 3 月	A－2・C D・Ⅱ型
	北救急 1	救 急 車	ト ヨ タ	H25 年 3 月	高規格
	北 1	広 報 車	ダイハツ	H30 年 12 月	
宇部西消防署 楠出張所	楠タンク 1	水槽付消防ポンプ自動車	日 野	H21 年 12 月	A－2・Ⅱ型
	楠ポンプ 1	消 防 ポ ン プ 自 動 車	日 野	H19 年 11 月	A－2・C D・Ⅱ型
	楠救急 1	救 急 車	ト ヨ タ	H25 年 12 月	高規格
	楠 1	広 報 車	三 菱	H21 年 11 月	

所属	車両名称	種別	車 両 メー カー	導入年月	ポンプ級別等
小野田消防署	小野田指揮 1	指 揮 車	ト ヨ タ	H30 年 2 月	
	小野田はしご 1	は し ご 付 消 防 自 動 車	日 野	R3 年 3 月	30m・先端屈折
	小野田タンク 1	水槽付消防ポンプ自動車	日 野	H20 年 2 月	A-2・II型
	小野田タンク 2	水槽付消防ポンプ自動車	日 野	R2 年 2 月	A-2・II型
	小野田ポンプ 1	消 防 ポ ン プ 自 動 車	日 野	H29 年 3 月	A-2・CD-II型
	小野田水槽 1	小型動力ポンプ付水槽車	い す ゞ	R3 年 2 月	B-2 (小型動力ポンプ)・II型
	小野田資材 1	資 機 材 搬 送 車	い す ゞ	H31 年 2 月	2.6t クレーン付
	小野田大化高 1	大型化学高所放水車	日 野	H26 年 3 月	A-1
	小野田原液 1	泡 原 液 搬 送 車	日 野	H17 年 2 月	ギヤ式ローター ポンプ
	小野田救助 1	救 助 工 作 車	日 野	H20 年 3 月	II型
	小野田救急 1	救 急 車	ト ヨ タ	H31 年 3 月	高規格
	小野田救急 2	救 急 車	ト ヨ タ	H28 年 3 月	高規格
	小野田 1	支 援 車	ト ヨ タ	H20 年 12 月	
	小野田 2	人 員 輸 送 車	日 野	R2 年 1 月	
	小野田 4	広 報 車	ダイハツ	H29 年 12 月	
	小野田 5	訓 練 指 導 車	マ ツ ダ	H16 年 8 月	

所属	車両名称	種別	車 両 メー カー	導入年月	ポンプ級別等
山陽消防署	山陽指揮 1	指 揮 車	ト ヨ タ	H17 年 2 月	
	山陽タンク 1	水槽付消防ポンプ自動車	日 野	H31 年 2 月	A-2・II型
	山陽ポンプ 1	消 防 ポ ン プ 自 動 車	日 野	H29 年 3 月	A-2・CD-II型
	山陽資材 1	資 機 材 搬 送 車	ト ヨ タ	R3 年 2 月	
	山陽大化 1	大型化学消防ポンプ自動車	日 野	H21 年 3 月	A-1
	山陽救助 1	救 助 工 作 車	日 野	H22 年 3 月	II型
	山陽救急 1	救 急 車	ト ヨ タ	H27 年 3 月	高規格
	山陽 1	広 報 車	ト ヨ タ	H15 年 2 月	
山陽出張所 埴生消防署	埴生タンク 1	水槽付消防ポンプ自動車	日 野	R3 年 2 月	A-2・I・B型
	埴生救急 1	救 急 車	ト ヨ タ	H30 年 1 月	高規格
	埴生 1	広 報 車	ダイハツ	H27 年 12 月	

3 消防水利

(1) 消火栓

令和3年4月1日現在 [単位：基]

市 別	宇 部 市	山陽小野田市
公設私設別		
公 設	1,975	1,341
私 設	237	62
合 計	2,212	1,403

(2) 防火水槽

() 耐震性貯水槽

令和3年4月1日現在 [単位：基]

市 別	宇 部 市		山陽小野田市	
容量別	公 設	私 設	公 設	私 設
2 0 m ³ 以上 4 0 m ³ 未満	8 (0)	3 (0)	12 (0)	4 (0)
4 0 m ³ 以上 6 0 m ³ 未満	101(15)	41(13)	146 (1)	23 (3)
6 0 m ³ 以上 1 0 0 m ³ 未満	12(10)	4 (0)	0 (0)	1 (0)
1 0 0 m ³ 以上	5 (4)	2 (0)	11(10)	0 (0)
合 計	126(29)	50 (13)	169(11)	28 (3)

(3) その他

令和3年4月1日現在 [単位：箇所]

市 別	宇 部 市	山陽小野田市
種別		
プール・河川・溝・濠・池 海・湖・井戸・下水道等	81	89

4 化学消火剤備蓄状況

令和3年4月1日現在 [単位：リットル]

備蓄場所 種類	消防組合保有		防災協会保有	合 計
	宇部市備蓄	山陽小野田市備蓄		
たん白系3%型			400	400
フッ化たん白		19,240	15,800	35,040
合成界面活性系	2,080		17,840	19,920
水成膜3%型	600		8,600	9,200
合 計	2,680	19,240	42,640	64,560

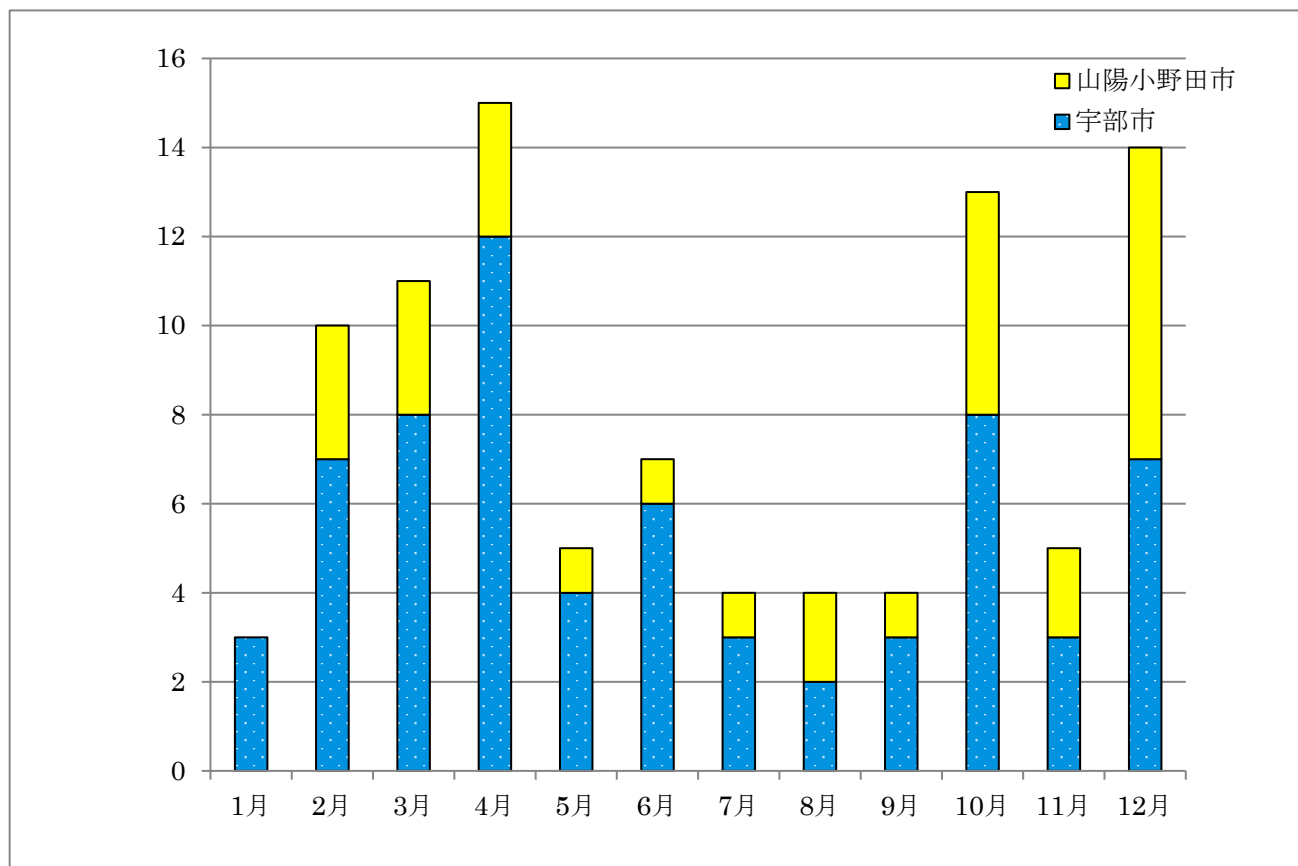
5 火災

(1) 月別火災発生状況

(令和2年1月1日～令和2年12月31日)

[単位：件]

市別 \ 月別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
宇部市	3	7	8	12	4	6	3	2	3	8	3	7	66
山陽小野田市		3	3	3	1	1	1	2	1	5	2	7	29
合 計	3	10	11	15	5	7	4	4	4	13	5	14	95



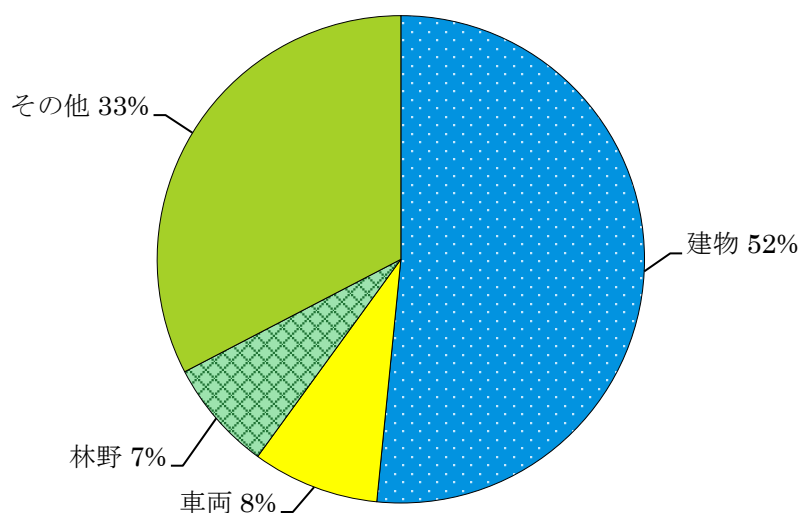
(2) 火災種別ごとの件数

(令和2年1月1日～令和2年12月31日)

[単位: 件]

市別	種別	建 物	車 両	林 野	航空機	船 舶	その他	合 計
宇 部 市		34	7	3			22	66
山陽小野田市		15	1	4			9	29
合 計		49	8	7			31	95

火災種別ごとの割合



(3) 火災種別ごとの死者及び負傷者

(令和2年1月1日～令和2年12月31日)

[単位: 人]

市別	種別	建 物	車 両	林 野	航空機	船 舶	その他	合 計
宇 部 市	死 者	2						2
	負傷者	5	2					7
山陽小野田市	死 者							
	負傷者	2					1	3
合 計	死 者	2						2
	負傷者	7	2				1	10

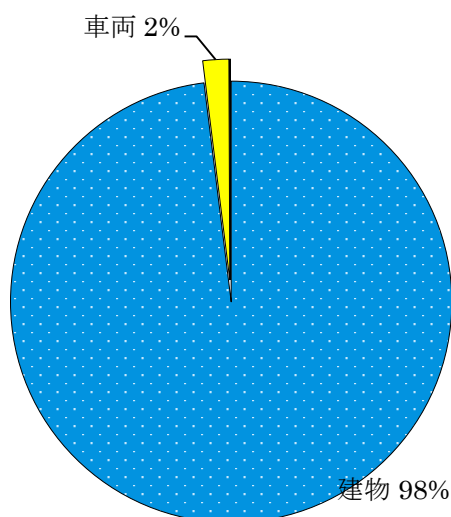
(4) 火災種別ごとの損害額

(令和2年1月1日～令和2年12月31日)

[単位：千円]

市別	種別	建 物		車 両	林 野	航空機	船 舶	その他	合 計
		建 物							
宇 部 市	建 物	71,331	2,601					101	114,589
	収容物等	40,556							
山陽小野田市	建 物	17,087	36						24,512
	収容物等	7,389							
合 計	建 物	88,418	2,637					101	139,101
	収容物等	47,945							

火災種別ごとの損害額の割合



(5) 焼損面積

(令和2年1月1日～令和2年12月31日)

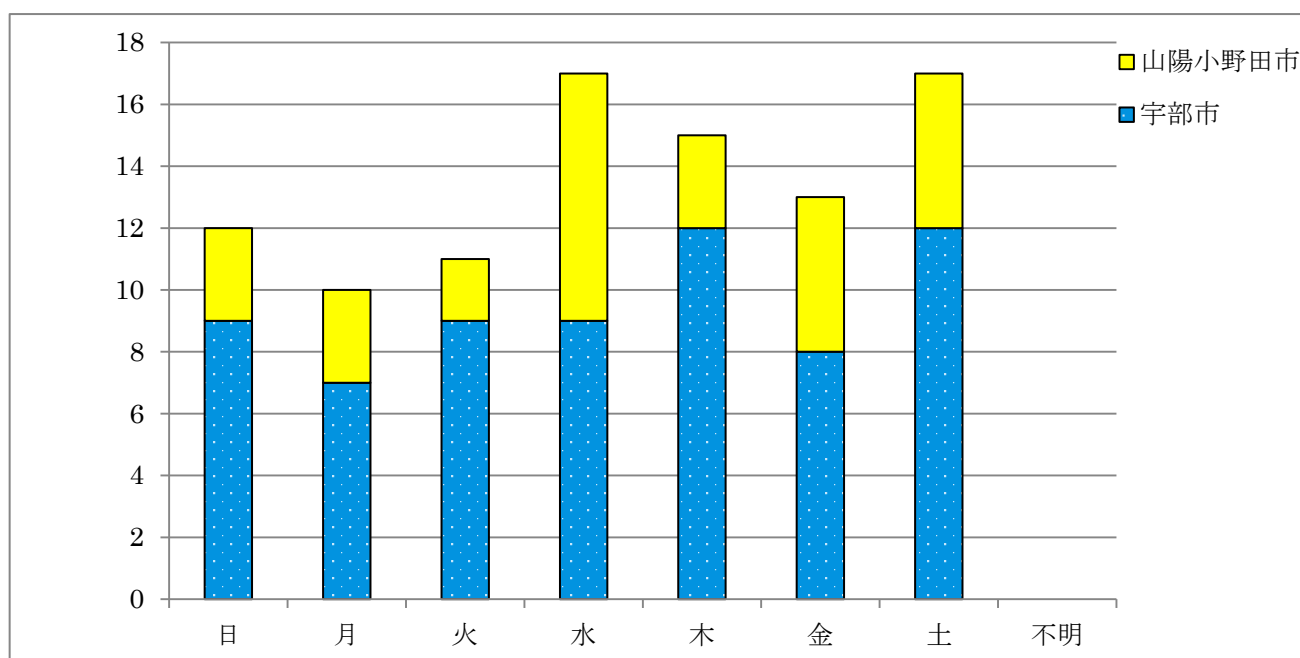
市別	種別	建 物 (㎡)		林 野 (a)	その他 (㎡)
		焼損床面積	焼損表面積		
宇 部 市		2,401	83	6	17,755
山陽小野田市		513	115	7	1,737
合 計		2,914	198	13	19,492

(6) 曜日別火災発生状況

(令和2年1月1日～令和2年12月31日)

[単位: 件]

月別 曜日別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
日	1	2	1	2				1		1	1	3	12
月		2	3	1	1	1				1		1	10
火		2	2			2			1	1	2	1	11
水			1	3	2	2	3	1	1	3		1	17
木	2		1	4		1	1	1	1	3		1	15
金		1	1	2	1	1				2	1	4	13
土		3	2	3	1			1	1	2	1	3	17
不明													
合計	3	10	11	15	5	7	4	4	4	13	5	14	95



(7) 時間帯別火災発生状況

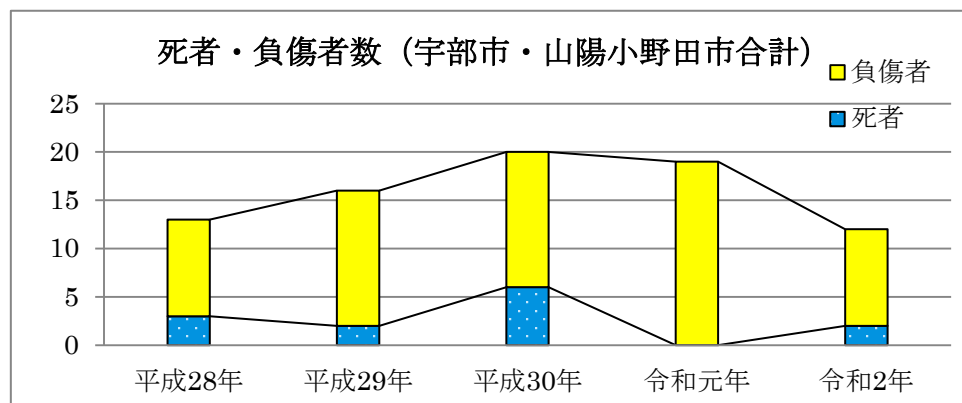
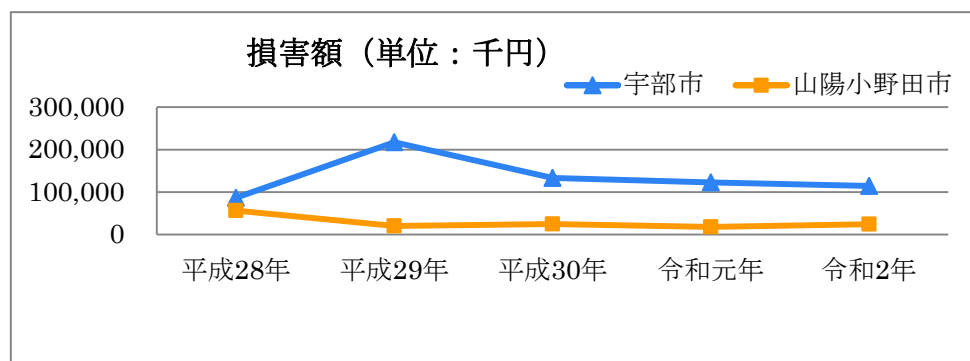
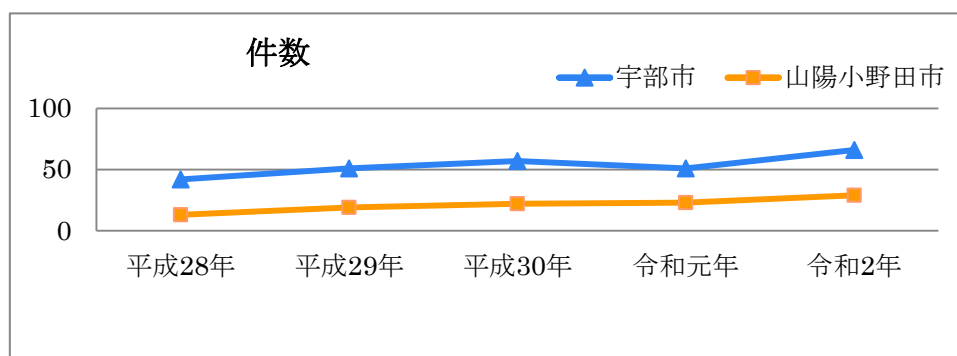
(令和2年1月1日～令和2年12月31日)

件数・死傷者数 時間帯	件数 (件)	死傷者 (人)	
		死 者	負傷者
0 時～1 時	3		
1 時～2 時	2		
2 時～3 時	1		1
3 時～4 時	2		2
4 時～5 時			
5 時～6 時	1		
6 時～7 時	2		
7 時～8 時	1		
8 時～9 時	2		
9 時～1 0 時	3	1	
1 0 時～1 1 時	4		
1 1 時～1 2 時	13		2
1 2 時～1 3 時	8		1
1 3 時～1 4 時	7		1
1 4 時～1 5 時	11		
1 5 時～1 6 時	7		
1 6 時～1 7 時	4		1
1 7 時～1 8 時	3		1
1 8 時～1 9 時	2		
1 9 時～2 0 時	4		
2 0 時～2 1 時	2		
2 1 時～2 2 時	3	1	
2 2 時～2 3 時	3		
2 3 時～2 4 時	7		1
不 明			
合 計	95	2	10

(8) 過去5年間の火災発生状況

(1月1日～12月31日)

項目 年別	件数 (件)		損害額 (千円)		死傷者 (人)			
	宇部市	山陽小野田市	宇部市	山陽小野田市	宇 部 市		山陽小野田市	
					死 者	負傷者	死 者	負傷者
平成28年	42	13	86,606	56,626	3	8		2
平成29年	51	19	217,240	20,395	1	11	1	3
平成30年	57	22	133,263	24,619	4	12	2	2
令和元年	51	23	122,619	18,146		15		4
令和2年	66	29	114,589	24,512	2	7		3

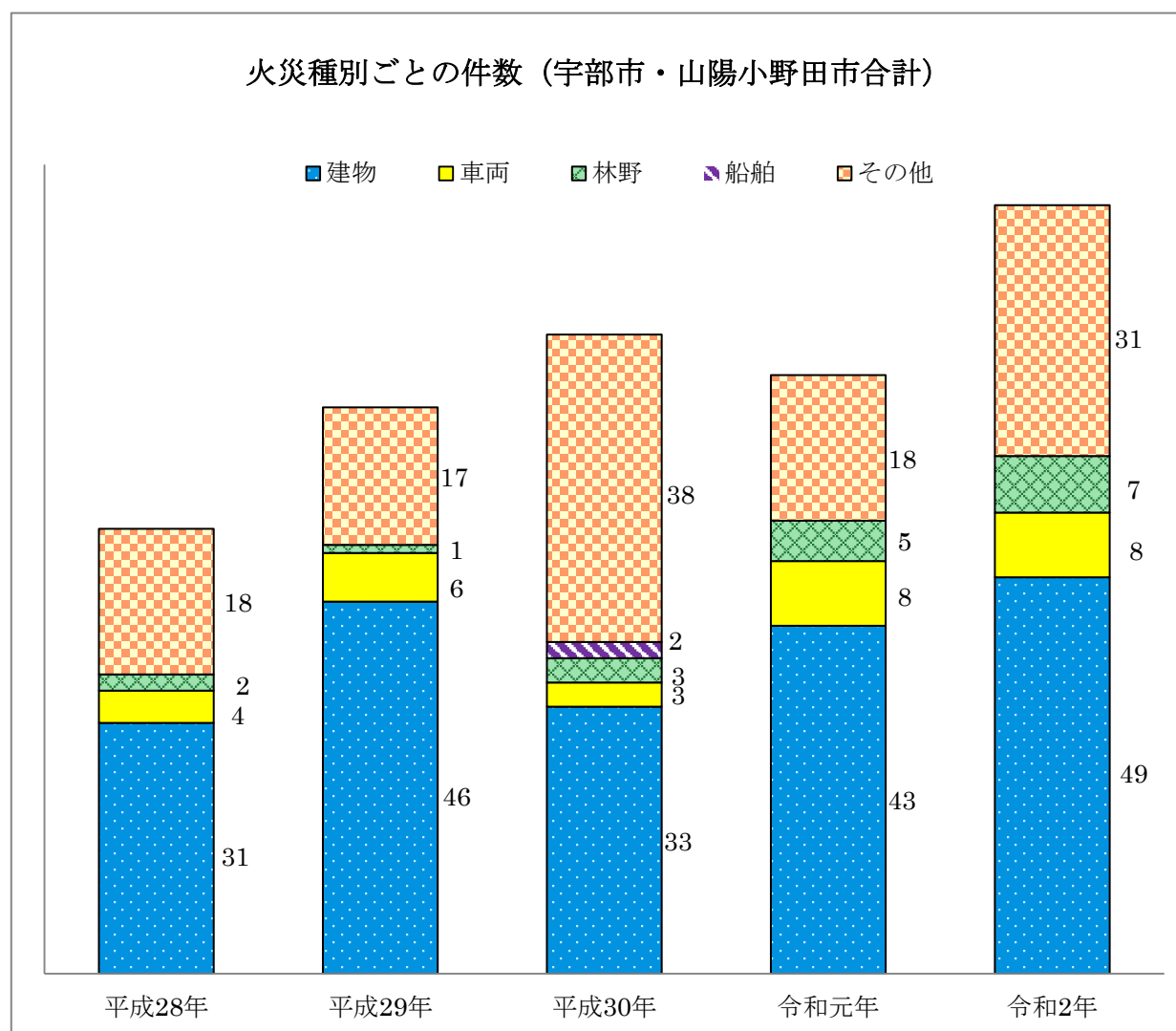


(9) 過去5年間の火災種別件数

(1月1日～12月31日)

[単位：件]

年別		種別	建 物	車 両	林 野	航空機	船 舶	その他	計	合 計
平成28年	宇 部 市		24	4	1			13	42	55
	山陽小野田市		7		1			5	13	
平成29年	宇 部 市		32	5	1			13	51	70
	山陽小野田市		14	1				4	19	
平成30年	宇 部 市		26	2	2		1	26	57	79
	山陽小野田市		7	1	1		1	12	22	
令和元年	宇 部 市		32	3	4			12	51	74
	山陽小野田市		11	5	1			6	23	
令和2年	宇 部 市		34	7	3			22	66	95
	山陽小野田市		15	1	4			9	29	

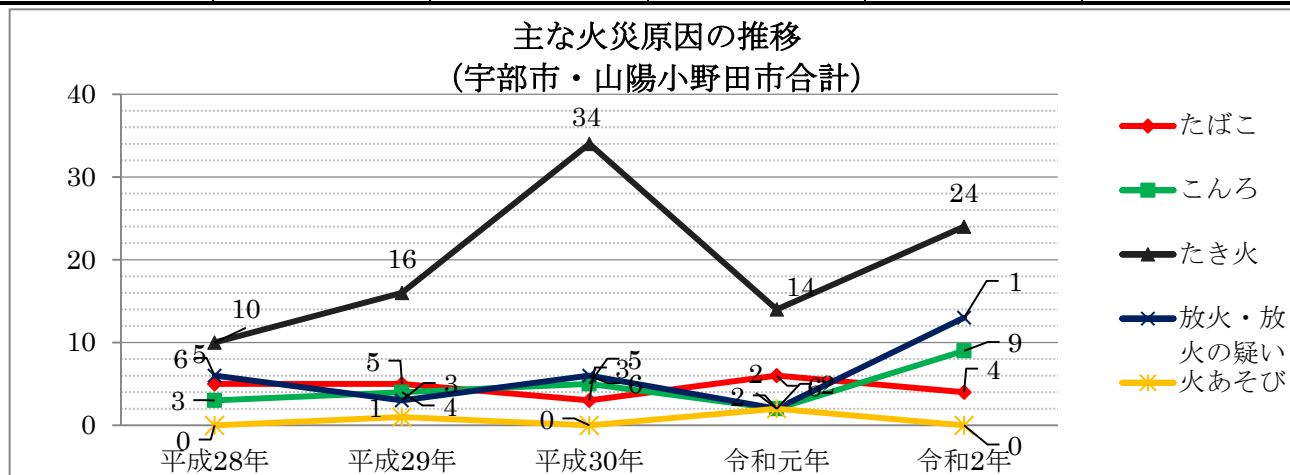


(10) 過去5年間の火災原因別件数

(1月1日～12月31日)

[単位: 件]

年別 原因別	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
たばこ	5	5	3	6	4
こんろ	3	4	5	2	9
風呂かまど		1	1	1	1
炉		1	1		
焼却炉		2	1		
ストーブ	1	2		2	1
こたつ		1			
煙突・煙道		3	1		1
排気管		2	1		2
電気機器	1	2	1	1	1
電気装置		1		2	1
電灯等の配線			1		
内燃機関				1	
配線器具	1	1	3	3	
火あそび		1		2	
ライター等	2		1	2	1
たき火	10	16	34	14	24
溶接機・切断機		1			1
灯火	1				
取灰		1			1
火入れ			1		
放火	4	2	2		2
放火の疑い	2	1	4	2	11
その他	12	11	3	15	19
不明・調査中	13	12	16	21	16
合計	55	70	79	74	95

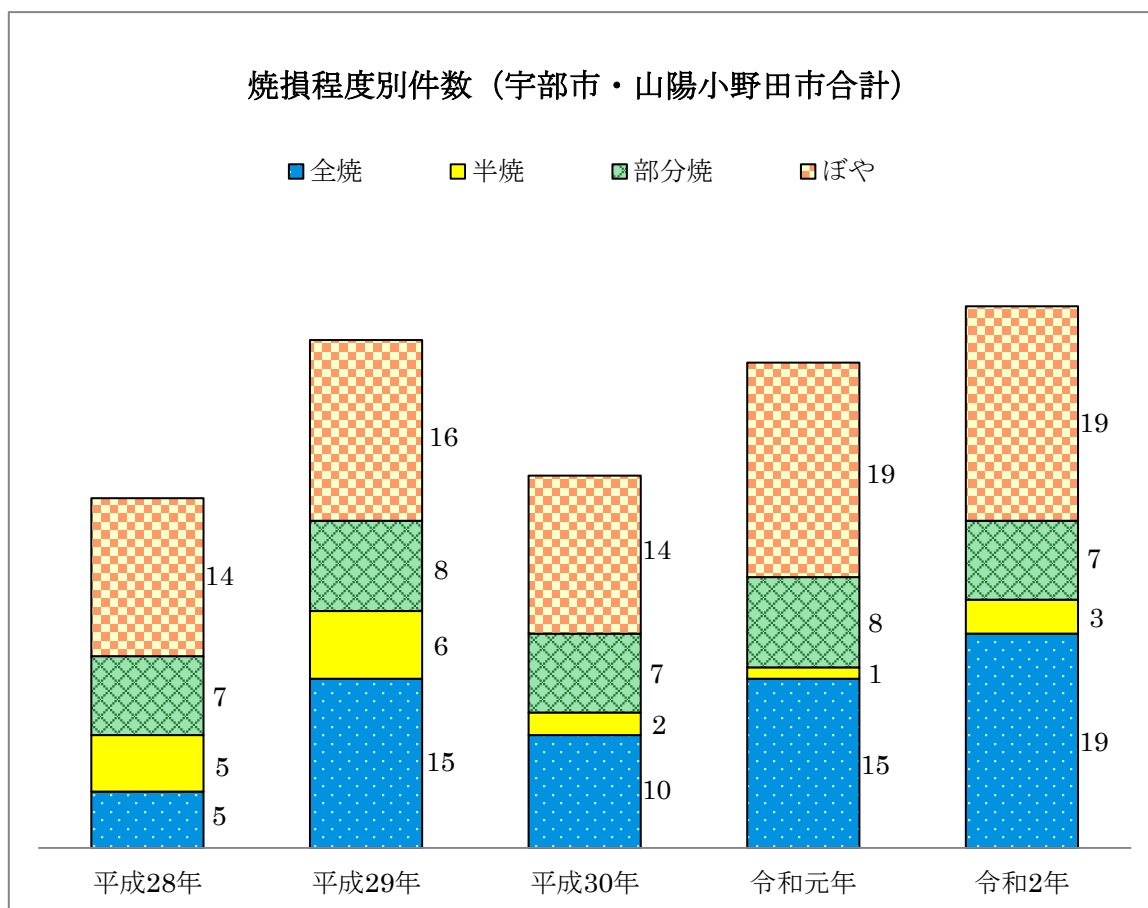


(11) 過去5年間の焼損程度別件数（爆発損害を除く）

（1月1日～12月31日）

[単位：件]

年別		焼損別	全 焼	半 焼	部分焼	ぼ や	計	合 計
平成28年	宇 部 市		4	4	5	12	25	31
	山陽小野田市		1	1	2	2	6	
平成29年	宇 部 市		12	4	6	10	32	45
	山陽小野田市		3	2	2	6	13	
平成30年	宇 部 市		8	1	5	12	26	33
	山陽小野田市		2	1	2	2	7	
令和元年	宇 部 市		11	1	7	13	32	43
	山陽小野田市		4		1	6	11	
令和2年	宇 部 市		14	2	5	12	33	48
	山陽小野田市		5	1	2	7	15	

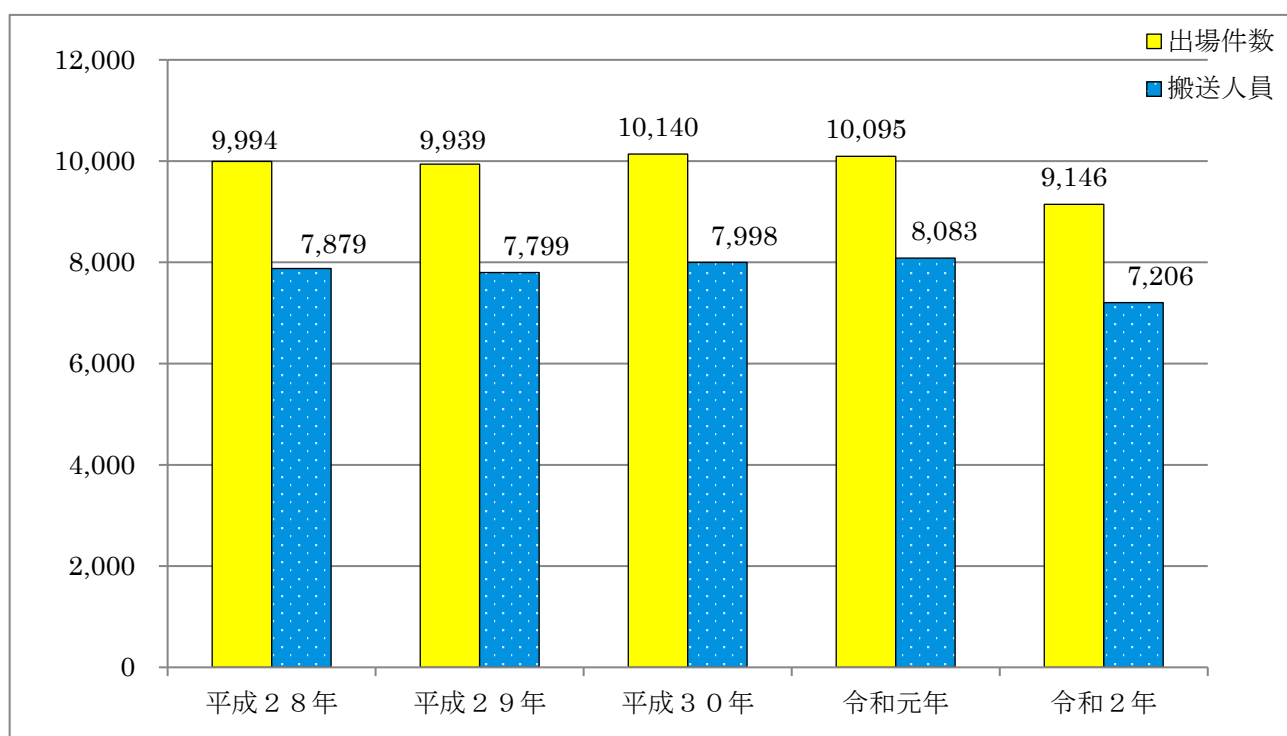


6 救急

(1) 過去5年間の救急状況

(1月1日～12月31日)

年別 \ 区分		出場件数 (件)	搬送人員 (人)	1日平均 出場件数 (件)	1日平均 搬送人員 (人)
平成28年	宇部市	7,021	5,464	19.2	14.9
	山陽小野田市	2,973	2,415	8.1	6.6
	合 計	9,994	7,879	27.3	21.5
平成29年	宇部市	6,951	5,398	19.0	14.8
	山陽小野田市	2,988	2,401	8.2	6.6
	合 計	9,939	7,799	27.2	21.4
平成30年	宇部市	7,234	5,665	19.8	15.5
	山陽小野田市	2,906	2,333	8.0	6.4
	合 計	10,140	7,998	27.8	21.9
令和元年	宇部市	7,182	5,750	19.7	15.8
	山陽小野田市	2,913	2,333	8.0	6.4
	合 計	10,095	8,083	27.7	22.1
令和2年	宇部市	6,560	5,142	17.9	14.0
	山陽小野田市	2,586	2,064	7.1	5.6
	合 計	9,146	7,206	25.0	19.7

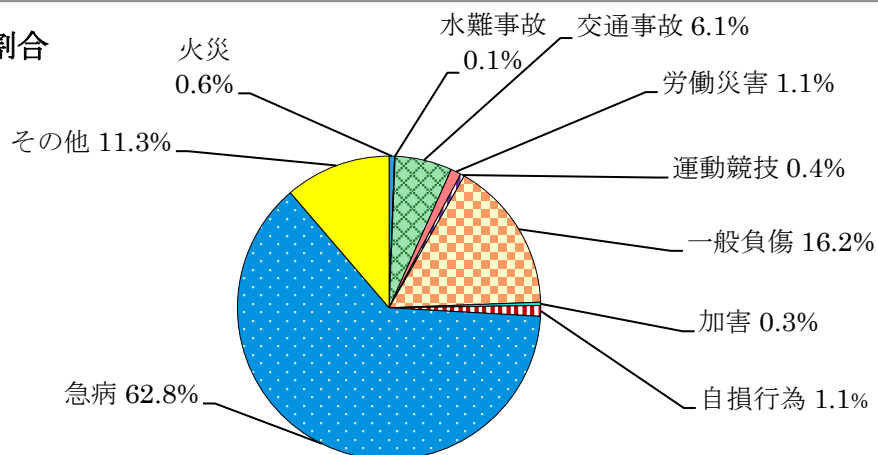


(2) 事故種別ごとの出場・搬送状況

(令和2年1月1日～令和2年12月31日)

市別 事故種別		宇 部 市	山陽小野田市	合 計
火 災	出場件数 (件)	38	15	53
	搬送人員 (人)	5	2	7
自然災害	出場件数			
	搬送人員			
水難事故	出場件数	5	1	6
	搬送人員	3	1	4
交通事故	出場件数	404	152	556
	搬送人員	286	102	388
労働災害	出場件数	68	33	101
	搬送人員	60	32	92
運動競技	出場件数	14	25	39
	搬送人員	11	22	33
一般負傷	出場件数	1,060	418	1,478
	搬送人員	833	327	1,160
加 害	出場件数	27	5	32
	搬送人員	12	3	15
自損行為	出場件数	78	26	104
	搬送人員	44	14	58
急 病	出場件数	4,162	1,583	5,745
	搬送人員	3,360	1,292	4,652
そ の 他	出場件数	704	328	1,032
	搬送人員	528	269	797
合 計	出場件数	6,560	2,586	9,146
	搬送人員	5,142	2,064	7,206

事故種別ごとの件数割合



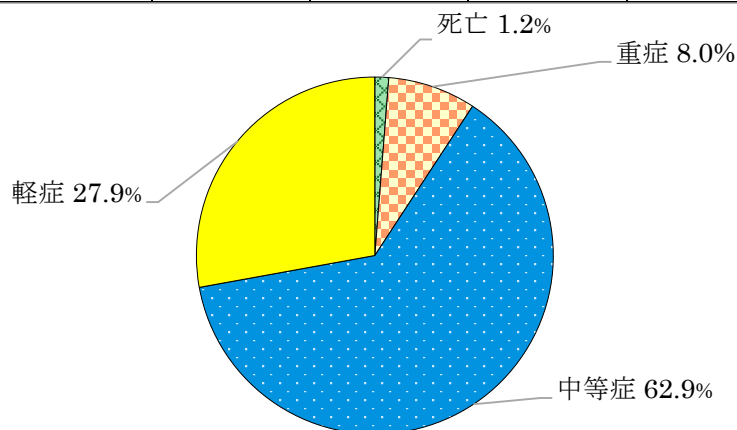
(3) 事故種別・傷病程度別搬送人員

(令和2年1月1日～令和2年12月31日)

[単位：人]

傷病程度 事故種別		死 亡	重 症	中等症	軽 症	その他	合 計
火 災	宇 部 市		1	2	2		5
	山陽小野田市			1	1		2
自然災害	宇 部 市						
	山陽小野田市						
水難事故	宇 部 市	1	1	1			3
	山陽小野田市		1				1
交通事故	宇 部 市		18	90	178		286
	山陽小野田市		2	30	70		102
労働災害	宇 部 市		6	32	22		60
	山陽小野田市		5	14	13		32
運動競技	宇 部 市			6	5		11
	山陽小野田市			11	11		22
一般負傷	宇 部 市	5	69	481	278		833
	山陽小野田市	1	48	178	100		327
加 害	宇 部 市			5	7		12
	山陽小野田市			1	2		3
自損行為	宇 部 市	2	5	23	14		44
	山陽小野田市	2	2	5	5		14
急 病	宇 部 市	48	189	2,197	926		3,360
	山陽小野田市	30	112	790	360		1,292
そ の 他	宇 部 市	1	59	458	10		528
	山陽小野田市		57	208	4		269
合 計	宇 部 市	57	348	3,295	1,442		5,142
	山陽小野田市	33	227	1,238	566		2,064
	合 計	90	575	4,533	2,008		7,206

傷病程度別搬送人員割合



(4) 救急車医師同乗システム（ドクターカー） 出場件数及び活動件数

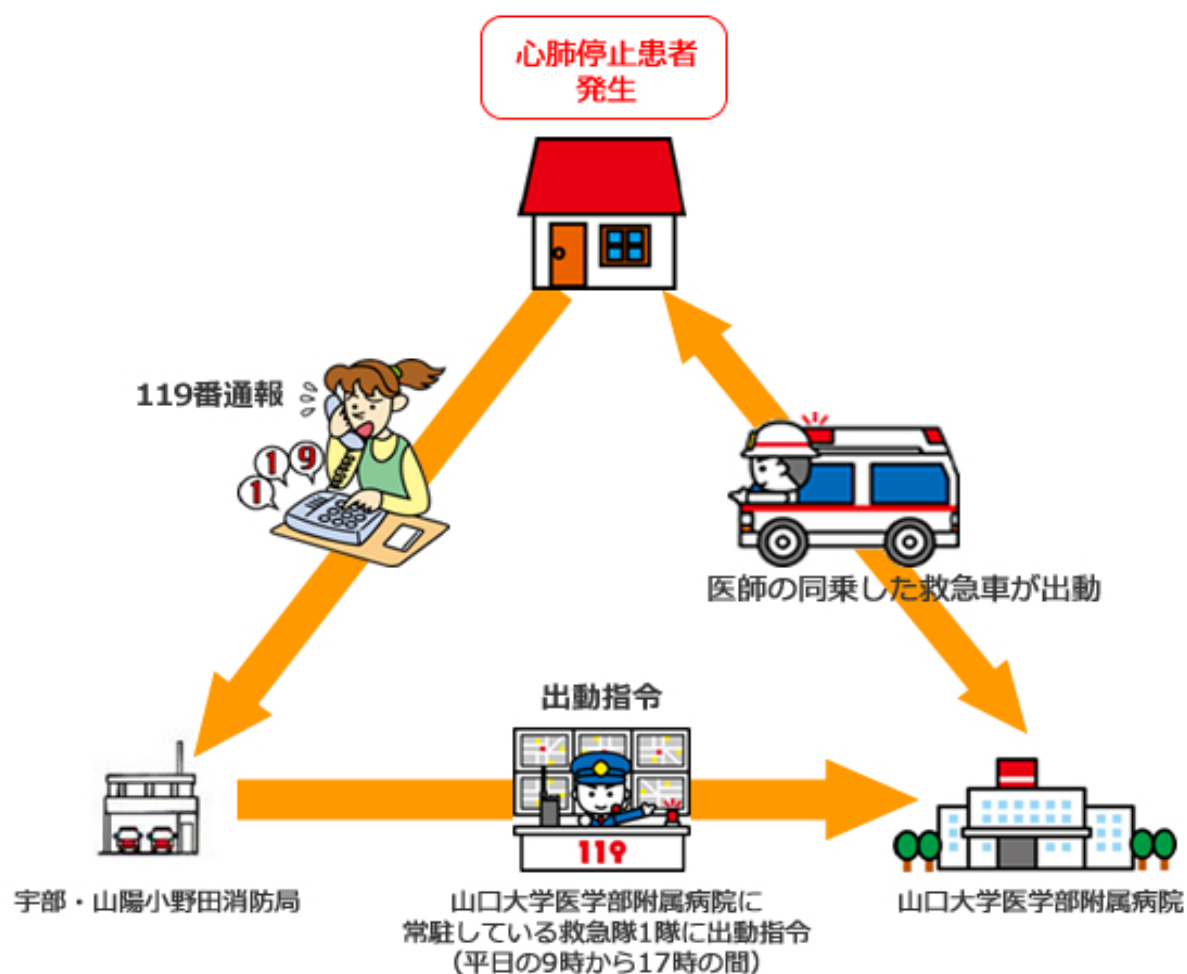
(令和2年1月1日～令和2年12月31日)

事故種別 区分	計	火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送	医師搬送
出場件数 (件)	137			1	7	3		3		4	36		83
活動件数 (件)	54			1	7	3		3		4	36		

救急車医師同乗システム（ドクターカー）

システム概要

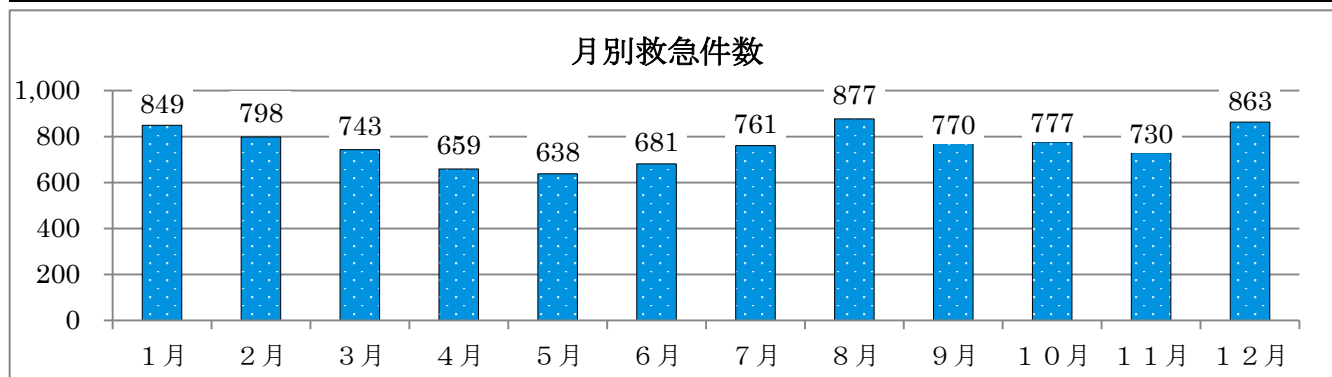
救急車医師同乗システム（通称：ドクターカー）の内容



(5) 事故種別・月別出場件数及び搬送人員

(令和2年1月1日～令和2年12月31日)

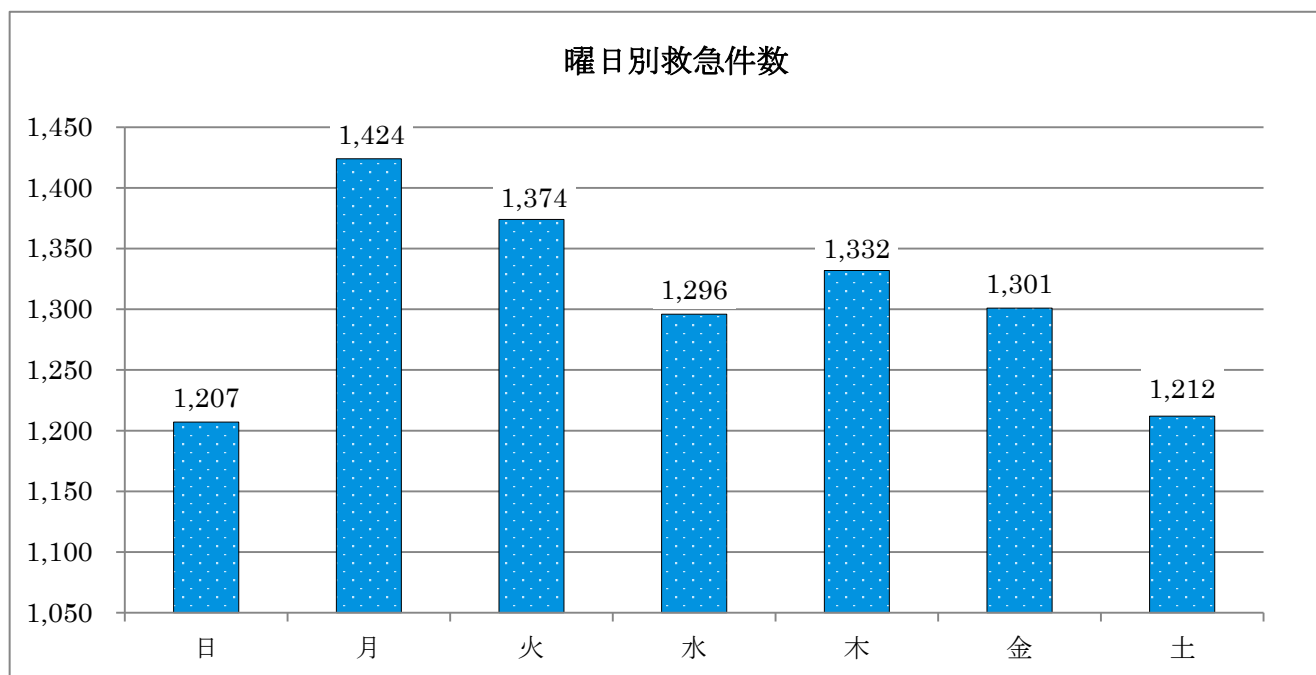
事故種別 月別		計	火 災	自然 災害	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他
1月	件数(件)	849	2		1	38	6	2	139	2	7	579	73
	人員(人)	666			1	27	6	2	99		5	470	56
2月	件数	798	6		1	48	5	4	125	1	5	504	99
	人員	623				36	4	4	97		2	404	76
3月	件数	743	6			59	13	1	121	2	11	436	94
	人員	597	3			43	13	1	98	1	5	358	75
4月	件数	659	9			34	5	3	113	3	9	409	74
	人員	487	2			28	5	2	87	2	6	307	48
5月	件数	638	2			56	7	1	82	6	10	398	76
	人員	509				37	4	1	64	4	4	335	60
6月	件数	681	5			43	8	3	109	4	7	426	76
	人員	551	1			24	6	3	92	1	3	354	67
7月	件数	761	4		2	28	11	5	122	5	13	480	91
	人員	619			1	19	10	5	97	3	11	398	75
8月	件数	877	2		1	49	15	9	124	2	6	593	76
	人員	696			1	36	15	8	98	1	2	480	55
9月	件数	770	2			53	11	5	117	2	8	489	83
	人員	608				42	10	2	93	1	5	390	65
10月	件数	777	6		1	44	9	5	124		14	479	95
	人員	605			1	34	9	4	91		7	386	73
11月	件数	730	3			48	5		143	4	7	433	87
	人員	577				32	4		116	1	5	354	65
12月	件数	863	6			56	6	1	159	1	7	519	108
	人員	668	1			30	6	1	128	1	3	416	82
合計	件数	9,146	53		6	556	101	39	1,478	32	104	5,745	1,032
	人員	7,206	7		4	388	92	33	1,160	15	58	4,652	797



(6) 事故種別・曜日別出場状況及び搬送人員

(令和2年1月1日～令和2年12月31日)

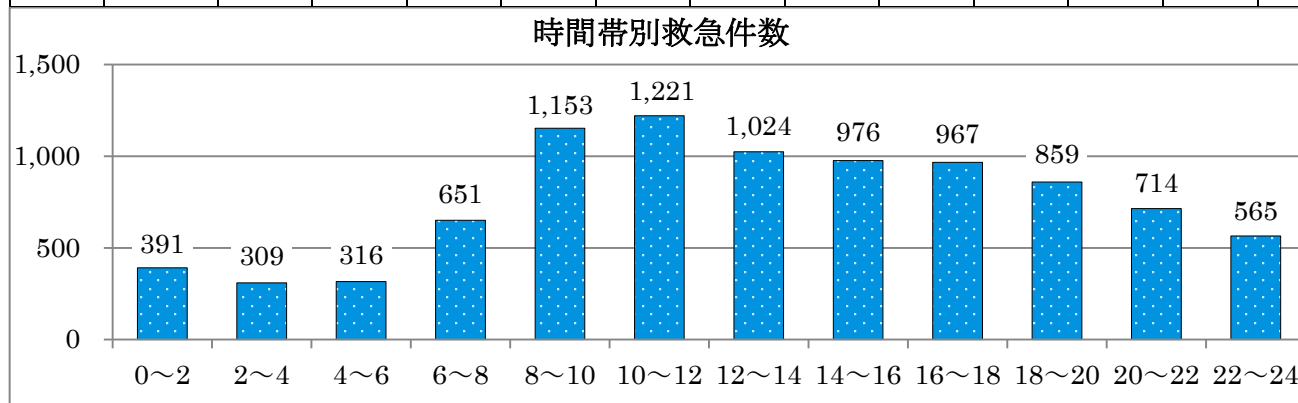
事故種別 曜日別		計	火 災	自然 災害	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他
日	件数(件)	1,207	6			65	10	11	226	6	15	790	78
	人員(人)	954	1			48	6	9	179	2	9	636	64
月	件数	1,424	6			85	10	3	227	6	14	893	180
	人員	1,144	1			56	10	2	185	3	5	739	143
火	件数	1,374	6		2	91	14	4	206	2	10	879	160
	人員	1,080			2	60	12	3	164		5	713	121
水	件数	1,296	10			71	14	2	190	2	9	815	183
	人員	1,021	1			53	13	1	149	2	2	663	137
木	件数	1,332	12		2	76	23	5	224	1	18	828	143
	人員	1,029	2		1	48	23	5	175		14	667	94
金	件数	1,301	5		1	87	16	6	200	5	20	787	174
	人員	1,023				61	15	5	146	2	15	641	138
土	件数	1,212	8		1	81	14	8	205	10	18	753	114
	人員	955	2		1	62	13	8	162	6	8	593	100
合 計	件数	9,146	53		6	556	101	39	1,478	32	104	5,745	1,032
	人員	7,206	7		4	388	92	33	1,160	15	58	4,652	797



(7) 事故種別・時間帯別出場件数及び搬送人員

(令和2年1月1日～令和2年12月31日)

事故種別 時間帯別		計	火 災	自然 災害	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他
0～ 2	件数(件)	391	3			8			45	3	4	309	19
	人員(人)	300				5			31	1	4	245	14
2～ 4	件数	309	3			14	1		40	2	4	229	16
	人員	246	1			12	1		29	1	4	185	13
4～ 6	件数	316	1			7			39		5	252	12
	人員	244				5			28		1	201	9
6～ 8	件数	651	1		1	51	3	1	106	1	7	461	19
	人員	520				36	2		87	1	5	374	15
8～ 10	件数	1,153	3		1	66	17	2	218	2	12	708	124
	人員	960			1	45	15	2	190	1	4	615	87
10～ 12	件数	1,221	9		1	80	23	8	231		12	624	233
	人員	971	3		1	58	22	7	182		9	525	164
12～ 14	件数	1,024	4		1	71	10	4	171	3	9	570	181
	人員	815	1			55	9	4	143	3	3	457	140
14～ 16	件数	976	7		1	69	19	8	140	1	8	578	145
	人員	775			1	50	17	6	113	1	6	475	106
16～ 18	件数	967	6			78	14	2	181	2	8	535	141
	人員	776	1			54	14	2	140		4	439	122
18～ 20	件数	859	3			64	11	3	139	8	12	556	63
	人員	649				35	10	3	111	2	4	425	59
20～ 22	件数	714	5			29	1	8	101	5	10	509	46
	人員	541				23	1	6	69	2	7	395	38
22～ 24	件数	565	8		1	19	2	3	67	5	13	414	33
	人員	409	1		1	10	1	3	37	3	7	316	30
合計	件数	9,146	53		6	556	101	39	1,478	32	104	5,745	1,032
	人員	7,206	7		4	388	92	33	1,160	15	58	4,652	797



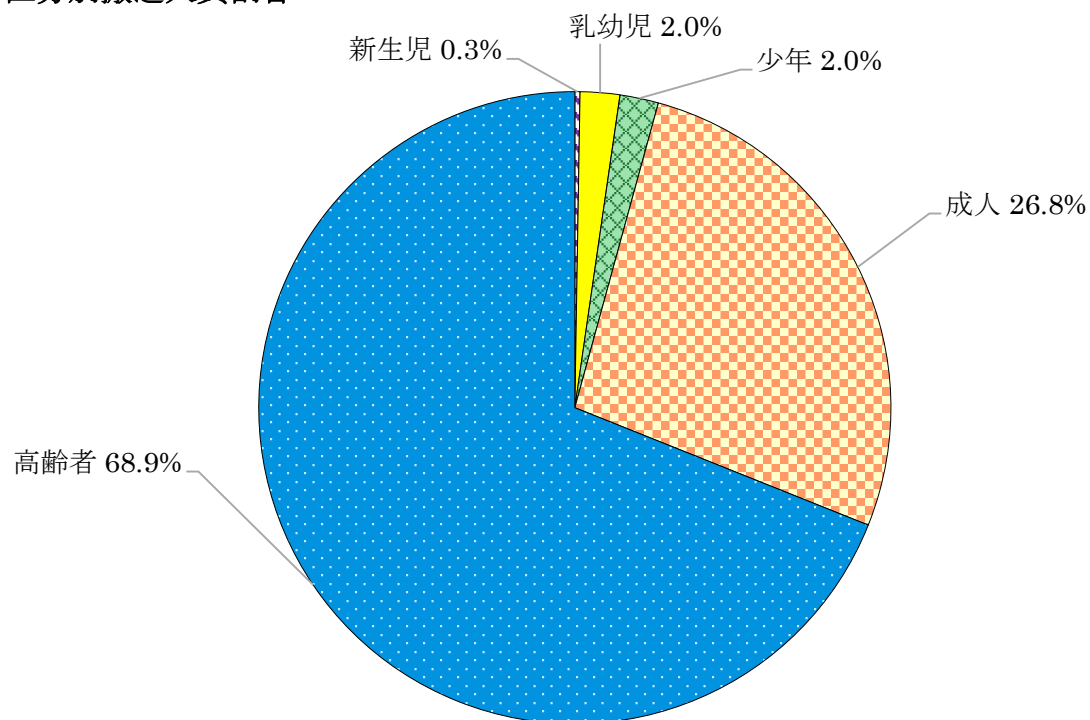
(8) 事故種別・年齢区分別搬送人員

(令和2年1月1日～令和2年12月31日)

[単位：人]

事故種別 年齢区分	計	火 災	自然 災害	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他
新生児 (生後28日未満)	19										4	15
乳幼児 (7歳未満)	146				2			29			105	10
少年 (7歳～17歳)	142				34		14	13			66	15
成人 (18歳～64歳)	1,931	5		2	190	74	18	142	10	48	1,214	228
高齢者 (65歳以上)	4,968	2		2	162	18	1	976	5	10	3,263	529
合計	7,206	7		4	388	92	33	1,160	15	58	4,652	797
高齢者 割合 (%)	69	29		50	42	20	3	84	33	17	70	66

年齢区分別搬送人員割合



7 救助

(令和2年1月1日～令和2年12月31日)

市別 種別		宇 部 市			山陽小野田市			合 計		
		出 動 (件)	活 動 (件)	救 助 人 員 (人)	出 動	活 動	救 助 人 員	出 動	活 動	救 助 人 員
火 災	建 物	6	6	1				6	6	1
	建物以外									
交 通 事 故		22	13	17	8	7	7	30	20	24
水 難 事 故		6	4	4	1	1	1	7	5	5
風 水 害 自 然 災 害										
機械による事故		6	4	4				6	4	4
建物等による事故		13	7	7	3	3	3	16	10	10
ガス・酸欠事故										
破 裂 事 故										
そ の 他 事 故		10	8	8	4	2	2	14	10	10
合 計		63	42	41	16	13	13	79	55	54

8 火災以外の出動

(令和2年1月1日～令和2年12月31日)

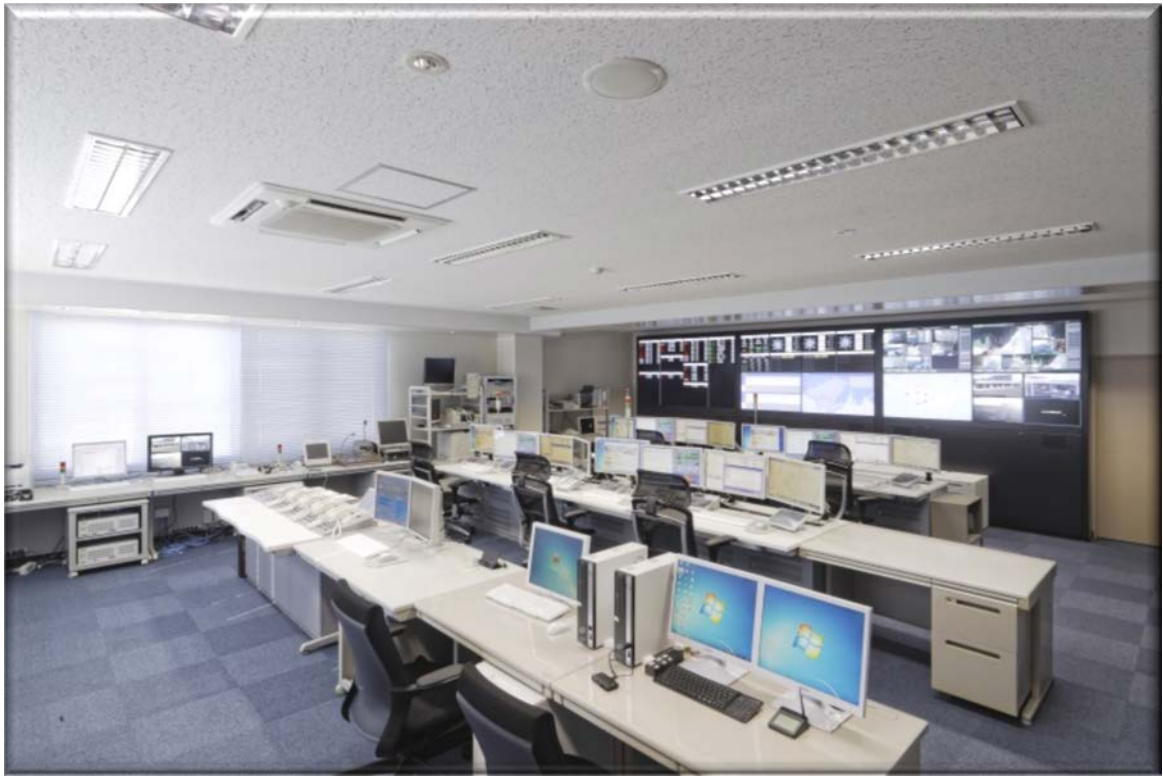
月別 出動種別		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
風水害等の災害	回数 (回)		2					5		6				13
	人員 (人)		15					14		32				61
火災 原因調査	回数	2	8	4	10	1	6	3	1	4	5	1	7	52
	人員	7	44	20	46	5	32	12	3	21	20	5	43	258
特 別 警 戒	回数													
	人員													
捜 索	回数													
	人員													
誤報等	回数		3		1	1	2		1			1		9
	人員		10			21	23		6			19		79
救 急 補 助	回数	106	101	99	94	92	68	70	113	102	78	92	117	1,132
	人員	321	300	311	298	278	213	220	331	311	232	277	380	3,472
その他	回数	14	14	22	13	9	13	28	30	23	15	13	20	214
	人員	41	63	78	68	33	59	137	127	87	54	42	96	885
合 計	回数	122	128	125	118	103	89	106	145	135	98	107	144	1,420
	人員	369	432	409	412	337	327	383	467	451	306	343	519	4,755

9 救急講習

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

区分 受講者別	宇 部 市			山陽小野田市			合 計		
	講習 件数 (件)	受講 者数 (人)	指導 者数 (人)	講習 件数	受講 者数	指導 者数	講習 件数	受講 者数	指導 者数
普通救命 講習Ⅰ	27	283	57	29	253	41	56	536	98
普通救命 講習Ⅲ									
上級救命 講習	5	5	8	2	4	3	7	9	11
応急手当 普及員講 習Ⅰ									
応急手当 指導員講 習Ⅰ	3	5	9	2	6	3	5	11	12
普通救命 講習Ⅰ (普及 員)									
救命入門 コース				1	5	1	1	5	1
その他講 習	4	207	11	1	10	1	5	217	12
合 計	39	500	85	35	278	49	74	778	134

通 信 指 令



高機能消防指令センター

電話による１１９番通報のほか、インターネット、メール及びＦＡＸを利用した通報にも対応可能で、通報受付から出動指示、現場到着までを迅速に行うことができます。また、高機能消防指令センターと出動部隊が各種情報を共有することで、的確な現場活動を行うことができます。



消防救急デジタル無線設備

消防救急デジタル無線設備の整備により、無線の秘匿性の向上、不感地帯の解消及びデータ送信を利用したシステムの活用等が可能となりました。

1 消防通信施設

(1) 消防指令センター

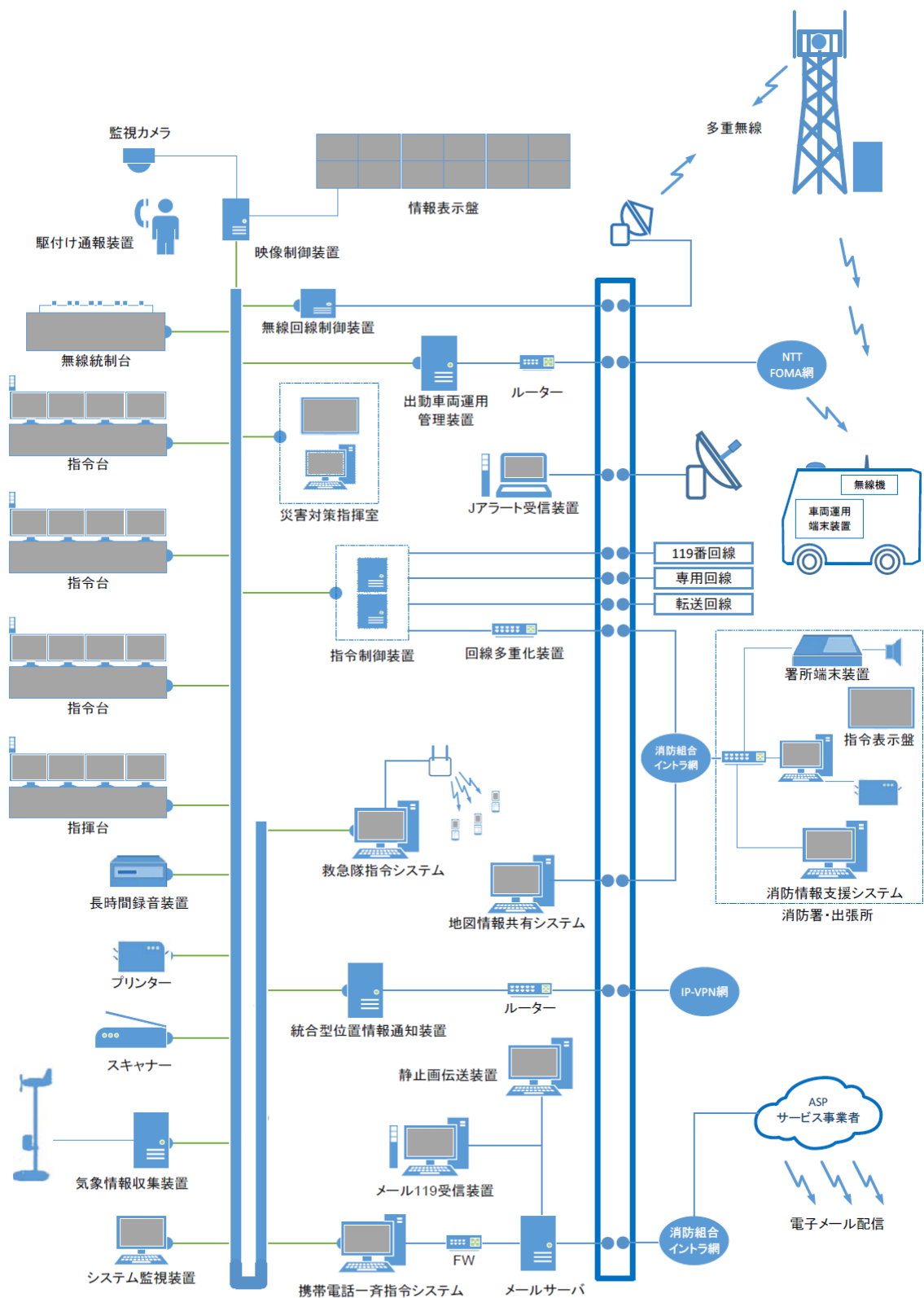
機 器 名	数量	設 置 年 月 日
高機能消防指令センター（Ⅱ型） 1. 指令装置 2. 指揮台 3. 表示盤 4. 無線統制台 5. 指令伝送装置 6. 気象情報収集装置 7. 災害状況等自動案内装置 8. 順次指令装置 9. 音声合成装置 10. 出動車両運用管理装置 11. システム監視装置 12. 地図検索装置 13. 統合型位置情報通知装置 14. 長時間録音装置 15. 自動出動指定装置 16. 駆け込み通報装置 17. 静止画像伝送装置	一式	平成 26 年 3 月更新
メール 119	一式	平成 26 年 3 月更新
FAX 119	一式	平成 26 年 3 月更新
Net 119	一式	令和 2 年 10 月
動画像配信システム	一式	平成 28 年 9 月
山口県広域災害救急医療情報システム	一式	平成 26 年 8 月更新
山口県総合防災情報ネットワーク	一式	平成 20 年 3 月
宇部市防災用移動系無線(デジタル MCA 無線)システム	一式	平成 20 年 4 月

(2) 電話回線

令和 3 年 4 月 1 日現在

回線 所属	119 回線 (IP 含む)	携帯 119 着信	指令 回線	携帯 119 転送	加入 電話	FAX	緊急 通報	衛星 通信	高速 山陽道
消 防 局 中 央 署	5	2		2	8	4	2	1	1
東 部			1		1	1			
西 署			1		2	1			
北 部			1		2	1			
楠			1		1	1			
小野田署			1		3	1			
山 陽 署			1		2	1			
埴 生			1		1	1			
合 計	5	2	7	2	20	11	2	1	1

(3) システム構成図



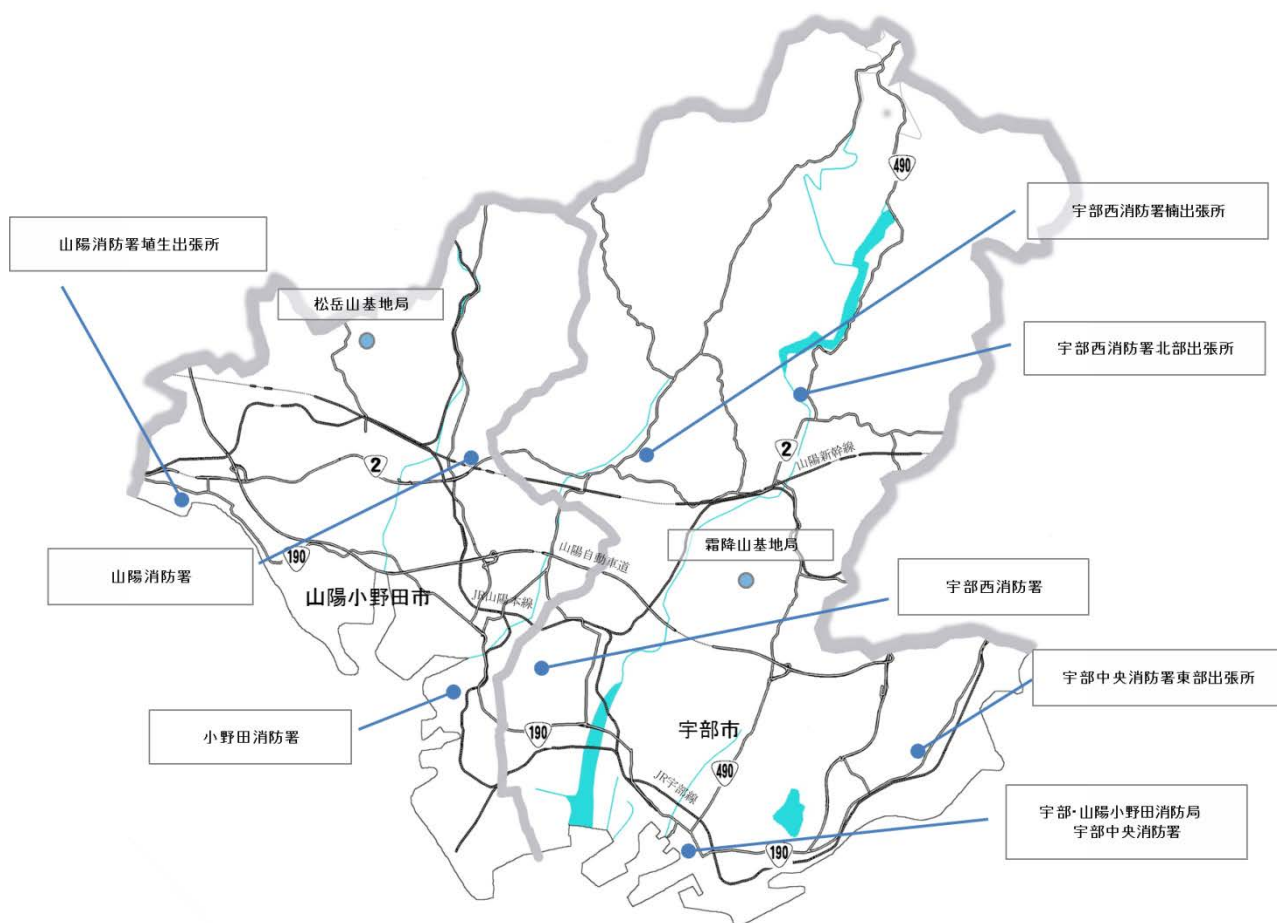
(4) 自家用発電機

令和3年4月1日現在

所 属	出 力	設置年月日
消 防 局	105KVA	平成19年2月
東 部 出 張 所	9.9KVA	平成24年1月
宇 部 西 消 防 署	9.9KVA	平成22年6月
北 部 出 張 所	9.5KVA	平成25年12月
楠 出 張 所	9.9KVA	平成30年2月
小 野 田 消 防 署	100KVA	平成11年1月
山 陽 消 防 署	35KVA	平成25年3月
埴 生 出 張 所	9.5KVA	平成25年12月
霜 降 山 基 地 局	15KVA	平成25年12月
松 岳 山 基 地 局	10KVA	平成25年12月

(5) 無線局

令和3年4月1日現在



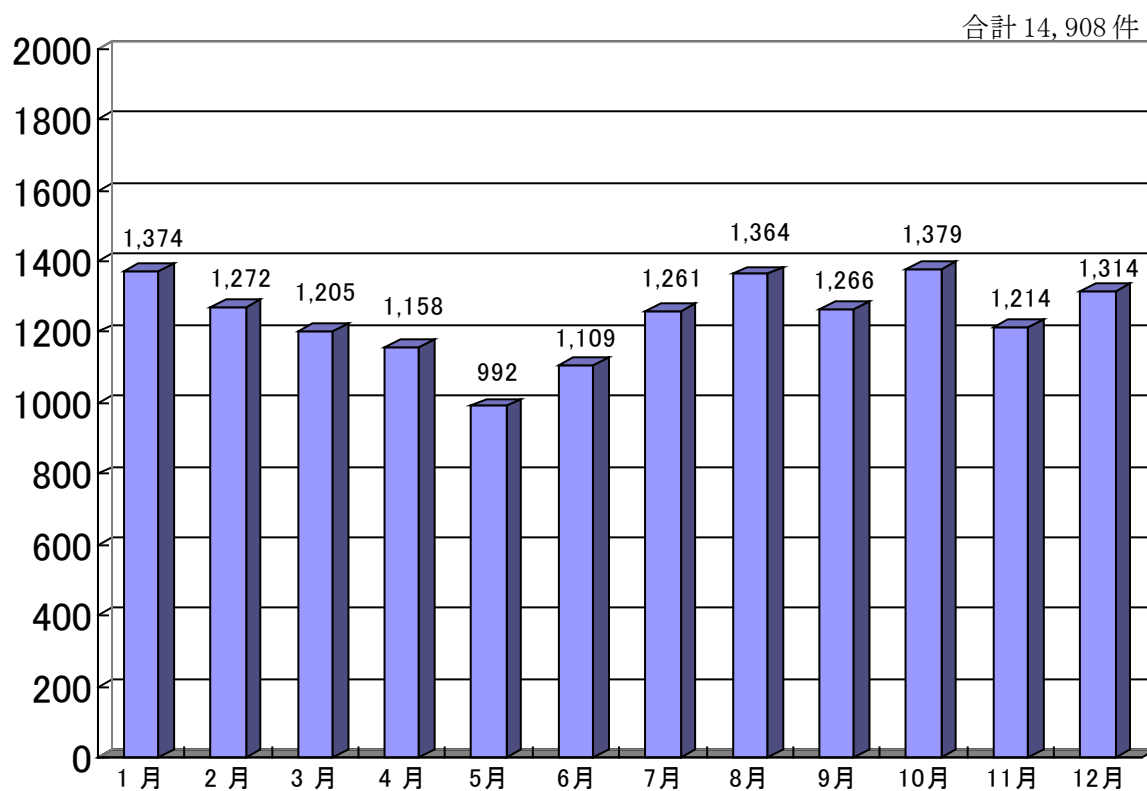
[単位：局]

		消防局	霧降山	松岳山	中央署	東部	西署	北部	楠	小野田署	山陽署	埴生	合計
基地局 (固定局)		1 (1)	1 (1)	1 (1)							(1)		3 (4)
移動局	卓上型					1	1	1	1	1	1	1	7
	車載型	8			18	4	9	4	4	18	8	3	76
	携帯型	7			16	7	12	7	7	12	12	5	85
	可搬型				1					1			2

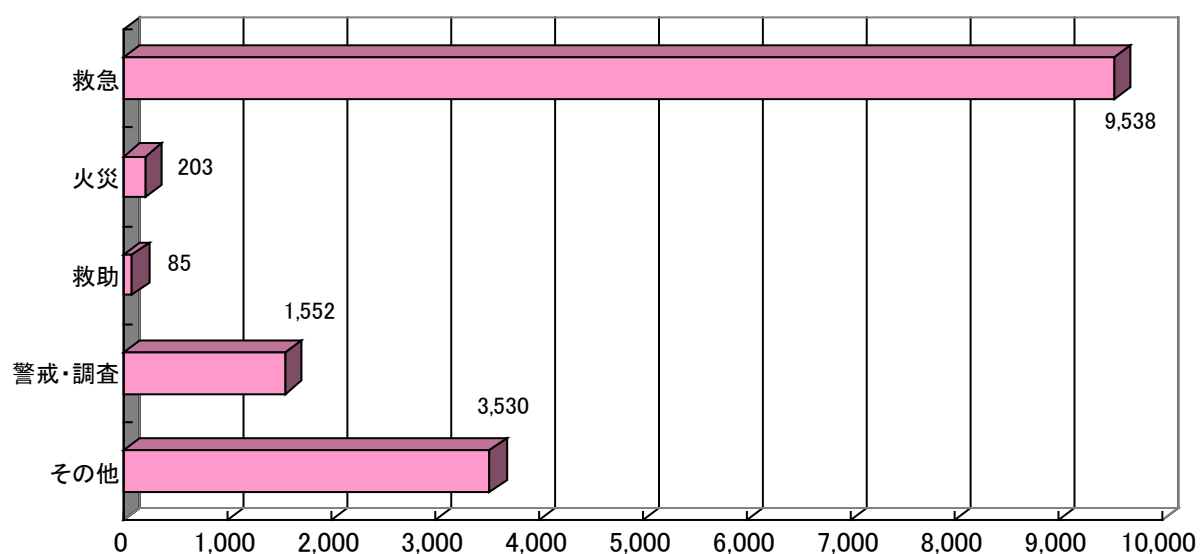
2 1 1 9 回線着信件数

(令和2年1月1日～令和2年12月31日)

月別着信件数



種別毎着信件数(同報含む)



消 防 団

宇部市消防団

小型動力ポンプ積載車の配備

宇部市消防団は市民のための『安心・安全な暮らしの確保』に向けて消防施設整備の充実強化と共に消防団員としての更なる強化を図り、定例訓練・防火防災指導等に尽力しています。



山陽小野田市消防団

団指揮広報車の配備

令和2年度石油貯蔵施設立地対策等交付金事業として、団指揮広報車1台を更新し、山陽小野田市消防団の装備を強化しました。

最新の資機材を最大限に活用し、市民の安心・安全を守ります。



宇部市消防団

宇部・山陽小野田消防組合との合同訓練



山陽小野田市消防団

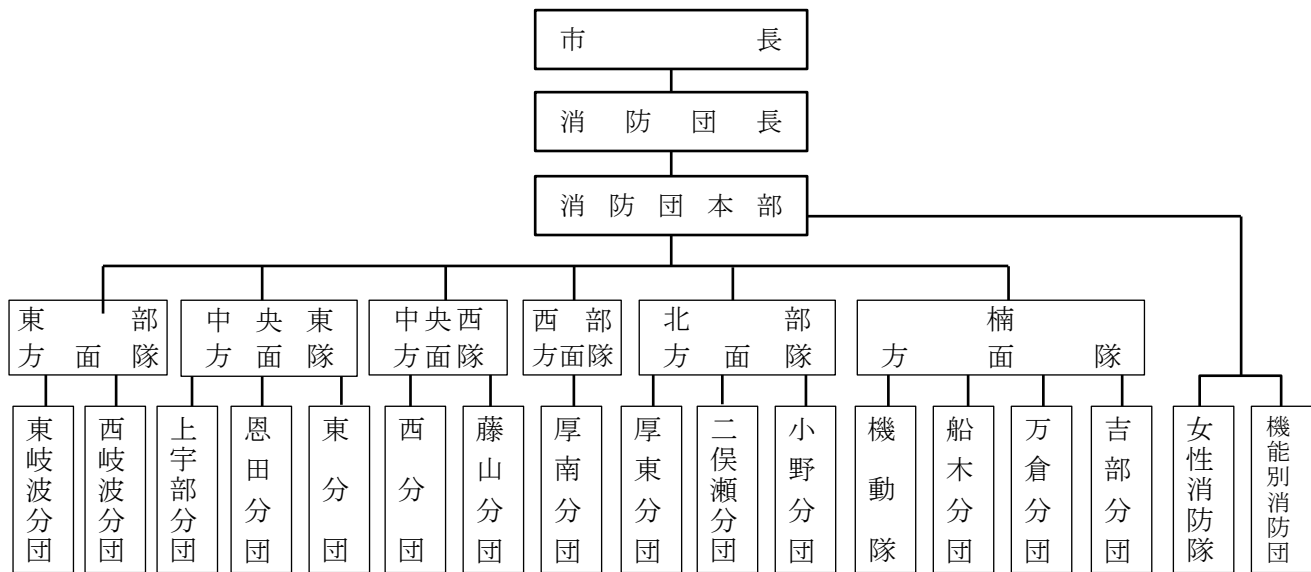
長距離中継送水訓練



宇部市及び山陽小野田市ともに、大規模な災害時における常備消防と消防団との連携強化を図るため、宇部・山陽小野田消防組合との連携訓練を重ね、地域防災の要として、市民の安心・安全を担います。

1 消防団組織図

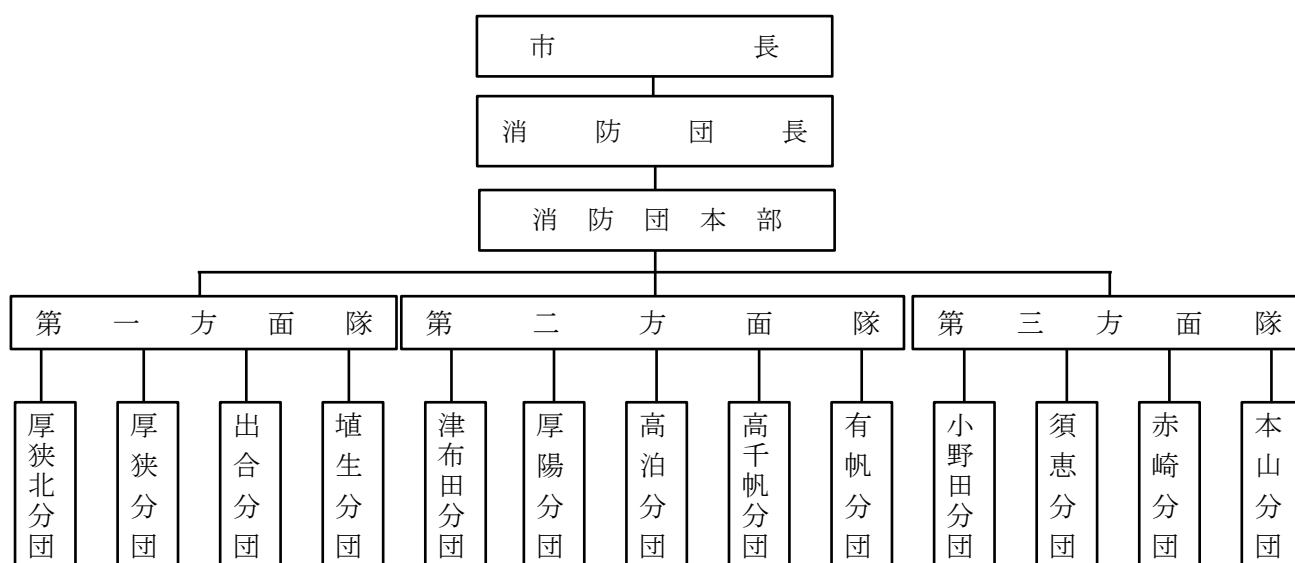
(1) 宇部市消防団



令和3年4月1日現在 [単位：人]

消防団員定数表	所 属	消 防 団 本 部		東 部 方 面 隊		中 央 東 方 面 隊			中 央 西 方 面 隊		西 部 方 面 隊	北 方 面 隊			楠 方 面 隊				合 計	
		機 能 別 消 防 団		女 性 消 防 隊	東 岐 波 分 団	西 岐 波 分 団	上 宇 部 分 団	恩 田 分 団	東 分 団	西 分 団	藤 山 分 団	厚 南 分 団	厚 東 分 団	二 俣 瀬 分 団	小 野 分 団	機 動 隊	船 木 分 団	万 倉 分 団		吉 部 分 団
	定 数	定 数	100	720																820
実 員 数	令和 3 年 4 月 1 日 現在	38	12	44	54	65	30	22	25	23	25	70	29	29	59	17	38	23	36	639

(2) 山陽小野田市消防団



令和3年4月1日現在 [単位：人]

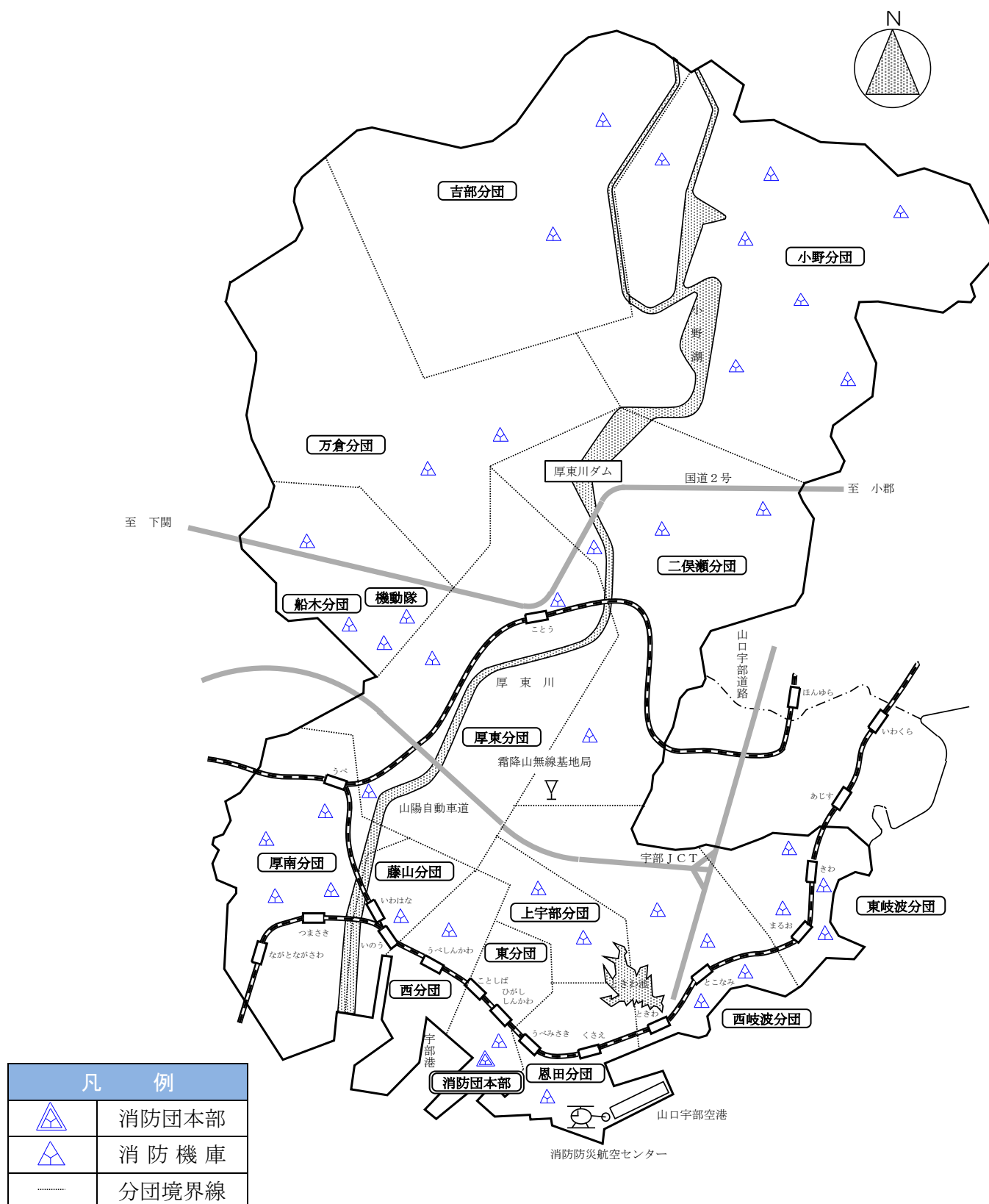
消防団員 数表 (職階別)	所 属 職 階 級	消防団本部	第一方面隊				第二方面隊					第三方面隊				合 計
			厚狭北分団	厚狭分団	出合分団	埴生分団	津布田分団	厚陽分団	高泊分団	高千帆分団	有帆分団	小野田分団	須恵分団	赤崎分団	本山分団	
定 数	団 長	1														1
	方 面 隊 長 (副 団 長)	3	1(注)				1(注)					1(注)				3
	本 部 長 また は 分 団 長	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	14
	副 本 部 長 また は 副 分 団 長	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	14
	部 長	5	3	4	2	4	2	2	2	2	2	2	2	2	2	36
	班 長	9	5	7	3	7	3	3	3	3	3	3	3	3	3	58
	団 員	51	30	42	19	42	19	19	19	19	19	19	19	23	19	359
実 員 数	合 計	71	40	55	26	55	26	26	26	26	26	26	26	30	26	485
	令和3年4月1日現在	44 (35)	37	45	29	51	23	26	22	24	21	21	18	28	15	404 (35)

() ~うち女性消防団員 (注) 方面隊長は団本部に所属

2 消防団配置図

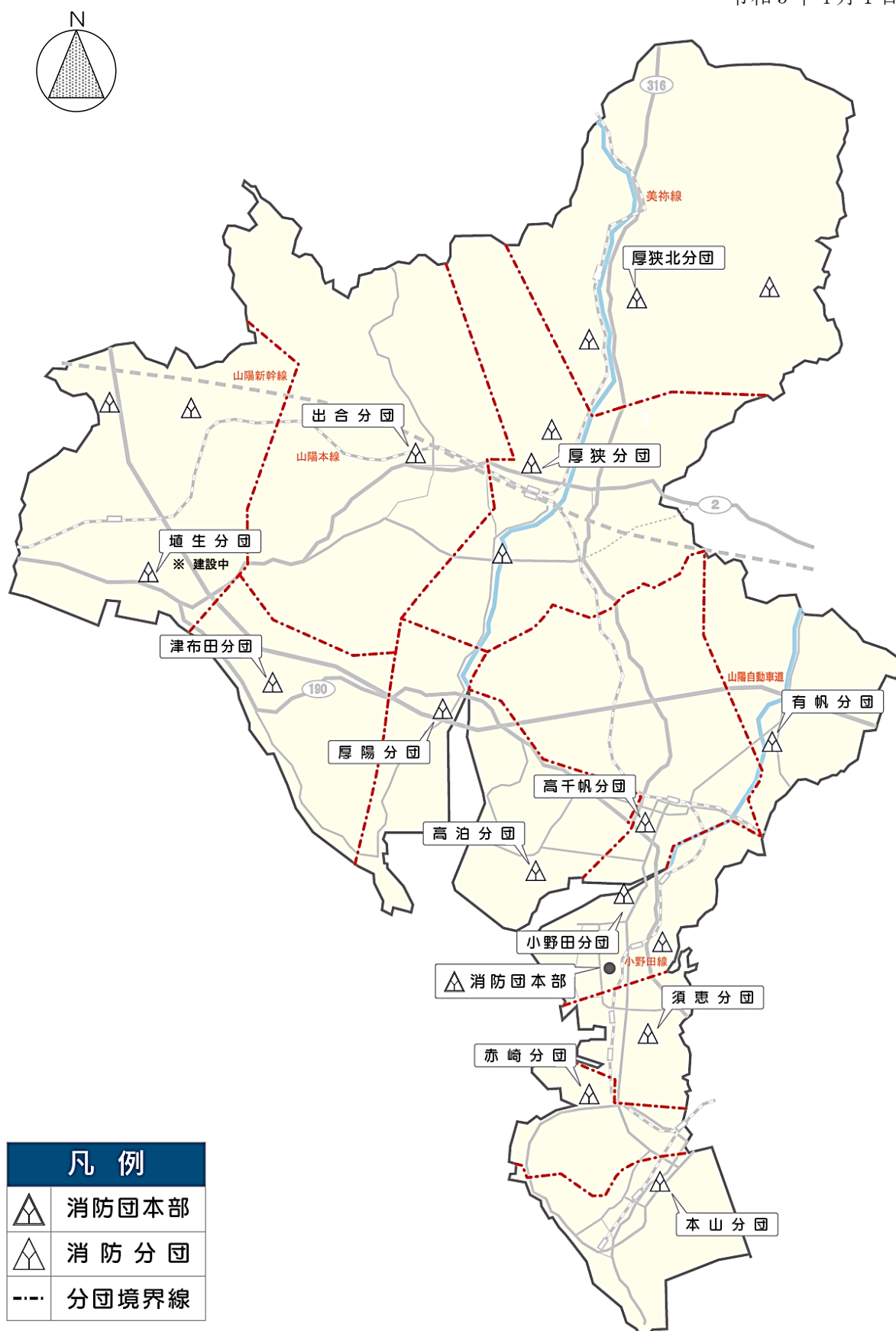
(1) 宇部市消防団

令和3年4月1日現在



(2) 山陽小野田市消防団

令和3年4月1日現在



3 消防団員階級別年齢

【宇部市消防団】

令和3年4月1日現在 [単位：人]

年 齢	団 長	副 団 長	分 団 長	副分団長	部 長	班 長	団 員	合 計
20 歳未満							1	1
20 歳以上 25 歳未満							52	52
25 歳以上 30 歳未満							19	19
30 歳以上 35 歳未満					1	1	40	42
35 歳以上 40 歳未満						2	61	63
40 歳以上 45 歳未満					1	17	86	104
45 歳以上 50 歳未満					2	26	69	97
50 歳以上 55 歳未満			2	1	10	24	47	84
55 歳以上 60 歳未満		1	1	2	14	21	26	65
60 歳以上 65 歳未満	1	1	2	11	19	16	14	64
65 歳以上 70 歳未満		1	14	1	7	9	10	42
70 歳以上		1			1		4	6
合 計	1	4	19	15	55	116	429	639
平 均	63	65	65	61	58	52	41	46

【山陽小野田市消防団】

令和3年4月1日現在 [単位：人]

年 齢	団 長	副 団 長	分 団 長	副分団長	部 長	班 長	団 員	合 計
20 歳未満							1	1
20 歳以上 25 歳未満							28	28
25 歳以上 30 歳未満							20	20
30 歳以上 35 歳未満						1	49	50
35 歳以上 40 歳未満					1	2	40	43
40 歳以上 45 歳未満						6	55	61
45 歳以上 50 歳未満					2	17	46	65
50 歳以上 55 歳未満					10	11	22	43
55 歳以上 60 歳未満				2	4	9	10	25
60 歳以上 65 歳未満			5	4	9	7	11	36
65 歳以上 70 歳未満		1	6	7	7	2		23
70 歳以上	1	2	3	1	2			9
合 計	1	3	14	14	35	55	282	404
平 均	72	71	66	64	58	51	39	45

4 消防団員階級別勤続年数

【宇部市消防団】

令和3年4月1日現在 [単位：人]

勤続年数	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	合計
5年未満					2		168	170
5年以上10年未満					2	4	95	101
10年以上15年未満					2	21	76	99
15年以上20年未満				1	3	26	33	63
20年以上25年未満			2	1	12	22	31	68
25年以上30年未満			4	2	11	27	14	58
30年以上35年未満			6	10	21	10	9	56
35年以上40年未満	1	3	2	1	1	6	1	15
40年以上45年未満		1	4		1		2	8
45年以上			1					1
合計	1	4	19	15	55	116	429	639
平均	36	37	33	30	25	21	9	14

【山陽小野田市消防団】

令和3年4月1日現在 [単位：人]

勤続年数	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	合計
5年未満							86	86
5年以上10年未満					1	1	77	79
10年以上15年未満					1	8	52	61
15年以上20年未満					4	12	34	50
20年以上25年未満			1	2	5	13	19	40
25年以上30年未満			2	3	9	10	7	31
30年以上35年未満		1	4	3	5	7	3	23
35年以上40年未満	1		3	3	3	2	4	16
40年以上45年未満			3		6	1		10
45年以上		2	1	3	1	1		8
合計	1	3	14	14	35	55	282	404
平均	38	42	35	34	29	23	10	15

5 消防団員年報酬及び費用弁償

【宇部市消防団】

年 報 酬

令和 3 年 4 月 1 日現在 [単位：円]

階 級	団 長	副 団 長	分 団 長	副分団長	部 長	班 長	団 員	機能別 団 員
金 額	82,500	69,000	50,500	45,500	37,000	37,000	36,500	12,000

費 用 弁 償

令和 3 年 4 月 1 日現在 [単位：円]

1 回 あ た り の 手 当 支 給 額		
出 動	訓 練	講 習
7,000	5,000	3,000

【山陽小野田市消防団】

年 報 酬

令和 3 年 4 月 1 日現在 [単位：円]

階 級	団 長	副 団 長	分 団 長	副分団長	部 長	班 長	団 員
金 額	82,500	69,000	50,500	45,500	37,000	37,000	36,500

費 用 弁 償

令和 3 年 4 月 1 日現在 [単位：円]

1 回 あ た り の 手 当 支 給 額		
出 動	訓練その他の公務	器 具 手 入 れ
7,000	5,300	1,200

6 消防団災害出動状況

【宇部市消防団】（令和 2 年 1 月 1 日～令和 2 年 12 月 31 日）

分 団 名	出動件数（件）	出動人員（人）
消 防 団 本 部	22	70
東 岐 波 分 団	4	76
西 岐 波 分 団	3	39
上 宇 部 分 団	1	6
恩 田 分 団	2	10
東 分 団	3	21
西 分 団	1	10
藤 山 分 団	1	3
厚 南 分 団	6	79
厚 東 分 団	1	2
二 俣 瀬 分 団	1	4
小 野 分 団	6	112
機 動 隊	7	43
船 木 分 団	3	18
万 倉 分 団	3	26
吉 部 分 団	4	56
合 計	68	575

【山陽小野田市消防団】（令和 2 年 1 月 1 日～令和 2 年 12 月 31 日）

分 団 名	出動件数（件）	出動人員（人）
消 防 団 本 部	3	4
厚 狭 北 分 団		
厚 狭 分 団		
出 合 分 団	1	5
埴 生 分 団	1	3
津 布 田 分 団	1	3
厚 陽 分 団	2	8
高 泊 分 団	2	7
高 千 帆 分 団	1	13
有 帆 分 団		
小 野 田 分 団	1	8
須 恵 分 団	1	12
赤 崎 分 団	1	3
本 山 分 団	1	4
合 計	15	70

7 消防団車両及び機械器具

(1) 配備管理状況

【宇部市消防団】

令和3年4月1日現在 [単位：台]

所 属 / 機 庫			消 防 ポ ン プ 自 動 車	小 型 動 力 ポンプ積載車	小 型 動 力 ポ ン プ	その他の車両 (指 令 車)
消 防 団 本 部					1	2
東 部 方 面 隊	東 岐 波 分 団	古 殿		1	1	
		丸 尾		1	1	
		岐 波 浦		1	1	
		前 田	1		1	
	西 岐 波 分 団	白 土	1		1	
		住 吉		1	1	
		山 村		1	1	
		片 倉		1	1	
中 央 東 方 面 隊	上 宇 部 分 団	沼	1		1	
		開		1	1	
	恩 田 分 団			1	1	
	東 分 団		1		1	
中 央 西 方 面 隊	西 分 団		1		1	
	藤 山 分 団			1	1	
西 部 方 面 隊	厚 南 分 団	西 宇 部	1		1	
		妻 崎		1	1	
		中 野		1	1	
		東 割		1	1	
北 部 方 面 隊	厚 東 分 団	棚 井		1	1	
		駅 前		1	1	
		広 瀬		1	1	
	二 俣 瀬 分 団	木 田	1		1	
		車 地		1	1	
		上 山 中		1	1	
		善 和		1	1	
	小 野 分 団	下 小 野	1		1	
		上 小 野		1	1	
		市 小 野		1	1	
		楡 小 野		1	1	
		岩 川		1	1	
		白 木		1	1	
		大 山		1	1	

[単位：台]

所 属 / 機 庫			消 防 ポ ン プ 自 動 車	小 型 動 力 ポンプ積載車	小 型 動 力 ポ ン プ	その他の車両 (指 令 車)
楠 方 面 隊	機 動 隊		1		2	1
	船 木 分 団	綿 屋 町		1	1	
		下 田 町		1	1	
		新 川		1	1	
	万 倉 分 団	栄 町		1	1	
		沼田ヶ原		1	1	
	吉 部 分 団	中 市		1	1	
		荒 滝		1	1	
合 計			9 台	31 台	42 台	3 台

【山陽小野田市消防団】

令和 3 年 4 月 1 日現在 [単位：台]

所 属 / 機 庫		消 防 ポ ン プ 自 動 車	小 型 動 力 ポンプ積載車	小 型 動 力 ポ ン プ	その他の車両 (指 令 車 等)
消 防 団 本 部				3	2
第 1 方 面 隊	厚 狭 北 分 団	1		1	
	厚 狭 分 団	1		1	
	出 合 分 団	1		1	
	埴 生 分 団	1		1	
第 2 方 面 隊	津布田分団	1		1	
	厚 陽 分 団	1		1	
	高 泊 分 団	1		1	
	高 千 帆 分 団	1		1	
	有 帆 分 団	1		1	
第 3 方 面 隊	小 野 田 分 団	1		1	
	須 恵 分 団	1		1	
	赤 崎 分 団	1		1	
	本 山 分 団	1		1	
合 計		13 台		16 台	2 台

(2) 消防ポンプ自動車

【宇部市消防団】

令和3年4月1日現在

所 属 / 機 庫			車 名	排気量 (cc)	乗 車 定 員 (人)	ポ ン プ 級別／製作所	導 入 年 月
東部方面隊	東岐波分団	前 田	日 野 CD-1	4,000	6	A-2 吉 谷	H27 年 2 月
	西岐波分団	白 土	日 野 CD-1	4,000	5	A-2 モリタ	H22 年 2 月
中央東方面隊	上宇部分団	沼	いすゞ CD-1	4,777	6	A-2 吉 谷	H14 年 11 月
	東 分 団		日 野 CD-1	4,000	6	A-2 吉 谷	H26 年 2 月
中央西方面隊	西 分 団		日 野 CD-1	4,000	6	A-2 モリタ	H23 年 12 月
西部方面隊	厚南分団	西宇部	日 野 CD-1	4,000	6	A-2 モリタ	H23 年 1 月
北部方面隊	二俣瀬分団	木 田	いすゞ CD-1	4,570	8	A-2 モリタ	H 8 年 12 月
	小野分団	下小野	日 野 CD-1	4,000	6	A-2 吉 谷	H28 年 1 月
楠方面隊	機 動 隊		日 野 CD-1	4,000	6	A-2 吉 谷	H28 年 1 月

【山陽小野田市消防団】

令和3年4月1日現在

所 属 / 機 庫		車 名	排気量 (cc)	乗 車 定 員 (人)	ポ ン プ 級別／製作所	導 入 年 月
第 1 方面隊	厚狭北分団	日 野 CD-1	4,000	6	A-2 吉 谷	H20 年 12 月
	厚 狭 分 団	日 野 CD-1	4,000	6	A-2 モリタ	H19 年 3 月
	出 合 分 団	日 野 CD-1	4,000	6	A-2 モリタ	H20 年 2 月
	埴 生 分 団	日 野 CD-1	4,000	6	A-2 モリタ	H19 年 3 月
第 2 方面隊	津布田分団	日 野 CD-1	4,000	6	A-2 モリタ	H19 年 3 月
	厚 陽 分 団	日 野 CD-1	4,000	6	A-2 モリタ	H20 年 2 月
	高 泊 分 団	日 野 CD-1	4,000	6	A-2 モリタ	R2 年 2 月
	高千帆分団	日 野 CD-1	4,000	6	A-2 日本機械工業	H28 年 2 月
	有 帆 分 団	日 野 CD-1	4,000	6	A-2 モリタ	H19 年 3 月
第 3 方面隊	小野田分団	日 野 CD-1	4,000	6	A-2 モリタ	H27 年 3 月
	須 恵 分 団	日 野 CD-1	4,000	6	A-2 モリタ	H22 年 3 月
	赤 崎 分 団	いすゞ CD-1	4,770	7	A-2 モリタ	H15 年 3 月
	本 山 分 団	日 野 CD-1	4,000	6	A-2 吉 谷	H20 年 12 月

(3) 小型動力ポンプ積載車

【宇部市消防団】

令和3年4月1日現在

所 属 / 機 庫			車 名 / 型 式		排気量 (cc)	乗 車 定 員 (人)	導 入 年 月
東部方面隊	東岐波分団	古 殿	い す ゞ	TPG-NLR85N	2,990	6	H31 年 3 月
		丸 尾	ダイハツ	EBD - S331W	650	4	H20 年 12 月
		岐 波 浦	ダイハツ	V - S110W	650	4	H10 年 11 月
	西岐波分団	山 村	日 産	GBSK2F23	1,990	6	H 8 年 3 月
		片 倉	ダイハツ	GD-S210V改	650	4	H12 年 3 月
		住 吉	い す ゞ	TPG-NLR85N	2,990	6	H31 年 3 月
中央東方面隊	恩 田 分 団		日 産	CBF-SQ2F24	1,990	6	R 2 年 3 月
	上宇部分団	開	日 産	KG - SR8F23	3,150	6	H10 年 3 月
中央西方面隊	藤 山 分 団		ト ヨ タ	LDF-KDY281	2,980	6	R 2 年 12 月
西部方面隊	厚 南 分 団	妻 崎	い す ゞ	TPG-NJR85AN	2,990	6	H30 年 3 月
		中 野	日 産	CBF-SQ2F24	1,990	6	R 2 年 3 月
		東 割	日 産	GBSK2F23	1,990	6	H 8 年 3 月
北部方面隊	厚 東 分 団	駅 前	ト ヨ タ	LDF-KDY281	2,980	6	R 3 年 2 月
		棚 井	日 産	GB-SK2F23	1,990	8	H 9 年 9 月
		広 瀬	ダイハツ	GD-S210V改	650	4	H11 年 12 月
	二俣瀬分団	車 地	い す ゞ	BKG-NHS85A	2,990	6	H22 年 3 月
		上 山 中	ダイハツ	EBG-S331W	650	4	H25 年 2 月
		善 和	ダイハツ	V-S110P	650	4	H 9 年 10 月
	小 野 分 団	上 小 野	ダイハツ	V-S110P 改	650	4	H 8 年 2 月
		市 小 野	い す ゞ	TPG-NHS85AN	2,990	6	H31 年 2 月
		楡 小 野	日 産	ZD30	2,950	6	H20 年 2 月
		岩 川	ダイハツ	GD-S210W	650	4	H14 年 2 月
		臼 木	ダイハツ	GD-S210V改	650	4	H11 年 12 月
		大 山	ダイハツ	EBG-S331W	650	4	H25 年 2 月
楠 方 面 隊	船 木 分 団	綿 屋 町	ダイハツ	LE-S330W	650	4	H18 年 2 月
		下 田 町	ダイハツ	LE-S330W	650	4	H18 年 2 月
		新 川	ダイハツ	LE-S330W	650	4	H17 年 3 月
	万 倉 分 団	栄 町	ダイハツ	EBD-S331W	650	4	H21 年 12 月
		沼田ヶ原	ダイハツ	LE-S330W	650	4	H17 年 3 月
	吉 部 分 団	中 市	ダイハツ	EBD-S331W	650	4	H21 年 12 月
		荒 滝	ダイハツ	LE-S330W	650	4	H17 年 3 月

(4) 小型動力ポンプ

【宇部市消防団】

令和3年4月1日現在

所 属 / 機 庫			ポ ン プ 製 作 所	型 式	級 別	導 入 年 月
消 防 団 本 部			トーハツ	一段タービン	D-1	H28年3月
東 部 方 面 隊	東 岐 波 分 団	古 殿	ラビット	一段タービン	B-2	H31年3月
		丸 尾	トーハツ	一段タービン	B-2	H20年12月
		岐 波 浦	ラビット	一段タービン	B-3	H10年11月
		前 田	トーハツ	一段タービン	B-2	H27年2月
	西 岐 波 分 団	白 土	ラビット	一段タービン	B-2	H22年2月
		山 村	トーハツ	一段タービン	B-3	H 8年2月
		片 倉	ラビット	一段タービン	B-3	H14年2月
		住 吉	ラビット	一段タービン	B-2	H31年3月
中 央 東 方 面 隊	恩 田 分 団		トーハツ	一段タービン	B-2	R 2年3月
	上 宇 部 分 団	沼	トーハツ	一段タービン	B-3	H14年11月
		開	シバウラ	一段タービン	B-2	H20年1月
	東 分 団		トーハツ	一段タービン	B-2	H26年2月
中 央 西 方 面 隊	西 分 団		ラビット	一段タービン	B-2	H23年12月
	藤 山 分 団		トーハツ	一段タービン	B-2	R 2年12月
西 部 方 面 隊	厚 南 分 団	西 宇 部	ラビット	一段タービン	B-2	H23年1月
		妻 崎	シバウラ	一段タービン	B-2	H30年3月
		中 野	トーハツ	一段タービン	B-2	R 2年3月
		東 割	トーハツ	一段タービン	B-3	H3年11月
北 部 方 面 隊	厚 東 分 団	棚 井	トーハツ	一段タービン	B-2	H 9年9月
		駅 前	トーハツ	一段タービン	B-2	R 3年2月
		広 瀬	トーハツ	一段タービン	B-3	H 3年11月
	二 俣 瀬 分 団	木 田	ラビット	一段タービン	B-3	H 8年12月
		車 地	シバウラ	一段タービン	B-2	H22年3月
		上 山 中	トーハツ	一段タービン	B-2	H25年2月
		善 和	シバウラ	一段タービン	B-3	H10年10月
	小 野 分 団	下 小 野	トーハツ	一段タービン	B-2	H28年1月
		上 小 野	ラビット	一段タービン	B-3	H 7年2月
		市 小 野	トーハツ	一段タービン	B-2	H31年2月
		楢 小 野	ラビット	一段タービン	B-2	H20年2月
		岩 川	ラビット	一段タービン	B-3	H 4年12月
		臼 木	ラビット	一段タービン	B-3	H 8年2月
楠 方 面 隊	機 動 隊		トーハツ	一段タービン	B-2	H18年7月
			トーハツ	一段タービン	B-2	H28年1月
	船 木 分 団	綿 屋 町	トーハツ	一段タービン	B-3	H20年3月
		下 田 町	トーハツ	一段タービン	B-3	H20年3月
		新 川	トーハツ	一段タービン	B-3	H20年3月
	万 倉 分 団	栄 町	トーハツ	一段タービン	B-3	H21年12月
		沼 田 ヶ 原	トーハツ	一段タービン	B-3	H20年12月
	吉 部 分 団	中 市	トーハツ	一段タービン	B-3	H21年12月
		荒 滝	トーハツ	一段タービン	B-3	H20年12月

【山陽小野田市消防団】

令和3年4月1日現在

所 属 / 機 庫		ポ ン プ 製 作 所	型 式	級 別	導 入 年 月
消 防 団 本 部		トーハツ	一段タービン	B-2	H10 年 1 月
		シバウラ	一段タービン	D-1	H27 年 10 月
		トーハツ	一段タービン	C-1	R2 年 3 月
第 1 方 面 隊	厚 狭 北 分 団	トーハツ	一段タービン	B-2	R2 年 2 月
	厚 狭 分 団	トーハツ	一段タービン	B-2	H30 年 2 月
	出 合 分 団	トーハツ	一段タービン	B-2	R2 年 2 月
	埴 生 分 団	トーハツ	一段タービン	B-2	R2 年 2 月
第 2 方 面 隊	津 布 田 分 団	トーハツ	一段タービン	B-2	R2 年 2 月
	厚 陽 分 団	トーハツ	一段タービン	B-2	R2 年 2 月
	高 泊 分 団	シバウラ	一段タービン	B-2	H28 年 2 月
	高 千 帆 分 団	シバウラ	一段タービン	B-2	H28 年 2 月
	有 帆 分 団	トーハツ	一段タービン	B-2	H27 年 3 月
第 3 方 面 隊	小 野 田 分 団	トーハツ	一段タービン	B-2	H30 年 2 月
	須 恵 分 団	トーハツ	一段タービン	B-2	H30 年 2 月
	赤 崎 分 団	トーハツ	一段タービン	B-2	H30 年 2 月
	本 山 分 団	トーハツ	一段タービン	B-2	H30 年 2 月

(5) その他の車両

【宇部市消防団】

(指 令 車)

令和3年4月1日現在

所 属 / 機 庫	車 名 / 型 式		排気量 (cc)	乗車定員 (人)	導 入 年 月
消 防 団 本 部	日 産	CBA-NC25	1,990	8	H18 年 2 月
	三 菱	DBA-CV5W	2,350	8	H29 年 12 月
機 動 隊	ス バ ル	TA-SG5	1,990	5	H14 年 12 月

【山陽小野田市消防団】

(指 令 車 ・ 防 災 学 習 車)

令和3年4月1日現在

所 属 / 機 庫	車 名 / 型 式		排気量 (cc)	乗車定員 (人)	導 入 年 月
消 防 団 本 部	ト ヨ タ	3BA-ZRR80G	1,980	8	R3 年 1 月
消 防 団 本 部	日 産	LDF-CW8E26	2,480	6	R2 年 3 月

8 消防団機庫

【宇部市消防団】

令和3年4月1日現在

所 属 / 機 庫			場 所	土 地 (㎡)	建 物 (㎡)	建 築 年 月
東 部 方面隊	東岐波分団	古 殿	大字東岐波 494-4	96.64	25.63	S55 年 3 月
		丸 尾	大字東岐波 4138-13 の一部	32.96	11.93	S54 年 3 月
		岐波浦	大字東岐波 1450-2	63.94	15.44	H 4 年 12 月
		前 田	大字東岐波 1777	38.71	38.71	H27 年 2 月
	西岐波分団	白 土	床波四丁目 2076 他	327.69	83.22	H22 年 3 月
		住 吉	床波六丁目 3041-18・19	90.18	32.66	H 9 年 3 月
		山 村	大字西岐波 2478	300.00	30.48	H 6 年 3 月
		片 倉	大字西岐波 5172-1	143.35	15.44	H10 年 1 月
中 央 方面隊	上宇部分団	沼	沼二丁目 1669-3 の内	43.12	30.00	S48 年 12 月
		開	常盤台二丁目 834-1	194.00	30.18	H10 年 3 月
	恩 田 分 団		八王子町 636-9	126.24	30.00	S48 年 12 月
	東 分 団		松山町二丁目 5-16	74.77	28.79	S32 年 11 月
	西 分 団		島三丁目 1-9	383.47	83.22	H24 年 3 月
西 部 方面隊	藤 山 分 団		文京町 2244-1	30.48	30.48	H 8 年 3 月
	厚 南 分 団	西宇部	西宇部南二丁目 1350-1	175.46	38.71	H23 年 3 月
		妻 崎	大字東須恵 2954-1	146.00	28.50	S47 年 2 月
		中 野	大字東須恵 276-4 の一部	218.60	33.84	H13 年 3 月
		東 割	大字妻崎開作 1	111.09	22.21	S52 年 10 月
北 部 方面隊	厚 東 分 団	棚 井	大字棚井 43-3 の一部	56.61	26.14	H 8 年 3 月
		駅 前	大字吉見 966-12	79.25	30.48	H 7 年 4 月
		広 瀬	大字広瀬 560-1	11.46	11.46	S62 年 12 月
	二俣瀬分団	木 田	大字木田 560-3 の一部	22.21	22.21	S53 年 2 月
		車 地	大字木田 173	30.48	30.48	H 2 年 2 月
		上山中	大字山中 411-9	119.00	28.97	H15 年 12 月
		善 和	大字善和 108-2・5	135.80	15.44	H 9 年 3 月
	小 野 分 団	下小野	大字小野 8265-22 の一部	71.70	30.48	S61 年 6 月
		上小野	大字小野 3677	13.20	12.67	S54 年 3 月
		市小野	大字小野 1305 第 1	30.00	22.90	S50 年 12 月
		楡小野	大字楡小野 534-2	38.50	21.00	S48 年 10 月
		岩 川	大字小野 6731 第 3	53.03	17.80	H14 年 11 月
		臼 木	大字小野 10139-2 の一部	11.46	11.46	S60 年 3 月
		大 山	大字小野 9129-2 の一部	15.44	15.44	H 4 年 12 月

所 属 ／ 機 庫			場 所	土 地 (㎡)	建 物 (㎡)	建 築 年 月
楠 方面隊	機 動 隊		大字船木 442-10	99.10	41.83	S58 年 3 月
	船 木 分 団	綿 屋 町	大字船木 184	161.98	16.20	H12 年 3 月
		下 田 町	大字船木 690-5	147.16	18.25	H18 年 2 月
		新 川	大字船木 3648-1	801.90	20.22	H26 年 2 月
	万 倉 分 団	栄 町	大字西万倉 1698-1	413.96	52.54	S60 年 1 月
		沼 田 ヶ 原	大字芦河内 11-6	213.00	25.20	H16 年 12 月
	吉 部 分 団	中 市	大字東吉部 3329-4	196.17	34.35	H13 年 11 月
		荒 滝	大字東吉部 1086	542.14	18.25	H14 年 3 月

【山陽小野田市消防団】

令和3年4月1日現在

所 属 / 機 庫			場 所	土 地 (㎡)	建 物 (㎡)	建 築 年 月
第1方面隊	厚 狭 北 分 団	厚 狭 北 分 団 庫	大字厚狭 5112 番地 5(赤川)	287.18	67.50	H20 年 3 月
		赤 川 防 災 倉 庫	大字厚狭 5723 番地 1(杓山田)	188.70	12.20	H1 年 1 月
		森 広 防 災 倉 庫	大字厚狭 2708 番地 3(森広)	—	12.60	—
	厚 狭 分 団	厚 狭 分 団 庫	大字鴨庄 99 番地 1、99 番地 2 の一部(千町 5)	283.13	66.75	H28 年 3 月
		厚 狭 防 災 倉 庫	大字鴨庄 98 番地 1(千町 5)	—	78.00	S59 年 12 月
		鴨 庄 防 災 倉 庫	大字鴨庄 590 番地 5(鴨庄西)	—	12.40	—
		下 津 防 災 倉 庫	大字郡 2013 番地 5(西下津)	324.45	22.30	H3 年 1 月
	出 合 分 団	出 合 分 団 庫	大字山野井 2743 番地(栗田)	167.71	49.95	H19 年 3 月
	埴 生 分 団	埴 生 分 団 庫	建 設 中	—	—	—
		福 田 防 災 倉 庫	大字福田 777 番地 9(下福田)	55.10	24.00	S61 年 3 月
		大 持 防 災 倉 庫	大字埴生 3133 番地 5(大持)	94.53	17.50	H3 年 12 月
第2方面隊	津 布 田 分 団	津 布 田 分 団 庫	大字津布田 1061 番地(東郷)	436.75	31.05	H16 年 11 月
	厚 陽 分 団	厚 陽 分 団 庫	大字郡 3976 番地 17(渡場)	282.00	49.95	H19 年 3 月
	高 泊 分 団	高 泊 分 団 庫	大字西高泊 1768 番地 1(郷)	164.82	49.95	S61 年 3 月
	高 千 帆 分 団	高 千 帆 分 団 庫	日の出一丁目 1 番 1 号(新生町 第一)山陽小野田市役所併設	—	58.48	H7 年 3 月
	有 帆 分 団	有 帆 分 団 庫	新有帆町 739 番地 4(杵築)	174.25	52.65	S60 年 3 月
第3方面隊	小 野 田 分 団	小 野 田 分 団 庫	栄町 7 番 3 号(栄町)	95.52	48.19	H2 年 3 月
		小 野 田 防 災 倉 庫	大字小野田 6114 番地 3(南中 川)	170.56	52.00	S55 年 11 月
	須 恵 分 団	須 恵 分 団 庫	港町 7 番(港町)	267.40	61.84	H12 年 2 月
	赤 崎 分 団	赤 崎 分 団 庫	赤崎一丁目 1 番 5 号(西の浜)	174.25	52.65	S60 年 3 月
	本 山 分 団	本 山 分 団 庫	大字小野田 11967 番地(浜河 内)	498.31	52.00	S57 年 12 月

9 消防団協力事業所

【宇部市消防団協力事業所一覧】

令和3年4月1日現在

番号	事業所名	初年度登録年月日
1	山口県農業協同組合	平成22年3月1日
2	ルネサスセミコンダクタ マニファクチャリング株式会社山口工場	平成22年3月1日
3	宇部興産株式会社 宇部ケミカル工場	平成22年3月1日
4	宇部マテリアルズ株式会社	平成22年3月1日
5	チタン工業株式会社	平成22年3月1日
6	宇部物流サービス株式会社 宇部営業所	平成22年3月1日
7	船木鉄道株式会社	平成22年3月1日
8	新川物流株式会社 西宇部営業所	平成22年3月1日
9	山口県漁業協同組合 宇部統括支店	平成23年3月1日
10	宇部フロンティア大学	平成30年3月1日
11	山口大学 工学部	平成30年3月1日



【山陽小野田市消防団協力事業所一覧】

令和3年4月1日現在

番号	事業所名	初年度登録年月日
1	THK株式会社 山口工場	平成23年3月18日
2	厚和産業株式会社	平成23年3月18日
3	日鍛バルブ株式会社 山陽工場	平成23年3月18日
4	化薬ヌーリオン株式会社 厚狭工場	平成23年3月18日
5	日本化薬株式会社 厚狭工場	平成23年3月18日
6	日産化学株式会社 小野田工場	平成23年3月18日
7	共英製鋼株式会社 山口事業所	平成23年3月18日
8	戸田工業株式会社 小野田事業所	平成23年3月18日
9	西部石油株式会社 山口製油所	平成23年3月18日
10	光洋技研株式会社 山口工場	平成29年3月17日
11	田辺三菱製薬工場株式会社 小野田工場	平成29年3月17日
12	長州産業株式会社	平成29年3月17日
13	有限会社栗栖工業 小野田営業所	令和3年3月22日
14	富士商グループホールディングス株式会社	令和3年3月22日
15	山陽小野田市立山口東京理科大学	令和3年3月22日



【総務省消防庁消防団協力事業所一覧】

令和 3 年 4 月 1 日現在

番号	事業所名	初年度登録年月
1	厚和産業株式会社	平成 24 年 2 月
2	宇部フロンティア大学	平成 31 年 2 月
3	化薬ヌーリオン株式会社 厚狭工場	令和 3 年 3 月



消 防 年 報

(令和2年版)

発行日 令和 3 年 (2 0 2 1 年) 8 月

発行者 宇 部 ・ 山 陽 小 野 田 消 防 局
山口県宇部市港町二丁目 3 番 3 0 号

U R L <https://www.ube-sansho119.jp/>

E-M a i l soumu@ube-sansho119.jp

編 集 宇 部 ・ 山 陽 小 野 田 消 防 局 総 務 課
TEL (0836) 21-6112 FAX (0836) 31-0119

印 刷 宇 部 ・ 山 陽 小 野 田 消 防 局 総 務 課